

甲賀市
人権に関する市民意識調査
調査結果報告書

平成 28 年 3 月
甲 賀 市

目次

I	調査の概要	1
1	調査の目的	1
2	調査対象	1
3	調査期間	1
4	調査方法	1
5	回収状況	1
6	調査結果の表示方法	1
II	調査結果	2
(1)	回答者属性	2
(2)	人権全般について	3
(3)	人権啓発の取り組みについて	75
III	調査票	93

I 調査の概要

1 調査の目的

人権尊重のまちづくりを推進するための「甲賀市人権に関する総合計画」の策定にあたり、市民の人権についての考えや意見を伺い、計画策定の基礎資料とすることを目的として実施しました。

2 調査対象

甲賀市在住の18歳以上を無作為抽出

3 調査期間

平成27年11月14日から平成27年11月30日

4 調査方法

郵送による配布・回収

5 回収状況

配布数	有効回答数	有効回答率
2,500通	1,039通	41.6%

6 調査結果の表示方法

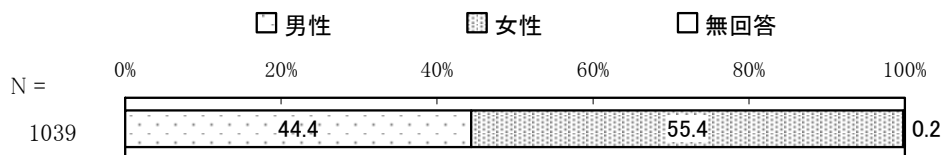
- ・回答は各質問の回答者数（N）を基数とした百分率（%）で示してあります。また、小数点以下第2位を四捨五入しているため、内訳の合計が100.0%にならない場合があります。
- ・複数回答が可能な設問の場合、回答者が全体に対してどのくらいの比率であるかという見方になるため、回答比率の合計が100.0%を超える場合があります。
- ・クロス集計の場合、無回答を排除しているため、クロス集計の有効回答数の合計と単純集計（全体）の有効回答数が合致しないことがあります。なお、クロス集計とは、複数項目の組み合わせで分類した集計のことで、複数の質問項目を交差して並べ、表やグラフを作成することにより、その相互の関係を明らかにするための集計方法です。
- ・調査結果を図表にて表示していますが、グラフ以外の表は、最も高い割合のものを■で網かけをしています。（無回答を除く）

II 調査結果

(1) 回答者属性

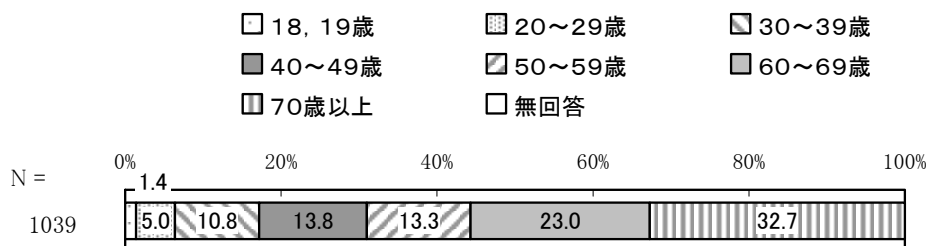
【問1】あなたの性別は。(〇は1つ)

「男性」の割合が44.4%、「女性」の割合が55.4%となっています。



【問2】あなたの年齢は。(〇は1つ)

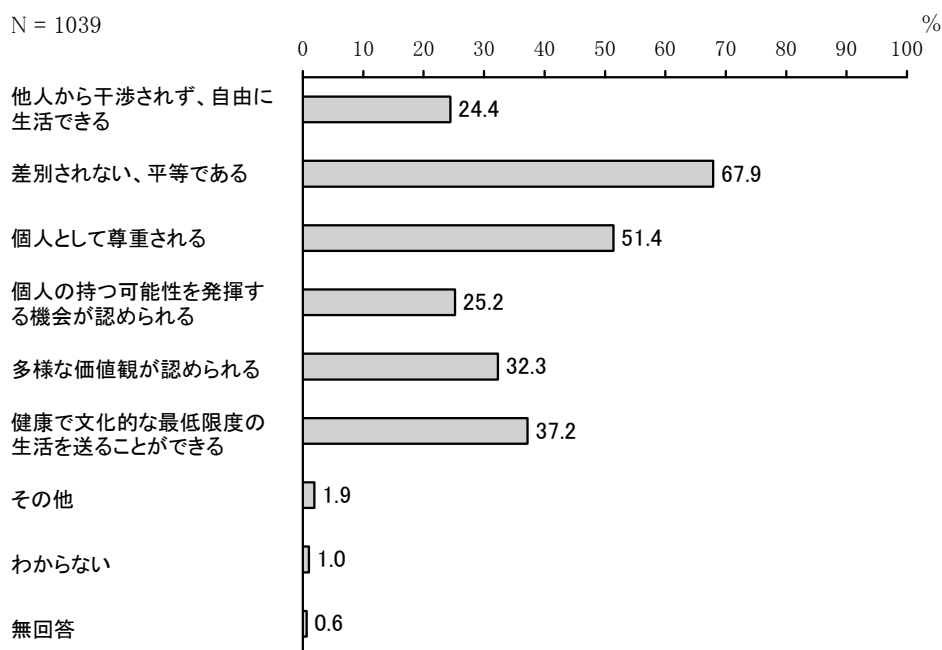
「70歳以上」の割合が32.7%と最も高く、次いで「60～69歳」の割合が23.0%、「40～49歳」の割合が13.8%となっています。



(2) 人権全般について

【問3】「人権が尊重される」とはどういうことだと思いますか。(あてはまるものに○)

「差別されない、平等である」の割合が67.9%と最も高く、次いで「個人として尊重される」の割合が51.4%、「健康で文化的な最低限度の生活を送ることができる」の割合が37.2%となっています。



【性別】

性別でみると、女性に比べ男性で「他人から干渉されず、自由に生活できる」「多様な価値観が認められる」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	有効回答数 (件)	他人から干渉されず、自由に生活できる	差別されない、平等である	個人として尊重される	個人の持つ可能性を発揮する機会が認められる	多様な価値観が認められる	健康で文化的な最低限度の生活を送ることができる	その他	わからない	無回答
男性	461	28.0	65.7	52.1	27.5	37.1	36.7	2.8	0.4	—
女性	576	21.5	69.8	50.9	23.4	28.6	37.7	1.2	1.4	0.9

【年代別】

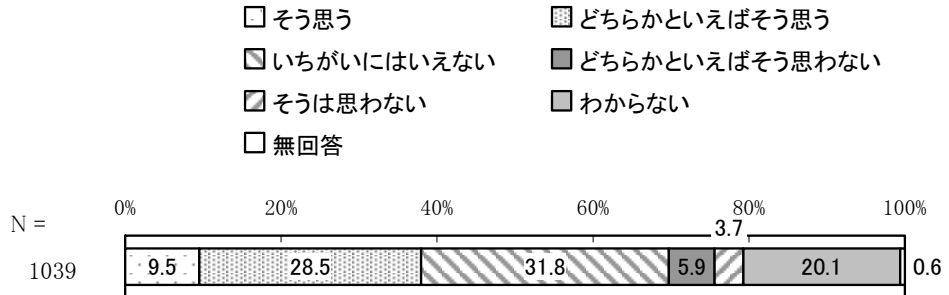
年代別でみると、70歳以上で「他人から干渉されず、自由に生活できる」の割合が高く、3割を超えています。また、18, 19歳で「多様な価値観が認められる」の割合が高く、6割と なっています。

単位：%

区分	有効回答数 (件)	他人から干渉されず、自由に生活できる	差別されない、平等である	個人として尊重される	個人の持つ可能性を發揮する機会が認められる	多様な価値観が認められる	健康で文化的な最低限度の生活を送ることができる	その他	わからない	無回答
18, 19歳	15	26.7	73.3	53.3	20.0	60.0	26.7	—	—	—
20～29歳	52	26.9	65.4	46.2	21.2	38.5	34.6	1.9	3.8	—
30～39歳	112	16.1	55.4	57.1	20.5	37.5	30.4	1.8	1.8	—
40～49歳	143	15.4	72.7	51.7	26.6	39.9	37.1	1.4	0.7	—
50～59歳	138	18.8	68.1	59.4	29.0	37.7	42.8	2.2	—	—
60～69歳	239	25.5	66.9	58.2	30.1	30.5	37.7	2.1	0.4	0.4
70歳以上	340	31.8	70.6	42.1	22.1	24.4	37.6	2.1	1.2	1.5

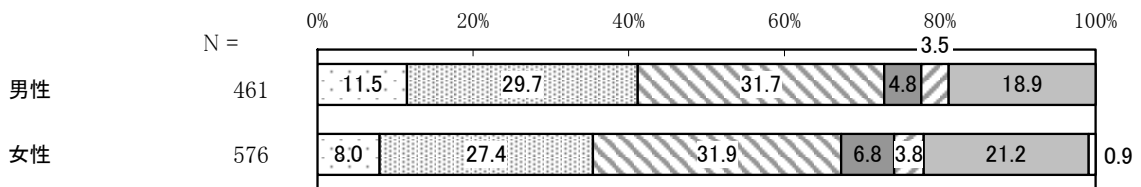
【問4】甲賀市は「人権が尊重されるまち」になっていると思いますか。(〇は1つ)

「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」をあわせた“思う”の割合が38.0%となっています。「どちらかといえばそう思わない」と「そうは思わない」をあわせた“思わない”の割合が9.6%となっています。



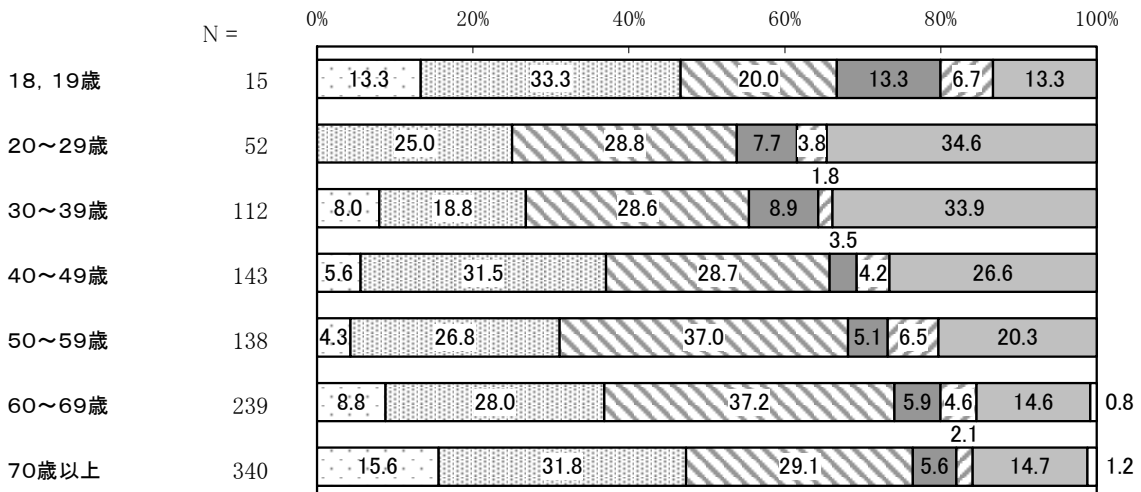
【性別】

性別でみると、女性に比べ男性で“思う”の割合が高く、4割を超えています。



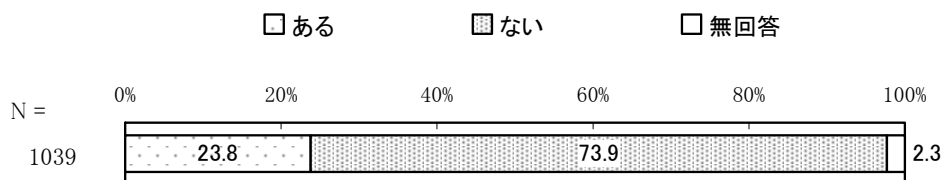
【年代別】

年代別でみると、18、19歳、70歳以上で“思う”の割合が高く、5割近くとなっています。



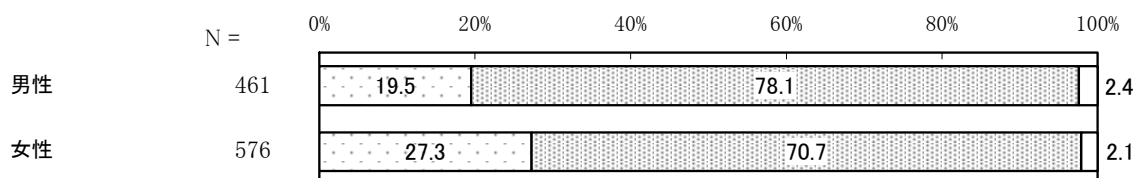
【問5】あなたは、ここ5年以内に、人権に関して、人から嫌なことを言われたり、されたりしたことはありますか。(○は1つ)

「ある」の割合が23.8%、「ない」の割合が73.9%となっています。



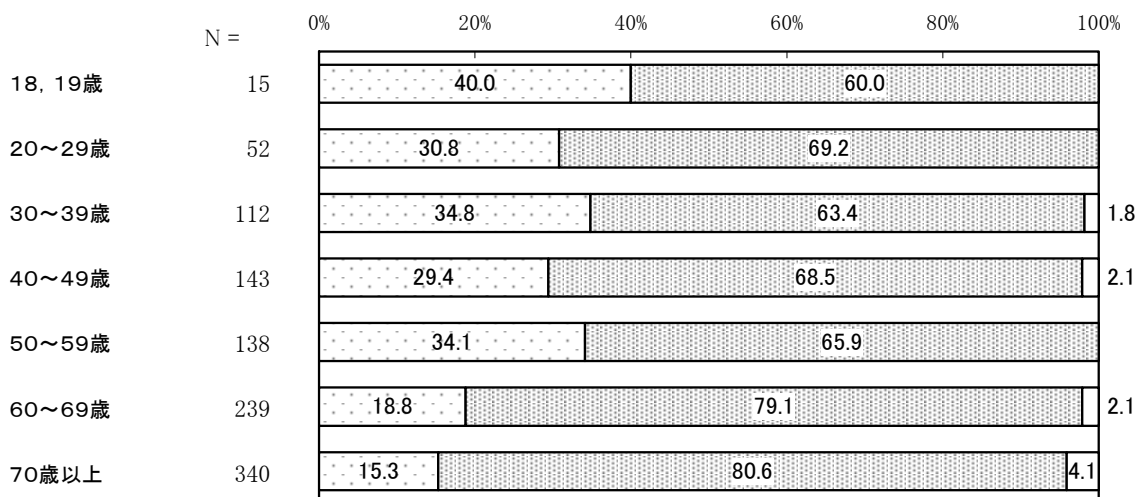
【性別】

性別で見ると、男性に比べ女性で「ある」の割合が高く、3割近くとなっています。



【年代別】

年代別で見ると、60～69歳、70歳以上で「ない」の割合が高く、約8割となっています。



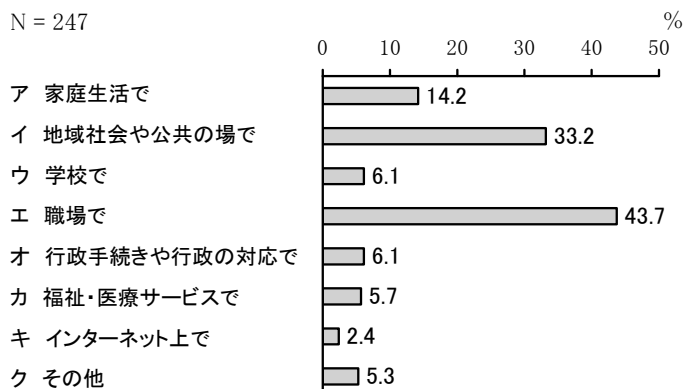
【問6】問5で「1. ある」を選択された方のみお答えください。
それはどのような生活の場面で、どのような内容でしたか。
(あてはまるものに○)

イ 地域社会や公共の場で、で「あらぬうわさ、悪口を言われた」の割合が15.8%と最も高くなっています。エ 職場で、で「ハラスメントを受けた」の割合が22.7%と最も高くなっています。他の項目では「受けていない」の割合が最も高くなっています。

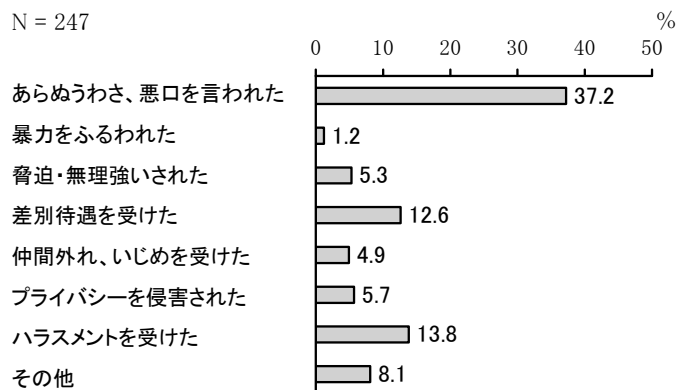
単位：％

区分	有効回答数(件)	あらぬうわさ、悪口を言われた	暴力をふるわれた	脅迫・無理強いされた	差別待遇を受けた	仲間外れ、いじめを受けた	プライバシーを侵害された	ハラスメントを受けた	1～7以外のことを受けた	受けていない	無回答
ア 家庭生活で	247	4.0	1.2	1.6	2.8	2.4	2.8	2.4	1.2	18.2	67.6
イ 地域社会や公共の場で	247	15.8	0.4	3.6	7.3	6.5	6.9	2.8	5.7	15.0	51.8
ウ 学校で	247	2.8	-	0.4	1.6	2.4	0.4	1.2	0.4	14.2	79.8
エ 職場で	247	15.8	0.4	3.2	8.5	4.9	6.1	22.7	3.6	10.1	46.2
オ 行政手続きや行政の対応で	247	0.8	-	0.8	4.0	0.4	1.2	0.8	0.4	19.0	74.9
カ 福祉・医療サービスで	247	0.8	-	0.8	3.2	-	0.8	0.4	0.8	18.6	75.7
キ インターネット上で	247	0.8	-	0.8	-	-	-	-	0.8	20.2	77.3
ク その他	247	1.6	-	0.8	0.4	0.8	1.6	0.4	0.8	10.9	83.8

【人権侵害を受けた場面】

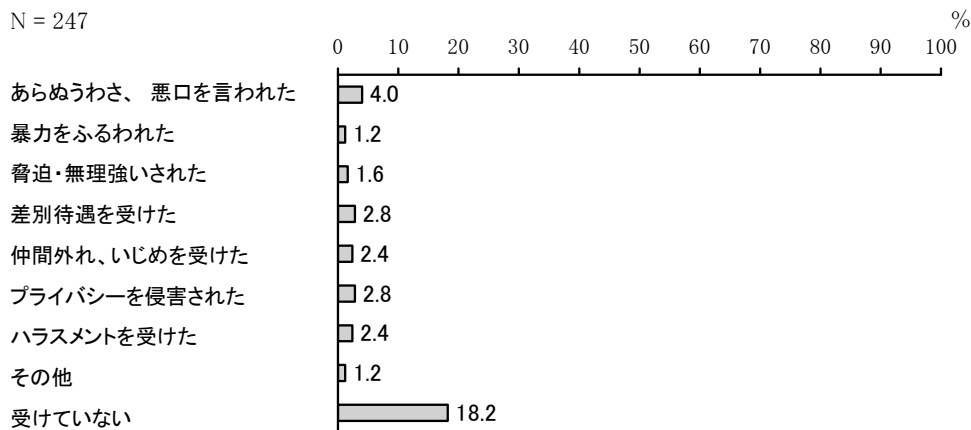


【人権侵害を受けた内容】



ア 家庭生活で

「受けていない」の割合が18.2%と最も高くなっています。



【性別】

性別でみると、男性に比べ女性で「受けていない」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	有効回答数(件)	あらぬうわさ、悪口を言われた	暴力をふるわれた	脅迫・無理強いされた	差別待遇を受けた	仲間外れ、いじめを受けた	プライバシーを侵害された	ハラスメントを受けた	157以外のことを受けた	受けていない	無回答
男性	90	1.1	1.1	—	2.2	1.1	2.2	1.1	2.2	14.4	77.8
女性	157	5.7	1.3	2.5	3.2	3.2	3.2	3.2	0.6	20.4	61.8

【年代別】

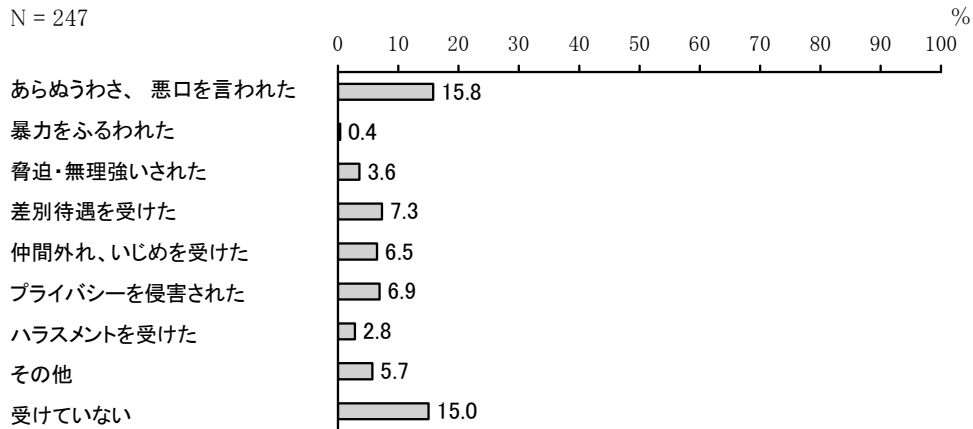
年代別でみると、30～39歳で「プライバシーを侵害された」の割合が高く、約1割となっています。また、20～29歳で「受けていない」の割合が高く、3割を超えています。

単位：%

区分	有効回答数(件)	あらぬうわさ、悪口を言われた	暴力をふるわれた	脅迫・無理強いされた	差別待遇を受けた	仲間外れ、いじめを受けた	プライバシーを侵害された	ハラスメントを受けた	157以外のことを受けた	受けていない	無回答
18, 19歳	6	—	—	—	—	—	—	16.7	—	83.3	—
20～29歳	16	6.3	—	—	6.3	6.3	—	—	—	31.3	56.3
30～39歳	39	5.1	—	5.1	7.7	—	10.3	5.1	—	20.5	56.4
40～49歳	42	—	—	2.4	—	—	—	—	—	21.4	76.2
50～59歳	47	6.4	2.1	—	4.3	4.3	4.3	4.3	—	14.9	63.8
60～69歳	45	2.2	—	—	2.2	—	2.2	2.2	4.4	11.1	82.2
70歳以上	52	5.8	3.8	1.9	—	5.8	—	—	1.9	11.5	71.2

イ 地域社会や公共の場で

「あらぬうわさ、悪口を言われた」の割合が15.8%と最も高く、次いで「受けていない」の割合が15.0%となっています。



【性別】

性別でみると、大きな差異はみられません。

単位：%

区分	有効回答数 (件)	あらぬうわさ、悪口を言われた	暴力をふるわれた	脅迫・無理強いされた	差別待遇を受けた	仲間外れ、いじめを受けた	プライバシーを侵害された	ハラスメントを受けた	157以外のことを受けた	受けていない	無回答
男性	90	15.6	1.1	5.6	8.9	5.6	6.7	4.4	5.6	16.7	54.4
女性	157	15.9	—	2.5	6.4	7.0	7.0	1.9	5.7	14.0	50.3

【年代別】

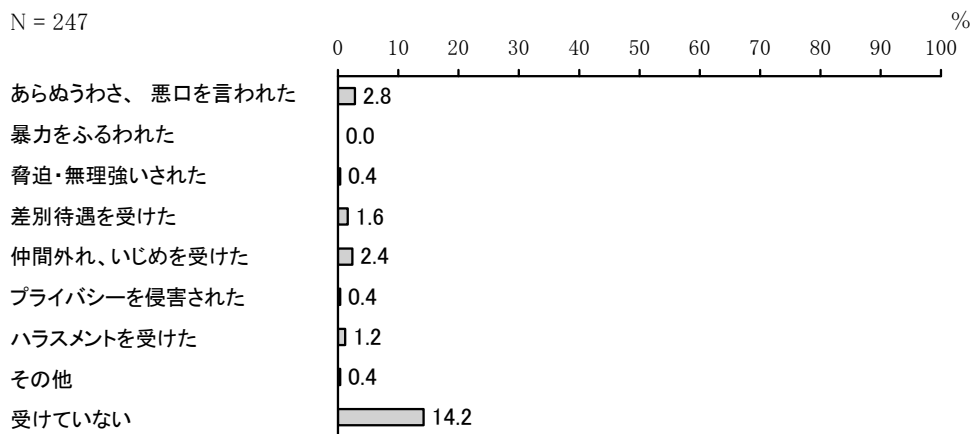
年代別でみると、70歳以上で「あらぬうわさ、悪口を言われた」の割合が高く、2割半ばとなっています。また、20～29歳で「受けていない」の割合が高く、3割を超えています。

単位：%

区分	有効回答数 (件)	あらぬうわさ、悪口を言われた	暴力をふるわれた	脅迫・無理強いされた	差別待遇を受けた	仲間外れ、いじめを受けた	プライバシーを侵害された	ハラスメントを受けた	157以外のことを受けた	受けていない	無回答
18, 19歳	6	—	—	—	—	16.7	—	—	—	83.3	—
20～29歳	16	6.3	—	—	6.3	6.3	6.3	—	6.3	31.3	43.8
30～39歳	39	12.8	—	7.7	2.6	5.1	10.3	5.1	2.6	20.5	53.8
40～49歳	42	16.7	2.4	4.8	11.9	4.8	2.4	—	4.8	19.0	47.6
50～59歳	47	10.6	—	4.3	8.5	4.3	4.3	6.4	8.5	14.9	59.6
60～69歳	45	17.8	—	—	2.2	8.9	8.9	—	6.7	8.9	55.6
70歳以上	52	25.0	—	3.8	11.5	7.7	9.6	3.8	5.8	—	51.9

ウ 学校で

「受けていない」の割合が14.2%と最も高くなっています。



【性別】

性別でみると、大きな差異はみられません。

単位：%

区分	有効回答数(件)	あらぬうわさ、悪口を言われた	暴力をふるわれた	脅迫・無理強いされた	差別待遇を受けた	仲間外れ、いじめを受けた	プライバシーを侵害された	ハラスメントを受けた	157以外のことを受けた	受けていない	無回答
男性	90	1.1	—	—	1.1	1.1	1.1	1.1	—	14.4	81.1
女性	157	3.8	—	0.6	1.9	3.2	—	1.3	0.6	14.0	79.0

【年代別】

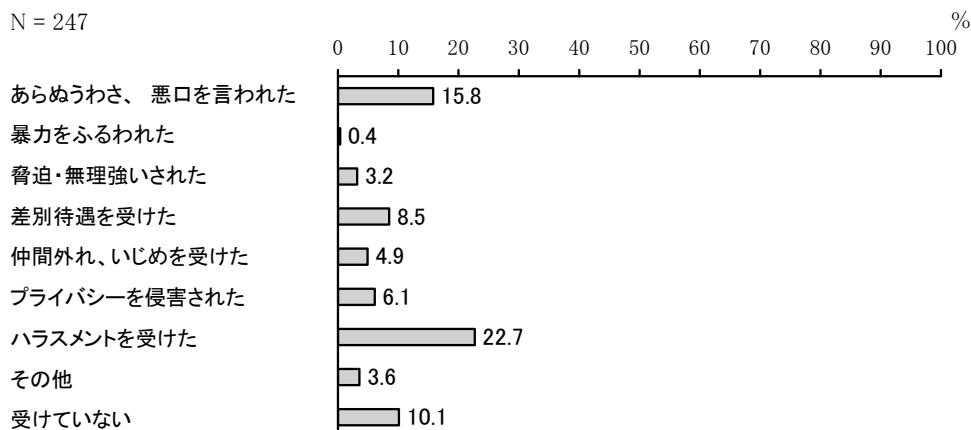
年代別でみると、20～29歳で「あらぬうわさ、悪口を言われた」「仲間外れ、いじめを受けた」「ハラスメントを受けた」の割合が高くなっています。また、20～29歳、30～39歳で「受けていない」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	有効回答数(件)	あらぬうわさ、悪口を言われた	暴力をふるわれた	脅迫・無理強いされた	差別待遇を受けた	仲間外れ、いじめを受けた	プライバシーを侵害された	ハラスメントを受けた	157以外のことを受けた	受けていない	無回答
18, 19歳	6	50.0	—	—	16.7	16.7	—	16.7	16.7	33.3	—
20～29歳	16	18.8	—	—	—	12.5	—	12.5	—	25.0	43.8
30～39歳	39	—	—	—	2.6	2.6	2.6	—	—	28.2	66.7
40～49歳	42	2.4	—	2.4	4.8	2.4	—	—	—	14.3	78.6
50～59歳	47	—	—	—	—	2.1	—	—	—	12.8	85.1
60～69歳	45	—	—	—	—	—	—	—	—	11.1	88.9
70歳以上	52	—	—	—	—	—	—	—	—	1.9	98.1

エ 職場で

「ハラスメントを受けた」の割合が22.7%と最も高く、次いで「あらぬうわさ、悪口を言われた」の割合が15.8%、「受けていない」の割合が10.1%となっています。



【性別】

性別でみると、女性に比べ男性で「差別待遇を受けた」の割合が高く、1割を超えています。

単位：%

区分	有効回答数(件)	あらぬうわさ、悪口を言われた	暴力をふるわれた	脅迫・無理強いされた	差別待遇を受けた	仲間外れ、いじめを受けた	プライバシーを侵害された	ハラスメントを受けた	157以外のことを受けた	受けていない	無回答
男性	90	17.8	1.1	5.6	12.2	5.6	6.7	21.1	5.6	7.8	43.3
女性	157	14.6	—	1.9	6.4	4.5	5.7	23.6	2.5	11.5	47.8

【年代別】

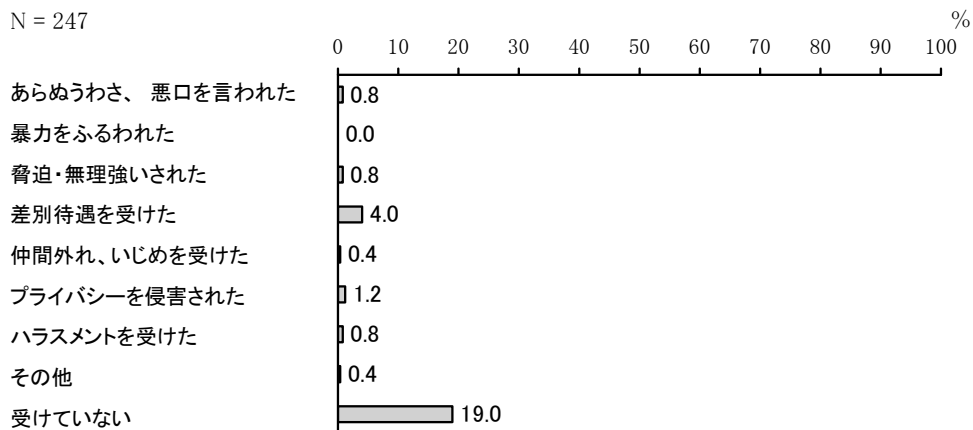
年代別でみると、20～29歳、30～39歳で「あらぬうわさ、悪口を言われた」の割合が高くなっています。また、30～39歳、40～49歳で「ハラスメントを受けた」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	有効回答数(件)	あらぬうわさ、悪口を言われた	暴力をふるわれた	脅迫・無理強いされた	差別待遇を受けた	仲間外れ、いじめを受けた	プライバシーを侵害された	ハラスメントを受けた	157以外のことを受けた	受けていない	無回答
18, 19歳	6	16.7	—	—	—	—	—	—	—	83.3	—
20～29歳	16	31.3	—	12.5	12.5	—	12.5	18.8	—	12.5	25.0
30～39歳	39	35.9	2.6	7.7	17.9	17.9	10.3	35.9	10.3	15.4	17.9
40～49歳	42	14.3	—	7.1	4.8	—	4.8	45.2	7.1	4.8	26.2
50～59歳	47	14.9	—	—	14.9	6.4	10.6	29.8	2.1	8.5	31.9
60～69歳	45	11.1	—	—	6.7	4.4	4.4	13.3	2.2	11.1	60.0
70歳以上	52	1.9	—	—	—	—	—	—	—	1.9	96.2

オ 行政手続きや行政の対応で

「受けていない」の割合が19.0%と最も高くなっています。



【性別】

性別でみると、大きな差異はみられません。

単位：%

区分	有効回答数(件)	あらぬうわさ、悪口を言われた	暴力をふるわれた	脅迫・無理強いされた	差別待遇を受けた	仲間外れ、いじめを受けた	プライバシーを侵害された	ハラスメントを受けた	157以外のことを受けた	受けていない	無回答
男性	90	—	—	1.1	3.3	—	2.2	—	—	16.7	77.8
女性	157	1.3	—	0.6	4.5	0.6	0.6	1.3	0.6	20.4	73.2

【年代別】

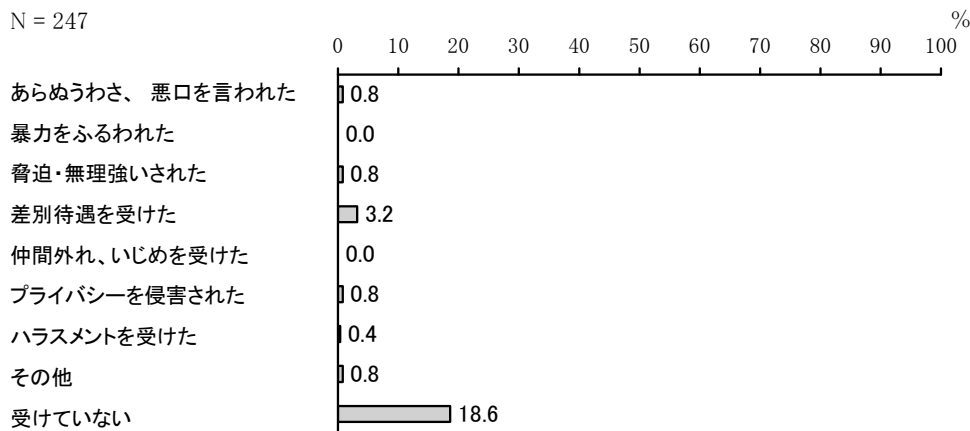
年代別でみると、20～29歳で「受けていない」の割合が高く、4割近くとなっています。

単位：%

区分	有効回答数(件)	あらぬうわさ、悪口を言われた	暴力をふるわれた	脅迫・無理強いされた	差別待遇を受けた	仲間外れ、いじめを受けた	プライバシーを侵害された	ハラスメントを受けた	157以外のことを受けた	受けていない	無回答
18, 19歳	6	—	—	—	—	—	—	—	—	100.0	—
20～29歳	16	—	—	—	—	—	—	—	—	37.5	62.5
30～39歳	39	—	—	5.1	7.7	—	2.6	—	—	25.6	61.5
40～49歳	42	2.4	—	—	2.4	2.4	2.4	2.4	2.4	23.8	73.8
50～59歳	47	2.1	—	—	—	—	2.1	—	—	17.0	78.7
60～69歳	45	—	—	—	8.9	—	—	2.2	—	11.1	77.8
70歳以上	52	—	—	—	3.8	—	—	—	—	3.8	92.3

カ 福祉・医療サービスで

「受けていない」の割合が18.6%と最も高くなっています。



【性別】

性別でみると、大きな差異はみられません。

単位：%

区分	有効回答数(件)	あらぬうわさ、悪口を言われた	暴力をふるわれた	脅迫・無理強いされた	差別待遇を受けた	仲間外れ、いじめを受けた	プライバシーを侵害された	ハラスメントを受けた	157以外のことを受けた	受けていない	無回答
男性	90	1.1	—	—	2.2	—	—	—	—	16.7	80.0
女性	157	0.6	—	1.3	3.8	—	1.3	0.6	1.3	19.7	73.2

【年代別】

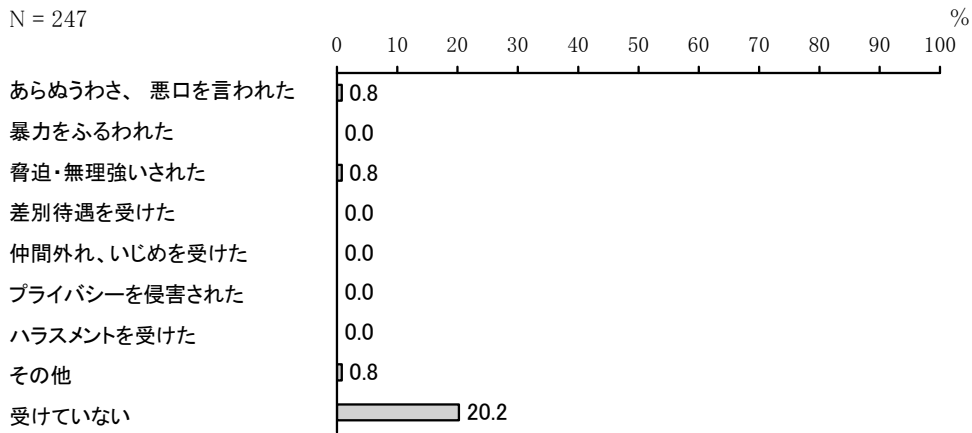
年代別でみると、20～29歳で「受けていない」の割合が高く、4割近くとなっています。

単位：%

区分	有効回答数(件)	あらぬうわさ、悪口を言われた	暴力をふるわれた	脅迫・無理強いされた	差別待遇を受けた	仲間外れ、いじめを受けた	プライバシーを侵害された	ハラスメントを受けた	157以外のことを受けた	受けていない	無回答
18, 19歳	6	—	—	—	—	—	—	—	—	100.0	—
20～29歳	16	—	—	—	—	—	—	—	—	37.5	62.5
30～39歳	39	—	—	—	5.1	—	2.6	—	2.6	30.8	61.5
40～49歳	42	—	—	—	—	—	—	—	—	21.4	78.6
50～59歳	47	—	—	2.1	2.1	—	2.1	—	—	14.9	78.7
60～69歳	45	4.4	—	2.2	6.7	—	—	2.2	2.2	8.9	77.8
70歳以上	52	—	—	—	3.8	—	—	—	—	3.8	92.3

キ インターネット上で

「受けていない」の割合が20.2%と最も高くなっています。



【性別】

性別でみると、大きな差異はみられません。

単位：%

区分	有効回答数(件)	あらぬうわさ、悪口を言われた	暴力をふるわれた	脅迫・無理強いされた	差別待遇を受けた	仲間外れ、いじめを受けた	プライバシーを侵害された	ハラスメントを受けた	157以外のことを受けた	受けていない	無回答
男性	90	—	—	1.1	—	—	—	—	1.1	16.7	81.1
女性	157	1.3	—	0.6	—	—	—	—	0.6	22.3	75.2

【年代別】

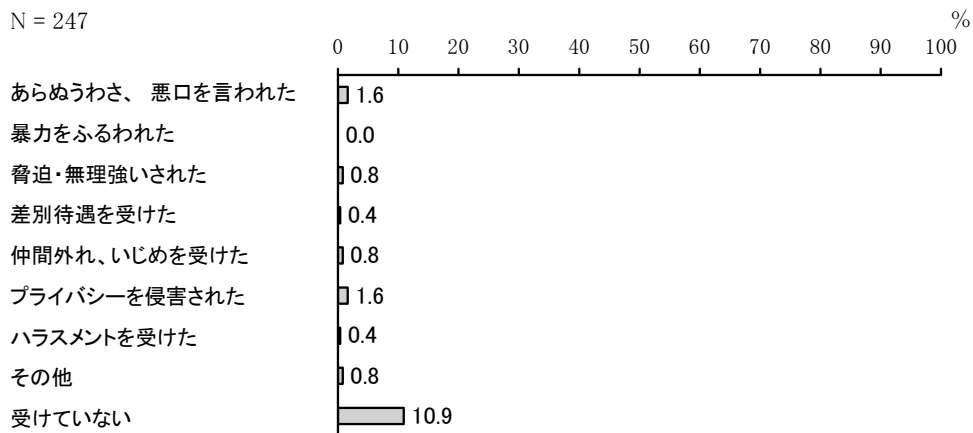
年代別でみると、20～29歳で「受けていない」の割合が高く、4割を超えています。

単位：%

区分	有効回答数(件)	あらぬうわさ、悪口を言われた	暴力をふるわれた	脅迫・無理強いされた	差別待遇を受けた	仲間外れ、いじめを受けた	プライバシーを侵害された	ハラスメントを受けた	157以外のことを受けた	受けていない	無回答
18, 19歳	6	16.7	—	—	—	—	—	—	—	83.3	—
20～29歳	16	—	—	6.3	—	—	—	—	—	43.8	50.0
30～39歳	39	—	—	—	—	—	—	—	—	35.9	64.1
40～49歳	42	—	—	—	—	—	—	—	—	21.4	78.6
50～59歳	47	2.1	—	2.1	—	—	—	—	2.1	17.0	76.6
60～69歳	45	—	—	—	—	—	—	—	2.2	11.1	86.7
70歳以上	52	—	—	—	—	—	—	—	—	3.8	96.2

ク その他

「受けていない」の割合が10.9%と最も高くなっています。



【性別】

性別でみると、大きな差異はみられません。

単位：%

区分	有効回答数(件)	あらぬうわさ、悪口を言われた	暴力をふるわれた	脅迫・無理強いされた	差別待遇を受けた	仲間外れ、いじめを受けた	プライバシーを侵害された	ハラスメントを受けた	157以外のことを受けた	受けていない	無回答
男性	90	1.1	—	2.2	1.1	—	1.1	1.1	2.2	13.3	78.9
女性	157	1.9	—	—	—	1.3	1.9	—	—	9.6	86.6

【年代別】

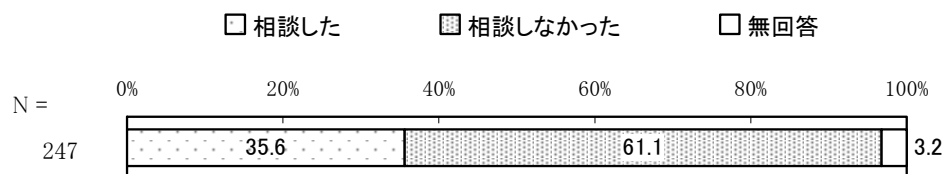
年代別でみると、大きな差異はみられません。

単位：%

区分	有効回答数(件)	あらぬうわさ、悪口を言われた	暴力をふるわれた	脅迫・無理強いされた	差別待遇を受けた	仲間外れ、いじめを受けた	プライバシーを侵害された	ハラスメントを受けた	157以外のことを受けた	受けていない	無回答
18, 19歳	6	—	—	—	—	—	—	—	—	50.0	50.0
20~29歳	16	—	—	—	—	—	—	—	—	18.8	81.3
30~39歳	39	—	—	—	—	—	—	—	2.6	17.9	79.5
40~49歳	42	2.4	—	2.4	—	—	—	—	—	2.4	92.9
50~59歳	47	—	—	—	2.1	—	2.1	—	2.1	12.8	80.9
60~69歳	45	2.2	—	—	—	2.2	2.2	—	—	11.1	84.4
70歳以上	52	3.8	—	1.9	—	1.9	3.8	1.9	—	3.8	86.5

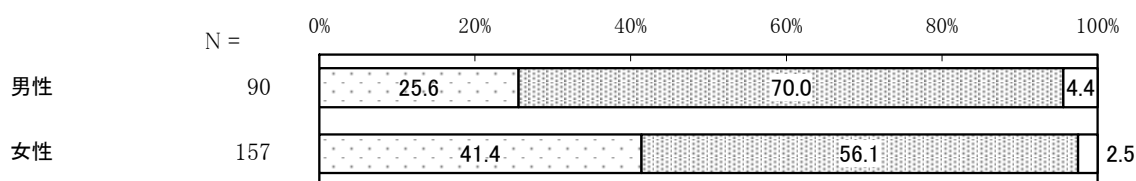
【問7】問5で「1. ある」を選択された方のみお答えください。
そのとき、どこかに相談しましたか。(〇は1つ)

「相談した」の割合が35.6%、「相談しなかった」の割合が61.1%となっています。



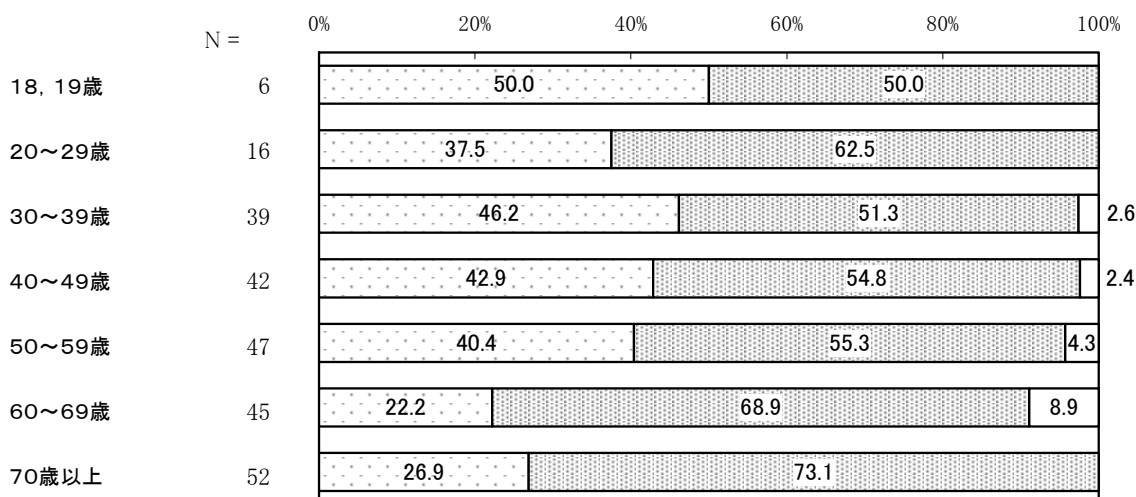
【性別】

性別でみると、女性に比べ男性で「相談しなかった」の割合が高く、7割となっています。



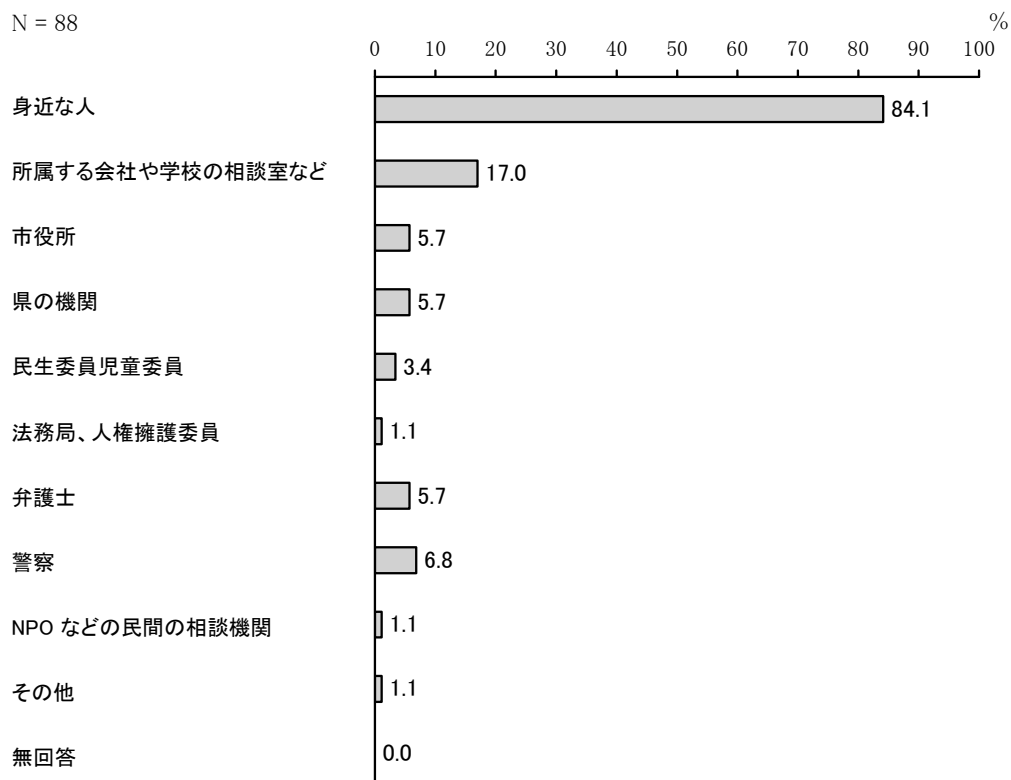
【年代別】

年代別でみると、60～69歳、70歳以上で「相談しなかった」の割合が高くなっています。



【問8】問7で「1. 相談した」を選択された方のみお答えください。
どこに相談しましたか。(あてはまるものに○)

「身近な人」の割合が84.1%と最も高く、次いで「所属する会社や学校の相談室など」の割合が17.0%となっています。



【性別】

性別で見ると、男性に比べ女性で「身近な人」の割合が高く、約9割となっています。一方、女性に比べ男性で「弁護士」の割合が高く、2割近くとなっています。

単位：%

区分	有効回答数(件)	身近な人	所属する会社や学校の相談室など	市役所	県の機関	民生委員児童委員	法務局、人権擁護委員	弁護士	警察	その他の民間の相談機関	その他	無回答
男性	23	69.6	17.4	17.4	8.7	8.7	4.3	17.4	8.7	4.3	—	—
女性	65	89.2	16.9	1.5	4.6	1.5	—	1.5	6.2	—	1.5	—

【年代別】

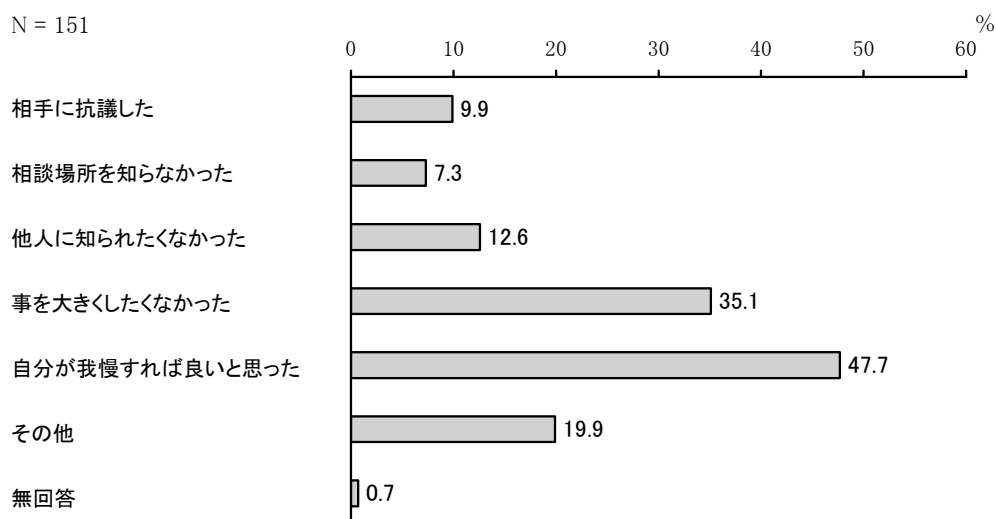
年代別でみると、30～39歳、60～69歳で「身近な人」の割合が高くなっています。また、40～49歳、50～59歳で「所属する会社や学校の相談室など」の割合が高く、2割を超えています。

単位：％

区分	有効回答数 (件)	身近な人	所属する会社や学 校の相談室など	市役所	県の機関	民生委員児童委員	法務局、人権擁護委 員	弁護士	警察	NPOなどの民間 の相談機関	その他	無回答
18, 19歳	3	100.0	66.7	—	—	—	—	—	—	—	—	—
20～29歳	6	100.0	16.7	—	—	—	—	—	—	—	—	—
30～39歳	18	94.4	16.7	—	—	—	—	—	5.6	—	5.6	—
40～49歳	18	66.7	22.2	5.6	5.6	—	—	5.6	5.6	—	—	—
50～59歳	19	84.2	21.1	5.3	10.5	—	—	10.5	5.3	—	—	—
60～69歳	10	90.0	10.0	20.0	20.0	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0	—	—
70歳以上	14	78.6	—	7.1	—	14.3	—	7.1	14.3	—	—	—

**【問9】問7で「2. 相談しなかった」を選択された方のみお答えください。
相談しなかった理由は何ですか。(あてはまるものに○)**

「自分が我慢すれば良いと思った」の割合が47.7%と最も高く、次いで「事を大きくしなくなかった」の割合が35.1%、「他人に知られなくなかった」の割合が12.6%となっています。



【性別】

性別でみると、女性に比べ男性で「相手に抗議した」の割合が高く、2割近くとなっています。一方、男性に比べ女性で「他人に知られなくなかった」「事を大きくしなくなかった」「自分が我慢すれば良いと思った」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	有効回答数(件)	相手に抗議した	相談場所を知らなかった	他人に知られなくなかった	事を大きくしなくなかった	自分が我慢すれば良いと思った	その他	無回答
男性	63	17.5	6.3	9.5	31.7	38.1	25.4	—
女性	88	4.5	8.0	14.8	37.5	54.5	15.9	1.1

【年代別】

年代別でみると、大きな差異はみられません。

単位：%

区分	有効回答数 (件)	相手に抗議した	相談場所を知らな かった	他人に知られたく なかった	事を大きくしたく なかった	自分が我慢すれば 良いと思った	その他	無回答
18, 19歳	3	—	—	33.3	100.0	100.0	33.3	—
20～29歳	10	10.0	10.0	10.0	20.0	60.0	20.0	—
30～39歳	20	5.0	15.0	15.0	40.0	55.0	20.0	—
40～49歳	23	13.0	—	17.4	39.1	56.5	4.3	—
50～59歳	26	11.5	11.5	19.2	30.8	46.2	34.6	—
60～69歳	31	6.5	9.7	9.7	38.7	35.5	16.1	—
70歳以上	38	13.2	2.6	5.3	28.9	42.1	21.1	2.6

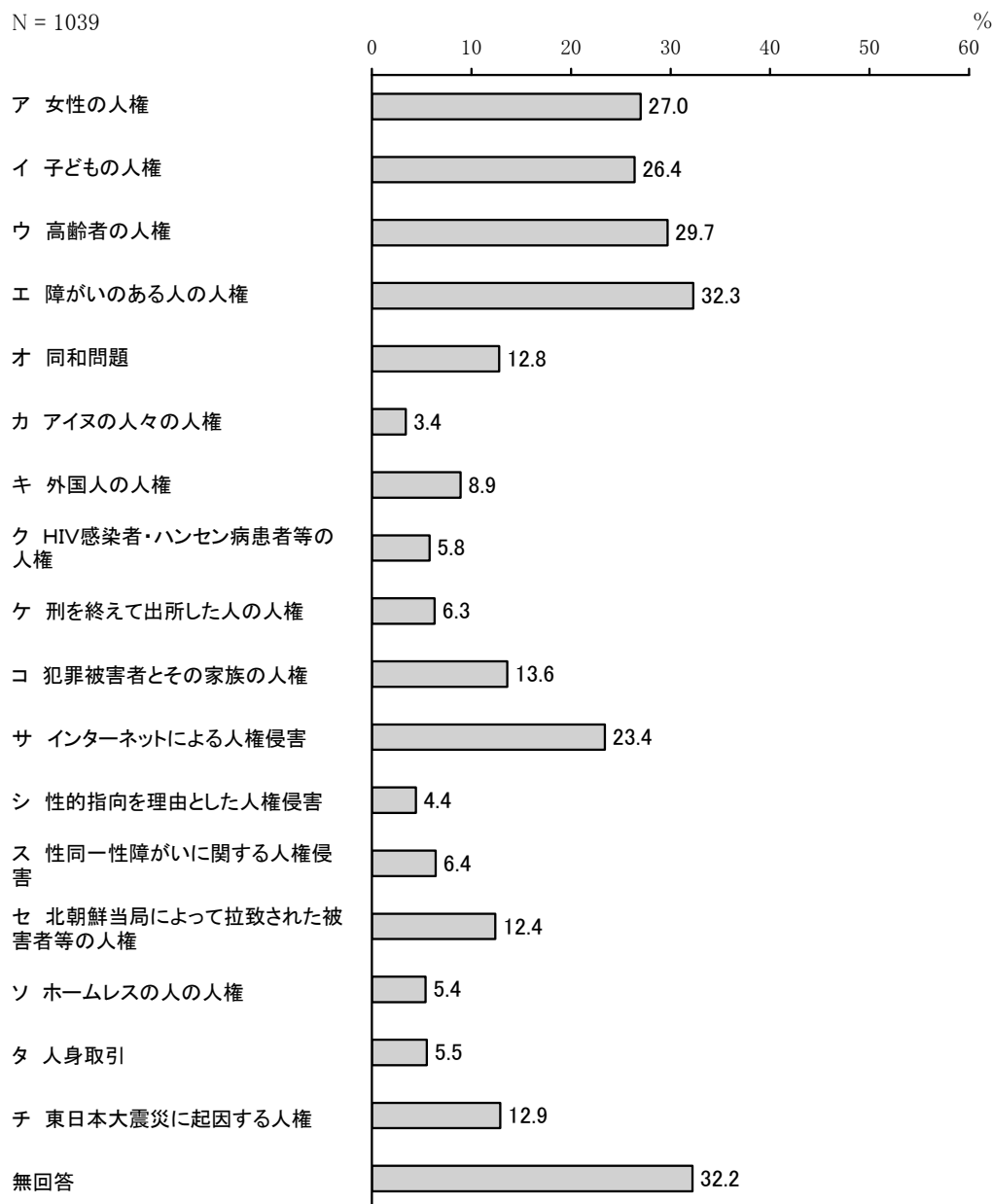
【問10】人権課題について、あなたの関心があるものはどれですか。

(あてはまるものに○)

また、今後の啓発はどうすべきだと思いますか。(それぞれ○を1つずつ)

① 関心があるもの

「エ障がいのある人の人権」の割合が32.3%と最も高く、次いで「ウ高齢者の人権」の割合が29.7%、「ア女性の人権」の割合が27.0%となっています。



【性別】

性別でみると、男性に比べ女性で「女性の人権」の割合が高く、3割を超えています。一方、女性に比べ男性で「同和問題」「北朝鮮当局によって拉致された被害者等の人権」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	有効回答数(件)	女性の人権	子どもの人権	高齢者の人権	障がいのある人の人権	同和問題	アイヌの人々の人権	外国人の人権	HIV感染者・ハンセン病患者等の人権	刑を終えて出所した人の人権
男性	461	18.7	25.4	28.9	33.6	17.1	4.8	10.2	6.9	8.5
女性	576	33.9	27.3	30.6	31.4	9.4	2.3	7.8	4.9	4.5

区分	犯罪被害者とその家族の人権	インターネットによる人権侵害	性的指向を理由とした人権侵害	性同一性障がいに関する人権侵害	北朝鮮当局によって拉致された被害者等の人権	ホームレスの人の人権	人身取引	東日本大震災に起因する人権	無回答
男性	15.4	25.8	4.6	5.2	16.7	6.9	7.2	14.1	31.0
女性	12.2	21.5	4.3	7.3	9.0	4.2	4.2	12.0	33.0

【年代別】

年代別でみると、18、19歳で「女性の人権」「子どもの人権」「障がいのある人の人権」「HIV感染者・ハンセン病患者等の人権」「刑を終えて出所した人の人権」「犯罪被害者とその家族の人権」「性的指向を理由とした人権侵害」「性同一性障がいに関する人権侵害」の割合が高くなっています。50～59歳、60～69歳、70歳以上で「高齢者の人権」の割合が高くなっています。また、20～29歳、30～39歳で「性同一性障がいに関する人権侵害」の割合が高くなっています。

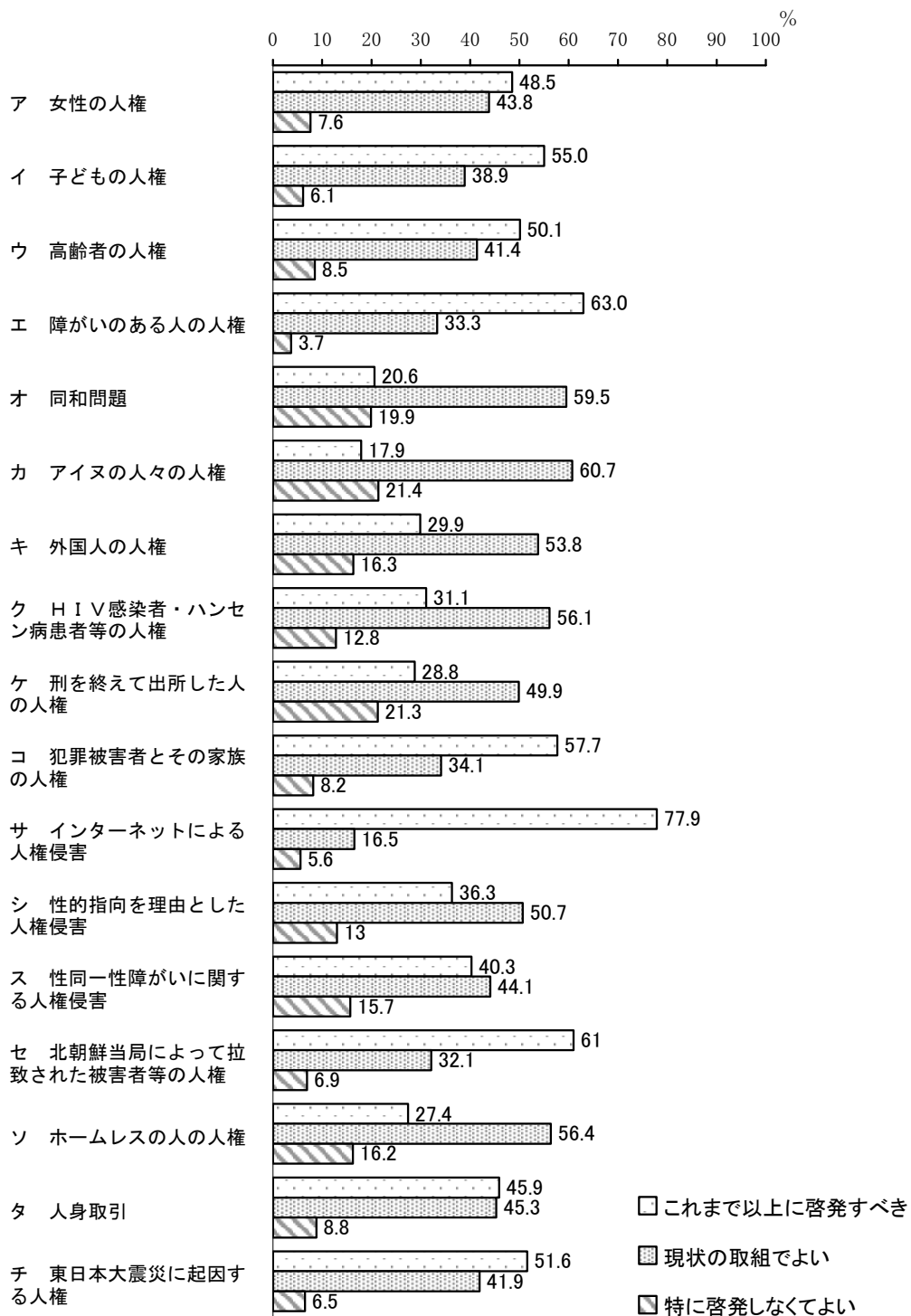
単位：％

区分	有効回答数 (件)	女性の人権	子どもの人権	高齢者の人権	障がいのある人の人権	同和問題	アイヌの人々の人権	外国人の人権	HIV感染者・ハンセン病患者等の人権	刑を終えて出所した人の人権
18, 19歳	15	53.3	46.7	26.7	66.7	20.0	6.7	20.0	26.7	20.0
20～29歳	52	38.5	51.9	19.2	32.7	9.6	—	7.7	3.8	7.7
30～39歳	112	33.0	37.5	19.6	32.1	7.1	3.6	15.2	8.9	5.4
40～49歳	143	37.1	37.1	25.9	35.7	11.9	2.8	11.9	5.6	6.3
50～59歳	138	31.2	28.3	31.2	41.3	15.9	4.3	12.3	2.9	5.8
60～69歳	239	23.0	22.6	35.6	36.8	13.4	4.2	7.9	4.2	7.5
70歳以上	340	19.1	15.3	31.8	22.6	13.5	2.9	4.4	6.5	5.0

区分	犯罪被害者とその家族の人権	インターネットによる人権侵害	性的指向を理由とした人権侵害	性同一性障がいに関する人権侵害	北朝鮮当局によって拉致された被害者等の人権	ホームレスの人の人権	人身取引	東日本大震災に起因する人権	無回答
18, 19歳	33.3	40.0	20.0	26.7	13.3	13.3	20.0	26.7	13.3
20～29歳	13.5	34.6	1.9	13.5	5.8	9.6	7.7	17.3	21.2
30～39歳	19.6	34.8	8.9	12.5	7.1	4.5	7.1	12.5	20.5
40～49歳	20.3	39.2	7.0	7.7	10.5	4.9	5.6	16.8	17.5
50～59歳	15.2	34.8	4.3	9.4	8.7	6.5	4.3	9.4	24.6
60～69歳	12.1	20.1	2.9	3.8	16.3	4.2	5.0	16.7	30.5
70歳以上	8.2	8.2	2.6	2.4	14.7	5.3	4.7	8.8	49.1

② 今後の啓発

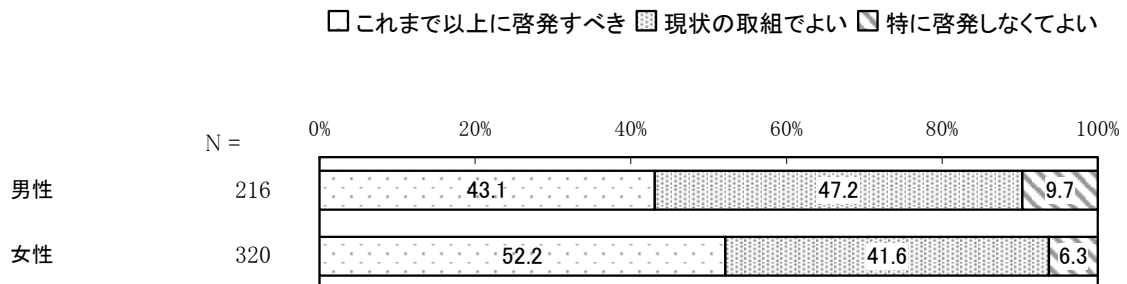
ア 女性の人権、イ 子どもの人権、ウ 高齢者の人権、エ 障がいのある人の人権、コ 犯罪被害者とその家族の人権、サ インターネットによる人権侵害、セ 北朝鮮当局によって拉致された被害者等の人権、タ 人身取引、チ 東日本大震災に起因する人権で「これまで以上に啓発すべき」の割合が最も高くなっています。



ア 女性の人権

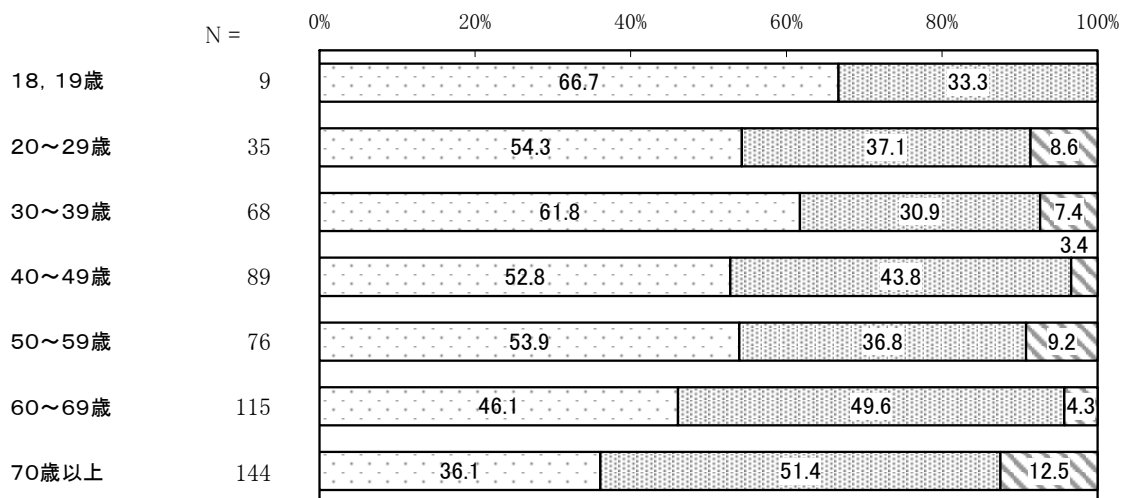
【性別】

性別でみると、男性に比べ女性で「これまで以上に啓発すべき」の割合が高く、約5割となっています。



【年代別】

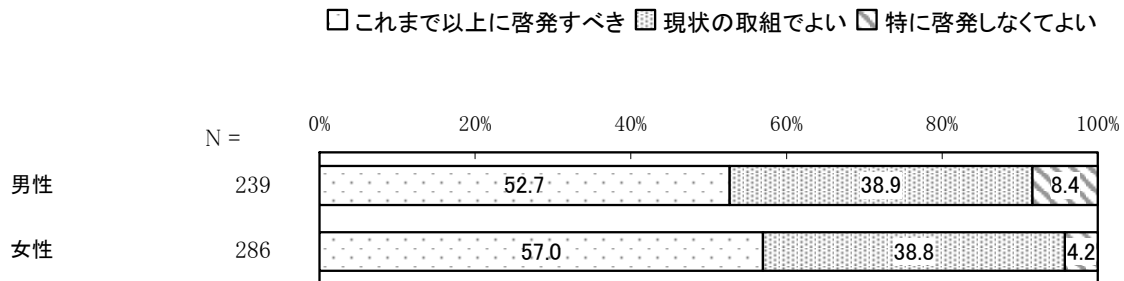
年代別でみると、30～39歳で「これまで以上に啓発すべき」の割合が高くなっています。



イ 子どもの人権

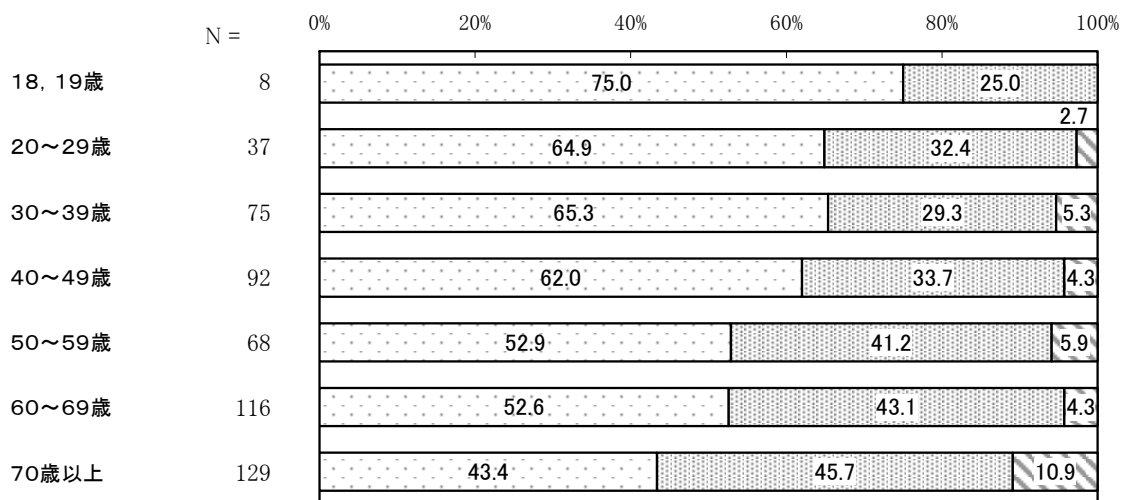
【性別】

性別でみると、大きな差異はみられません。



【年代別】

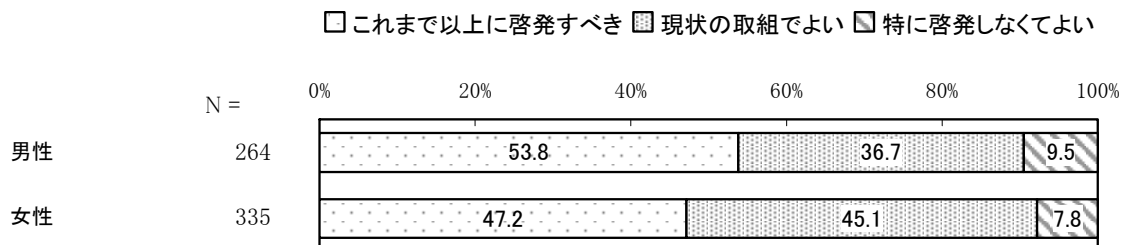
年代別でみると、70歳以上で「これまで以上に啓発すべき」の割合が低くなっています。



ウ 高齢者の人権

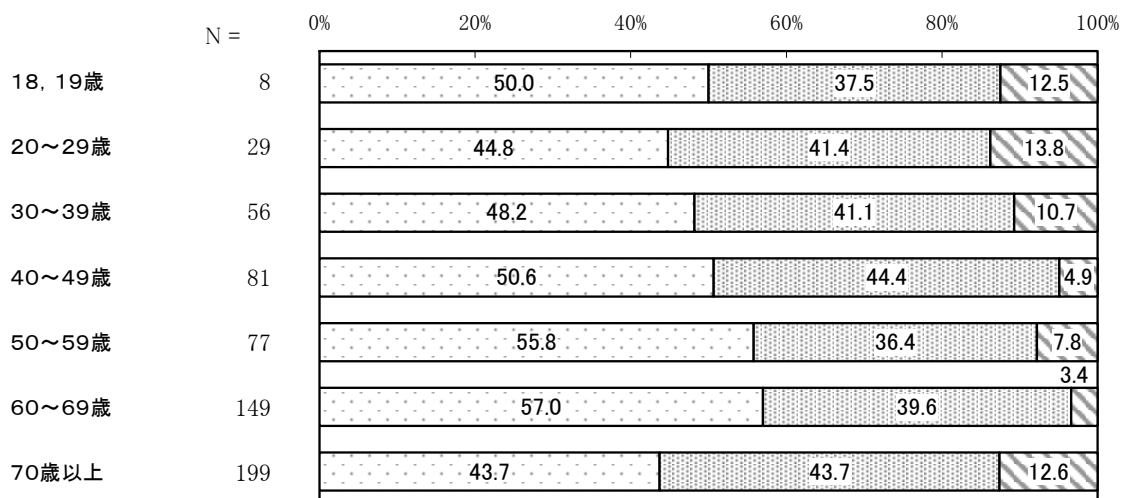
【性別】

性別でみると、男性に比べ女性で「現状の取組でよい」の割合が高く、4割半ばとなっています。また、女性に比べ男性で「これまで以上に啓発すべき」の割合が高く、約5割となっています。



【年代別】

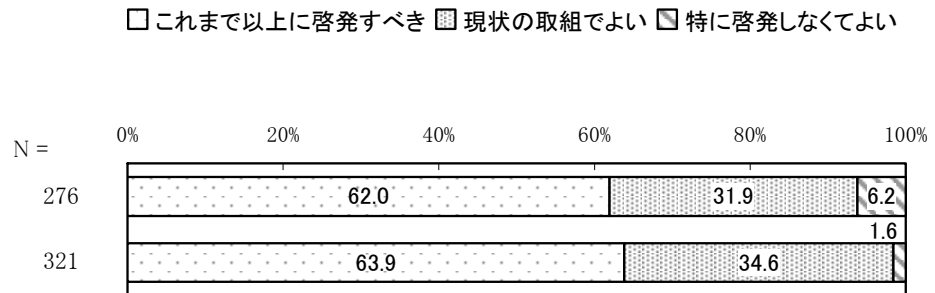
年代別でみると、50～59歳、60～69歳で「これまで以上に啓発すべき」の割合が高くなっています。



エ 障がいのある人の人権

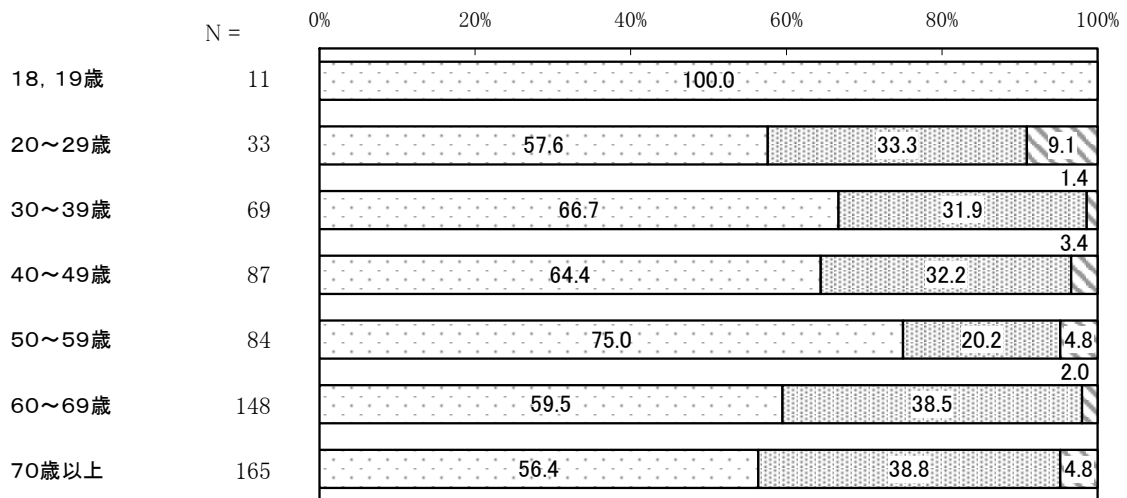
【性別】

性別でみると、大きな差異はみられません。



【年代別】

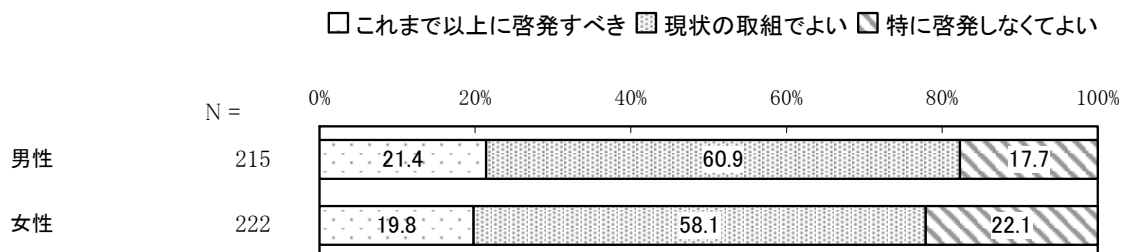
年代別でみると、50～59歳で「これまで以上に啓発すべき」の割合が高く、7割半ばとなっています。



オ 同和問題

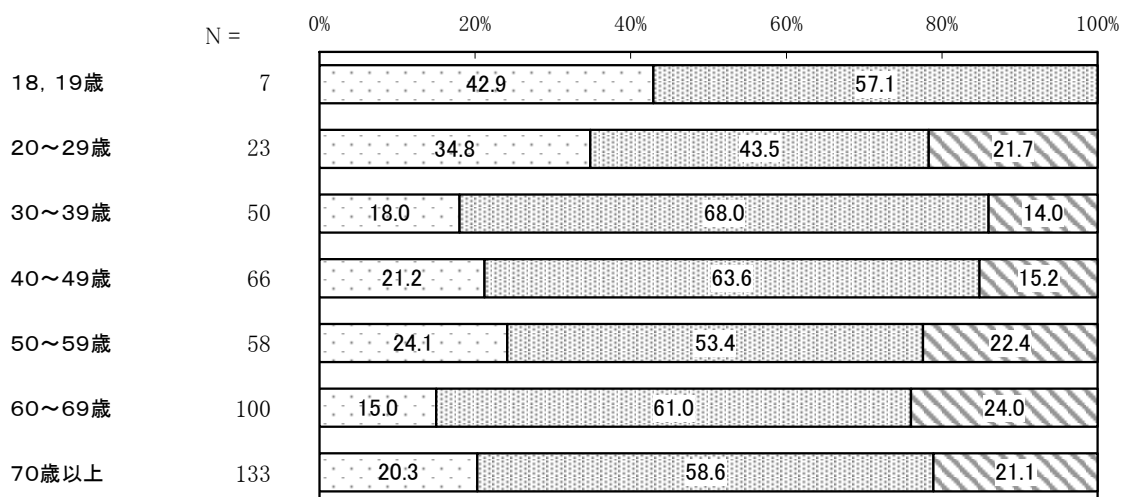
【性別】

性別でみると、大きな差異はみられません。



【年代別】

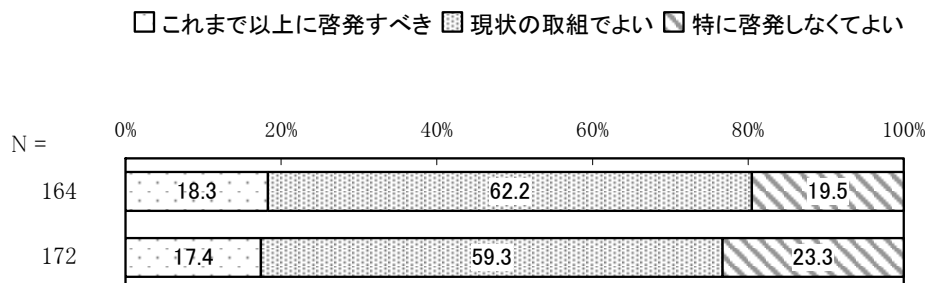
年代別でみると、20～29歳で「これまで以上に啓発すべき」の割合が高く、3割半ばとなっています。



カ アイヌの人々の人権

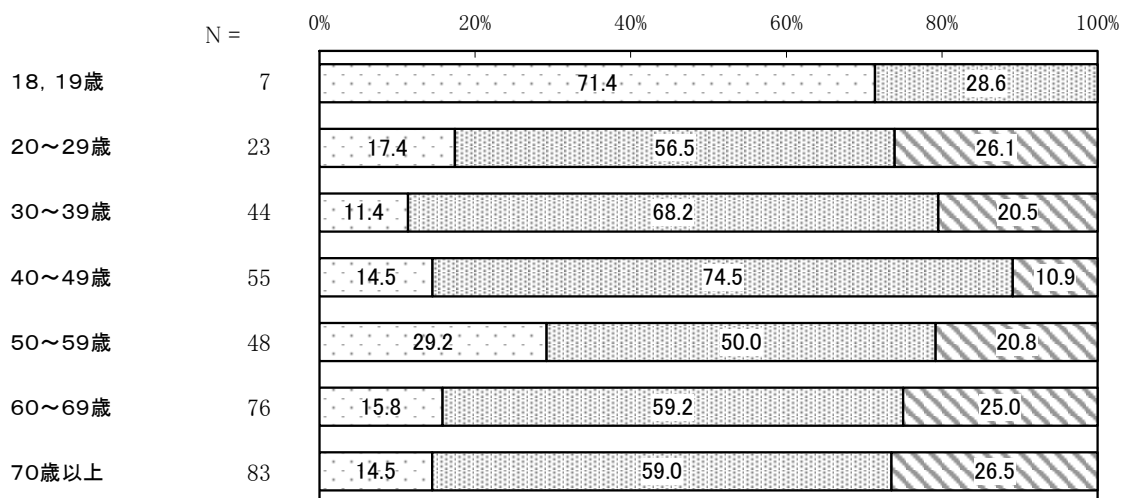
【性別】

性別でみると、大きな差異はみられません。



【年代別】

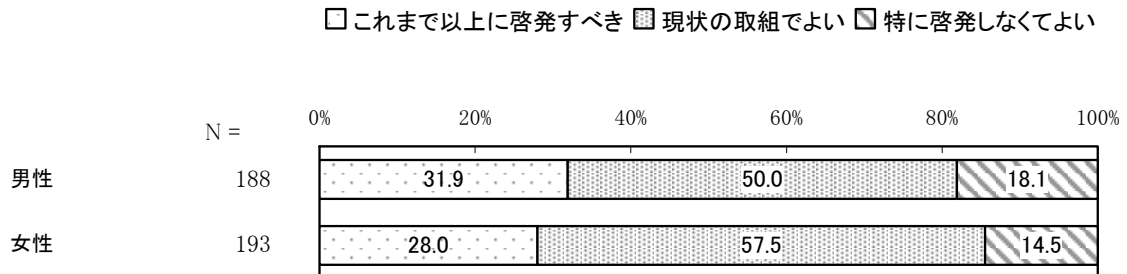
年代別でみると、50～59歳で「これまで以上に啓発すべき」の割合が高く、約3割となっています。



キ 外国人の人権

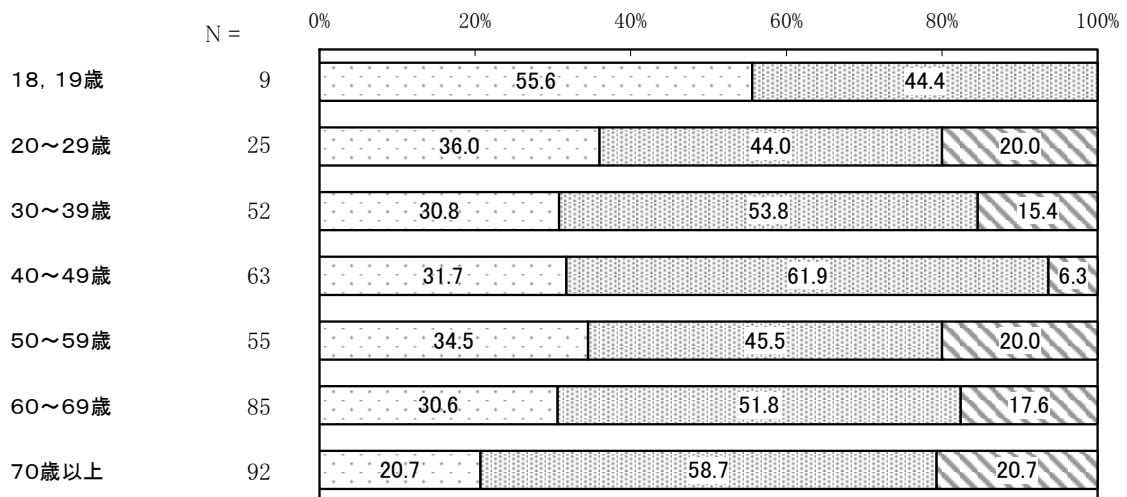
【性別】

性別でみると、男性に比べ女性で「現状の取組でよい」の割合が高く、5割半ばとなっています。



【年代別】

年代別でみると、40～49歳で「現状の取組でよい」の割合が高く、約6割となっています。

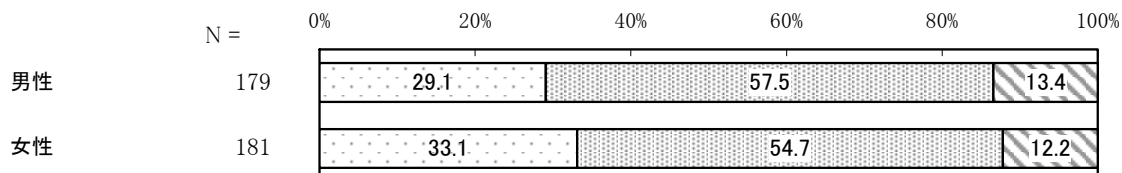


ク HIV感染者・ハンセン病患者等の人権

【性別】

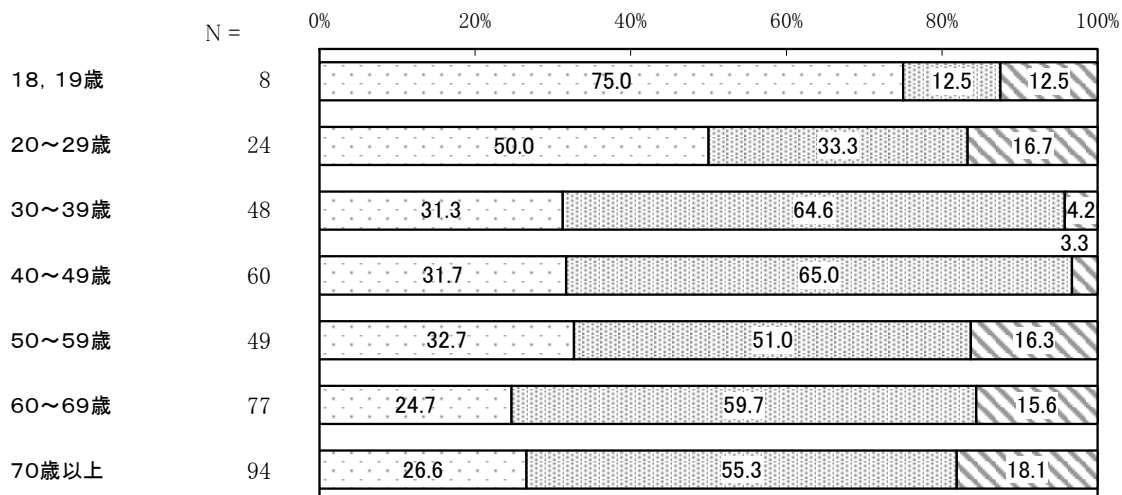
性別で見ると、大きな差異はみられません。

□ これまで以上に啓発すべき ■ 現状の取組でよい ▨ 特に啓発しなくてよい



【年代別】

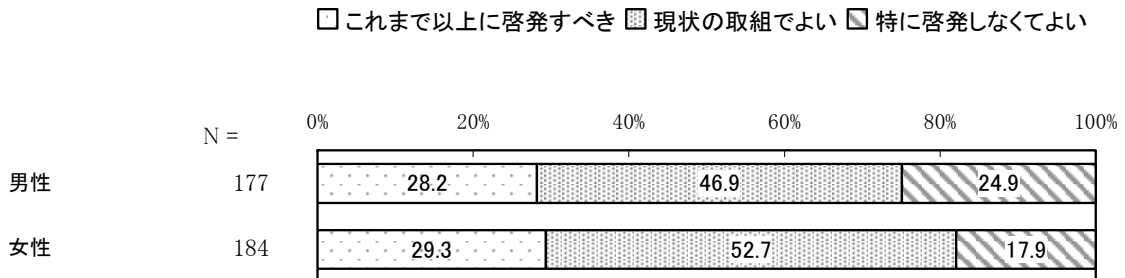
年代別で見ると、20～29歳で「これまで以上に啓発すべき」の割合が高く、5割となっています。一方、30～39歳、40～49歳で「現状の取組でよい」の割合が高く、6割半ばとなっています。



ケ 刑を終えて出所した人の人権

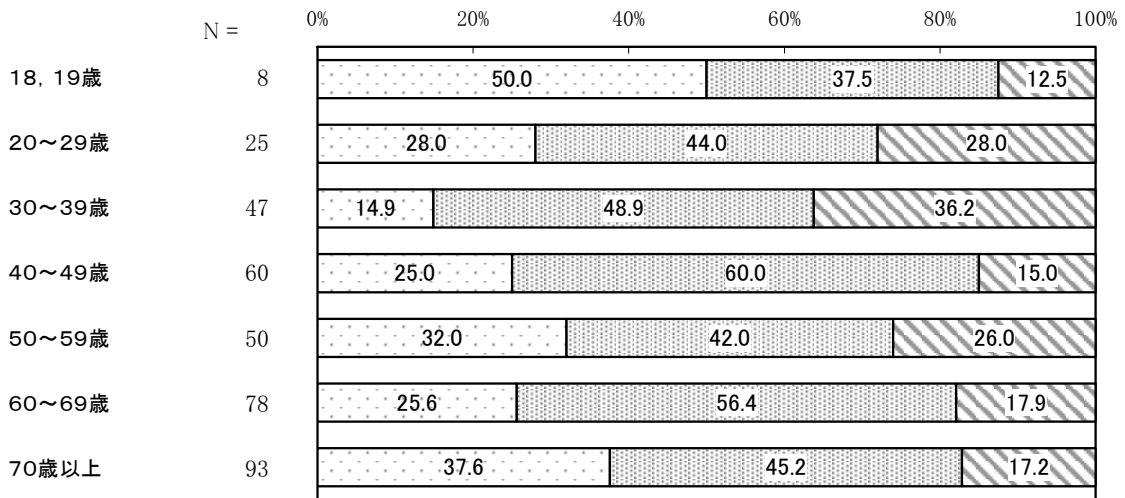
【性別】

性別で見ると、男性に比べ女性で「現状の取組でよい」の割合が高く、5割を超えています。



【年代別】

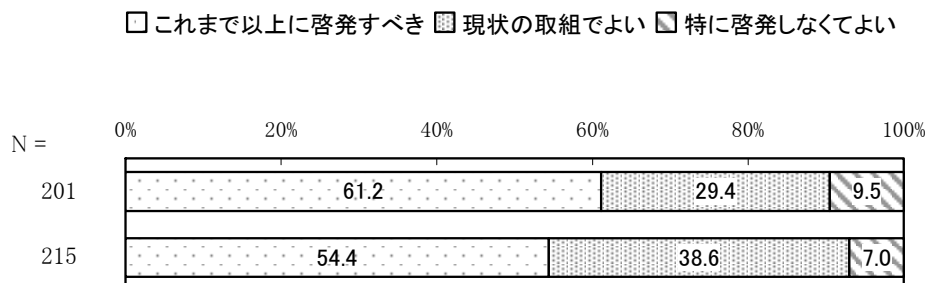
年代別で見ると、70歳以上で「これまで以上に啓発すべき」の割合が高く、3割半ばとなっています。



コ 犯罪被害者とその家族の人権

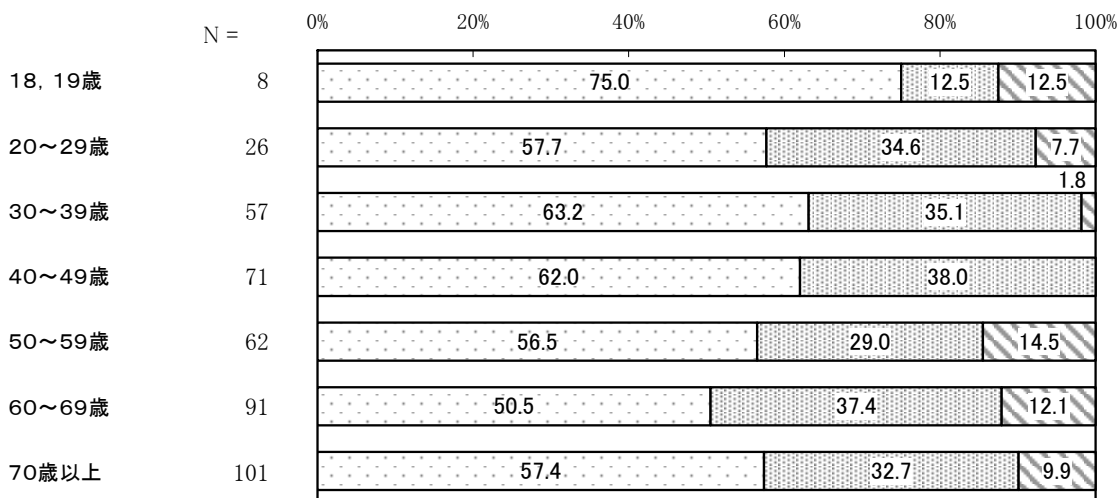
【性別】

性別でみると、女性に比べ男性で「これまで以上に啓発すべき」の割合が高く、約6割となっています。



【年代別】

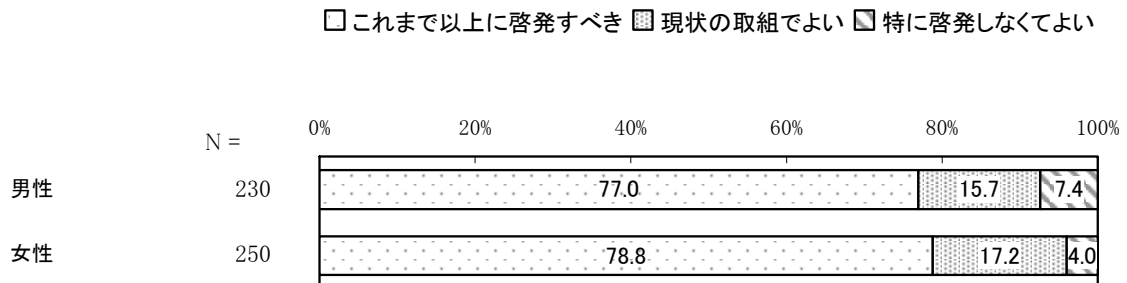
年代別でみると、60～69歳で「これまで以上に啓発すべき」の割合が低く、約5割となっています。



サ インターネットによる人権侵害

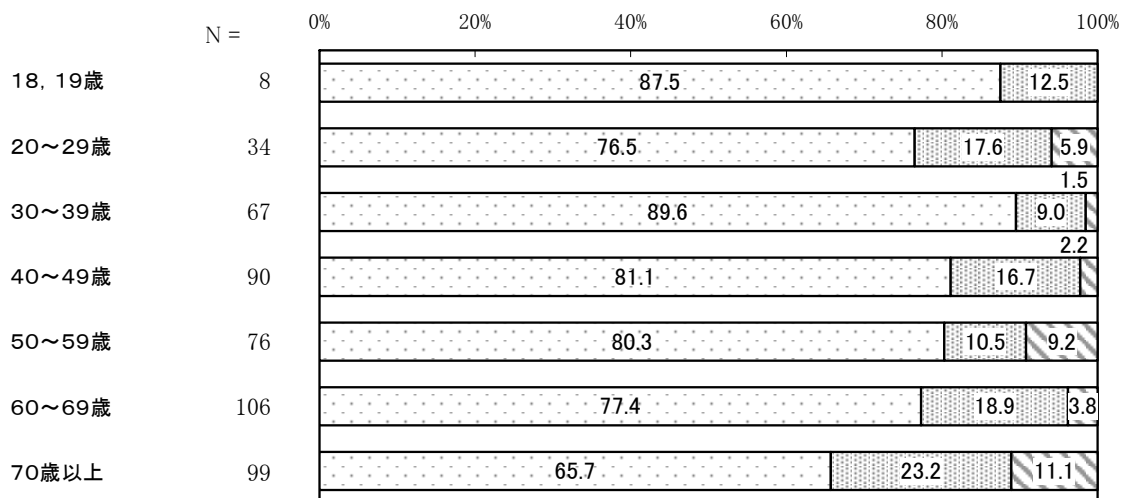
【性別】

性別でみると、大きな差異はみられません。



【年代別】

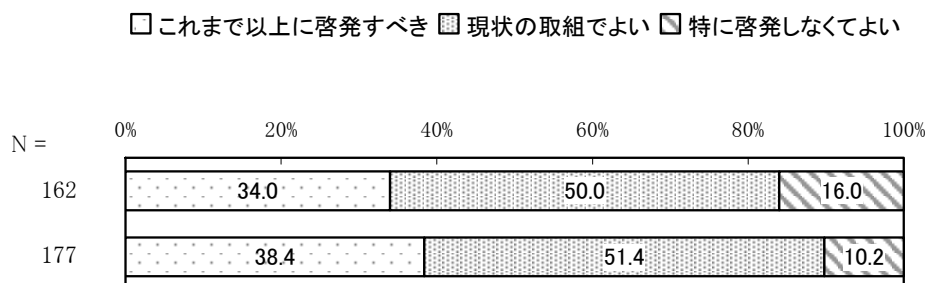
年代別でみると、30～39歳で「これまで以上に啓発すべき」の割合が高く、約9割となっています。



シ 性的指向を理由とした人権侵害

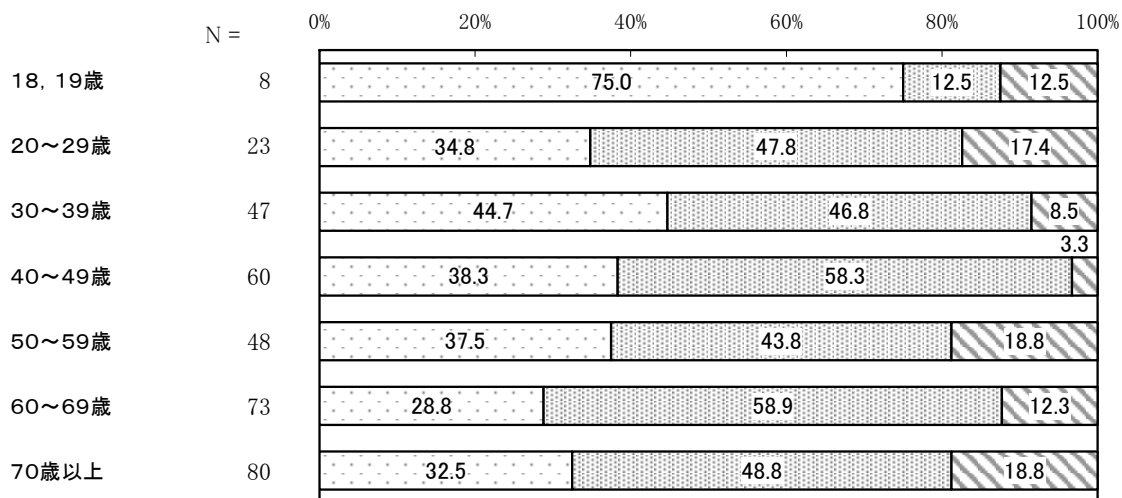
【性別】

性別でみると、女性に比べ男性で「特に啓発しなくてよい」の割合が高く、1割半ばとなっています。



【年代別】

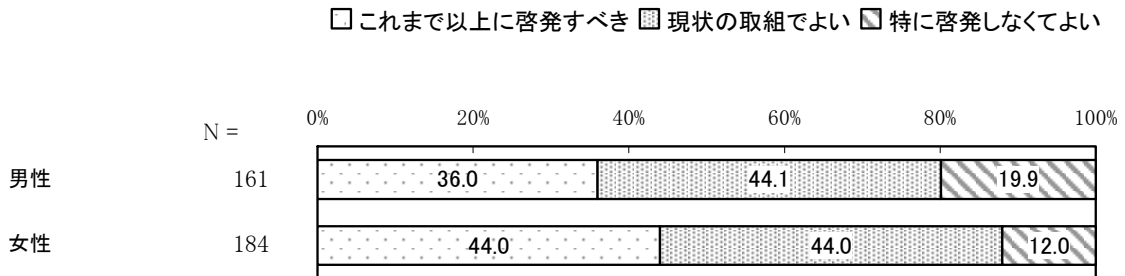
年代別でみると、30～39歳で「これまで以上に啓発すべき」の割合が高く、4割半ばとなっています。



ス 性同一性障がいに関する人権侵害

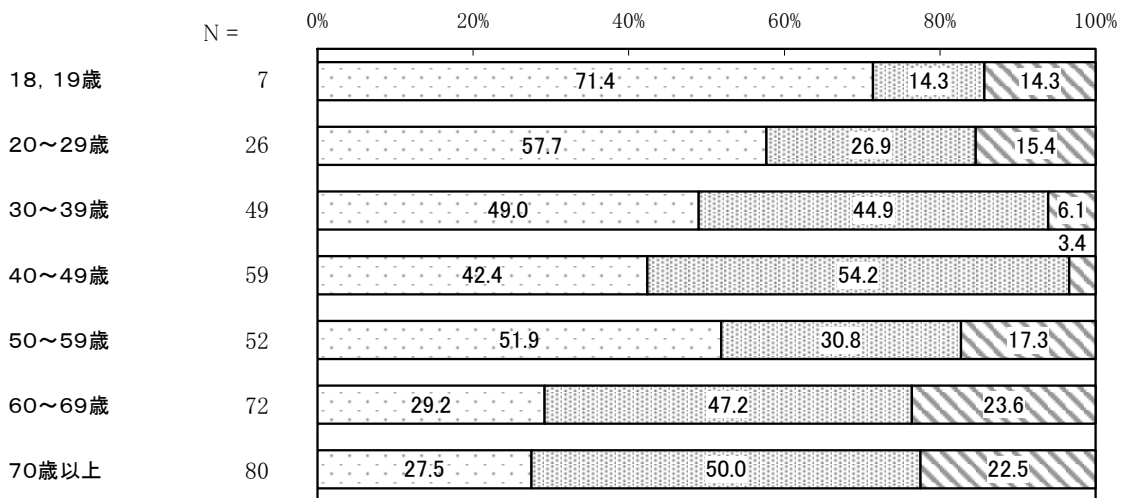
【性別】

性別でみると、男性に比べ女性で「これまで以上に啓発すべき」の割合が高く、4割半ばとなっています。



【年代別】

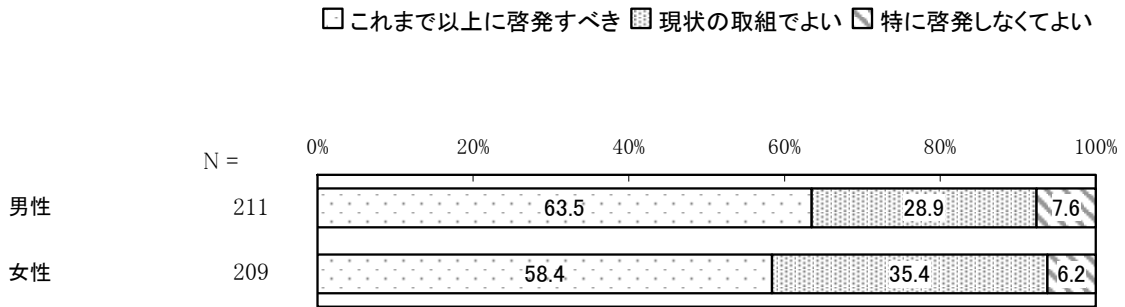
年代別でみると、20～29歳で「これまで以上に啓発すべき」の割合が高く、5割半ばとなっています。



セ 北朝鮮当局によって拉致された被害者等の人権

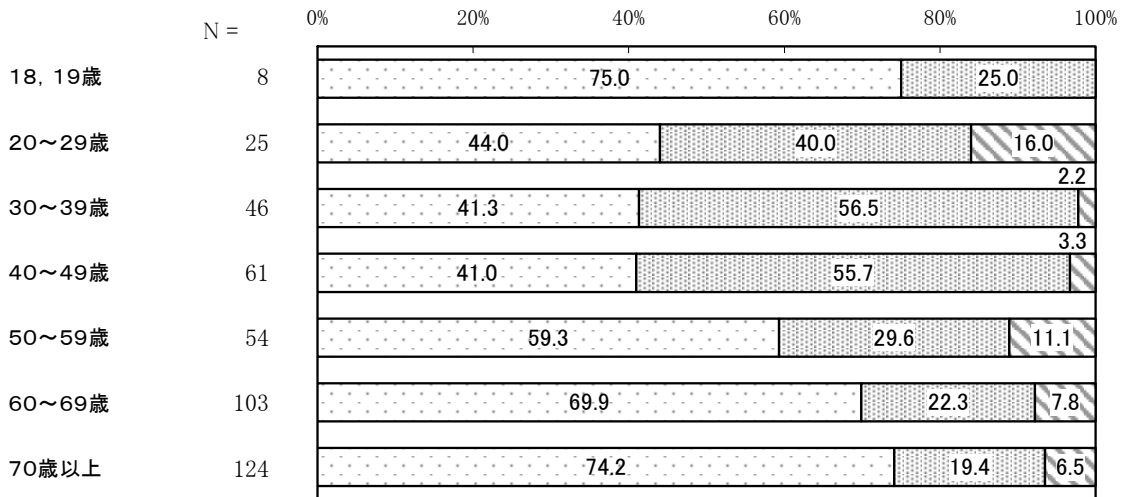
【性別】

性別でみると、女性に比べ男性で「これまで以上に啓発すべき」の割合が高く、6割を超えています。



【年代別】

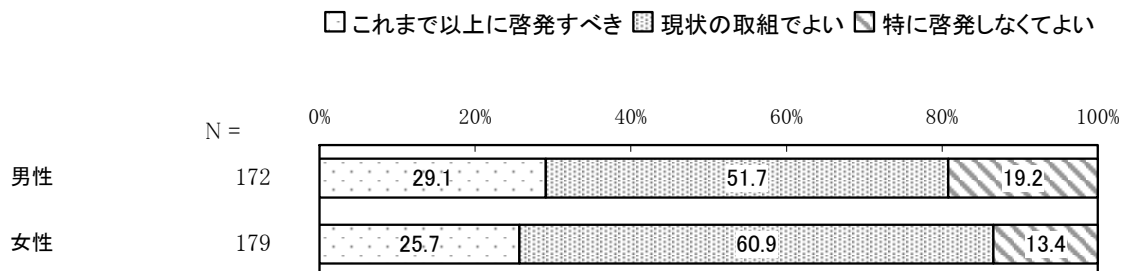
年代別でみると、60～69歳、70歳以上で「これまで以上に啓発すべき」の割合が高くなっています。



ソ ホームレスの人の人権

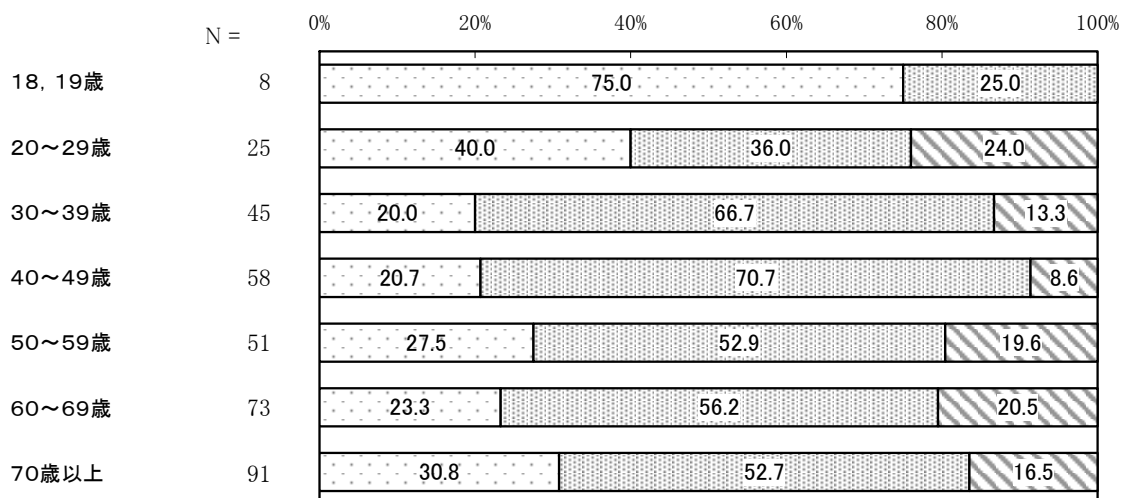
【性別】

性別で見ると、男性に比べ女性で「現状の取組でよい」の割合が高く、約6割となっています。また、女性に比べ男性で「特に啓発しなくてよい」の割合が高く、約2割となっています。



【年代別】

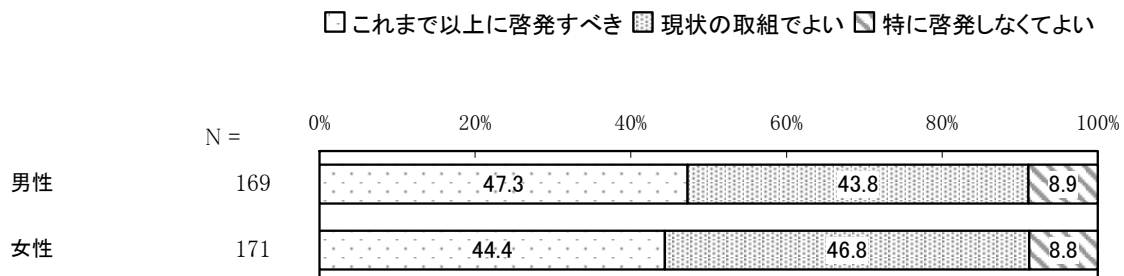
年代別で見ると、20～29歳で「これまで以上に啓発すべき」の割合が高く、4割となっています。一方、30～39歳、40～49歳で「現状の取組でよい」の割合が高くなっています。



タ 人身取引

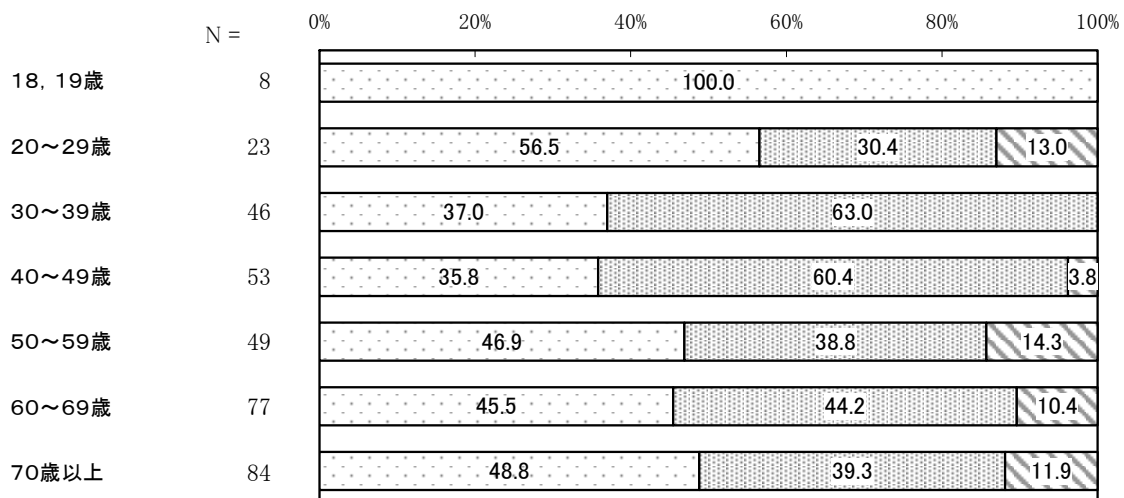
【性別】

性別でみると、大きな差異はみられません。



【年代別】

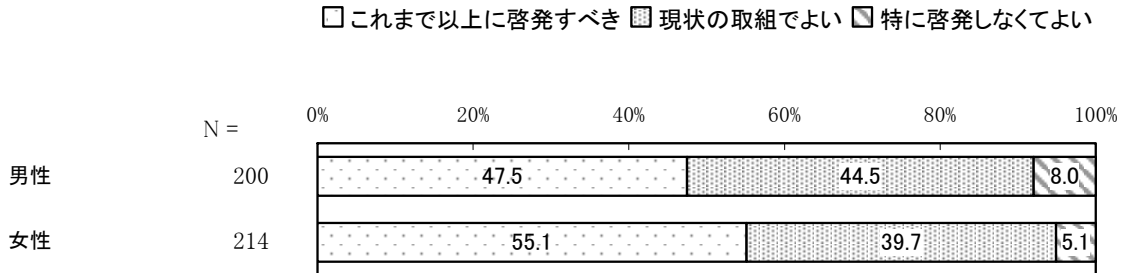
年代別でみると、30～39歳、40～49歳で「現状の取組でよい」の割合が高くなっています。



チ 東日本大震災に起因する人権

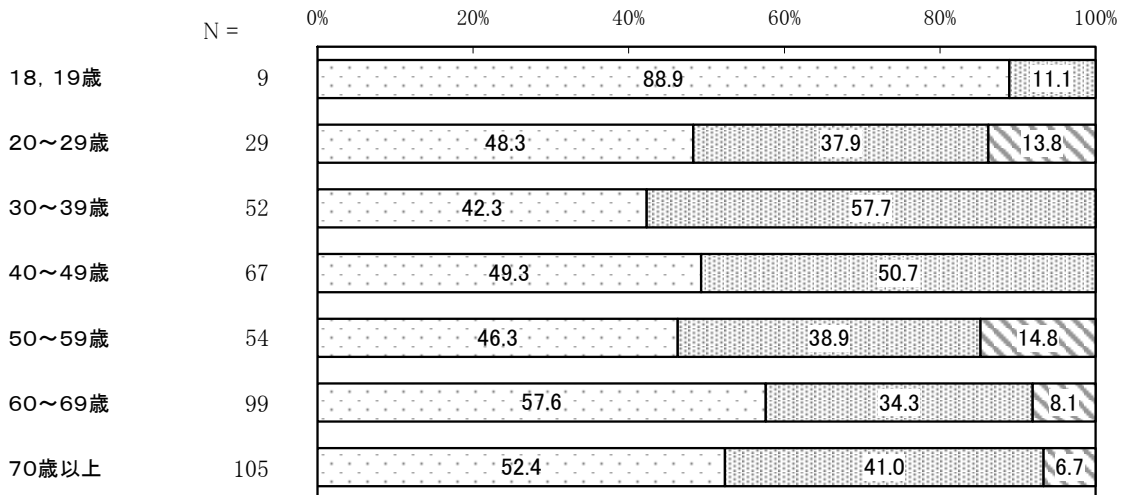
【性別】

性別でみると、男性に比べ女性で「これまで以上に啓発すべき」の割合が高く、5割半ばとなっています。



【年代別】

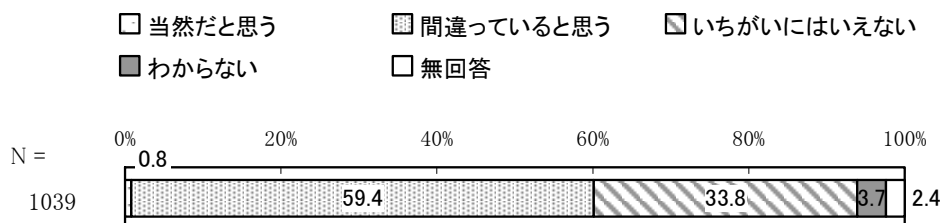
年代別でみると、60～69歳で「これまで以上に啓発すべき」の割合が高く、5割半ばとなっています。一方、30～39歳、40～49歳で「現状の取組でよい」の割合が高くなっています。



【問 1 1】人権の尊重や侵害については、人によってそれぞれ考え方に違いがあると言われて
 ています。次の場面で、あなたはどのように思いますか。

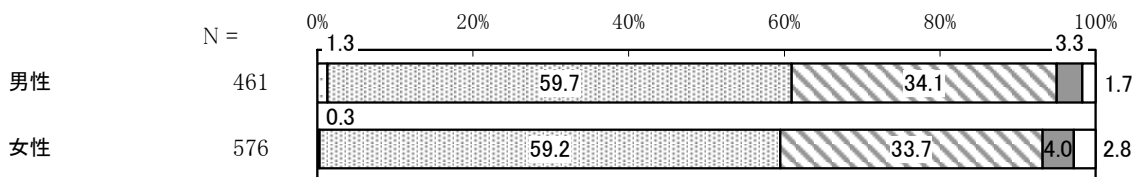
(ア) 会社の管理職への選考で、女性である A さんの方が管理能力があるのに、女性であることを
 理由に、別の男性を昇進させました。このことについて、あなたはどのように思いますか。

「間違っていると思う」の割合が 59.4%と最も高く、次いで「いちがいいにはいけない」の割合
 が 33.8%となっています。



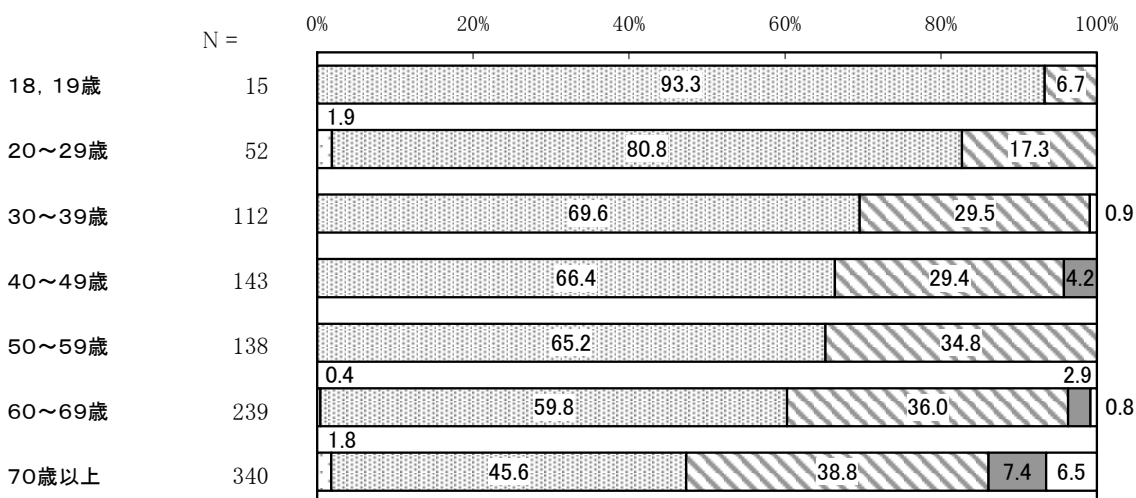
【性別】

性別でみると、大きな差異はみられません。



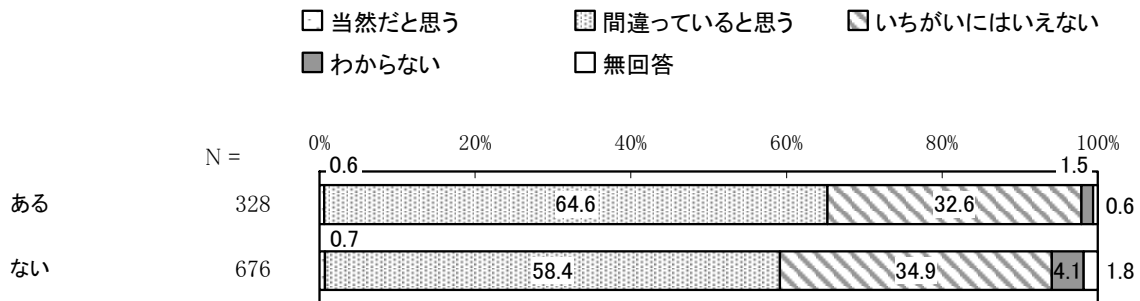
【年代別】

年代別でみると、年代が高くなるにつれ「間違っていると思う」の割合が低くなる傾向にあり
 ます。



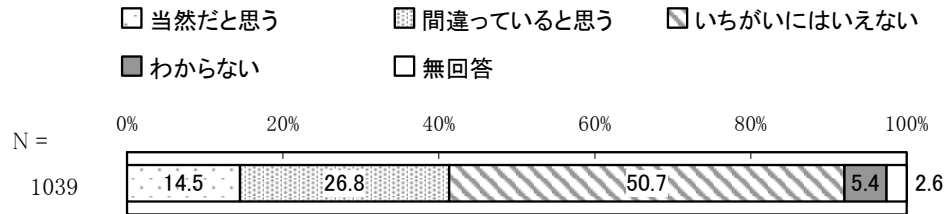
【人権に関する学習会への参加の有無別】

人権に関する学習会への参加の有無別でみると、参加経験のある人で「間違っていると思う」の割合が高く、6割半ばとなっています。



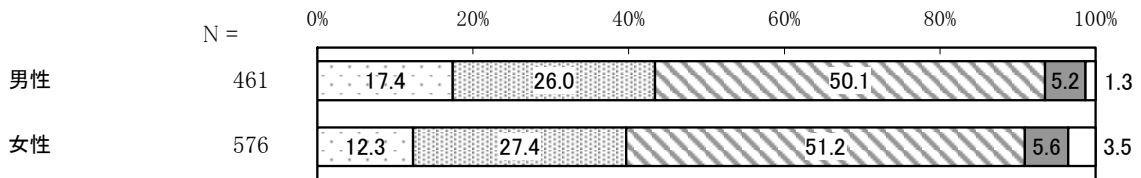
(イ) 高校生の子どもにスマートフォンを持たせている親が、子どものことを心配して、無断でメールを見ました。このことについて、あなたはどのように思いますか。

「いちがいにはいけない」の割合が 50.7%と最も高く、次いで「間違っていると思う」の割合が 26.8%、「当然だと思う」の割合が 14.5%となっています。



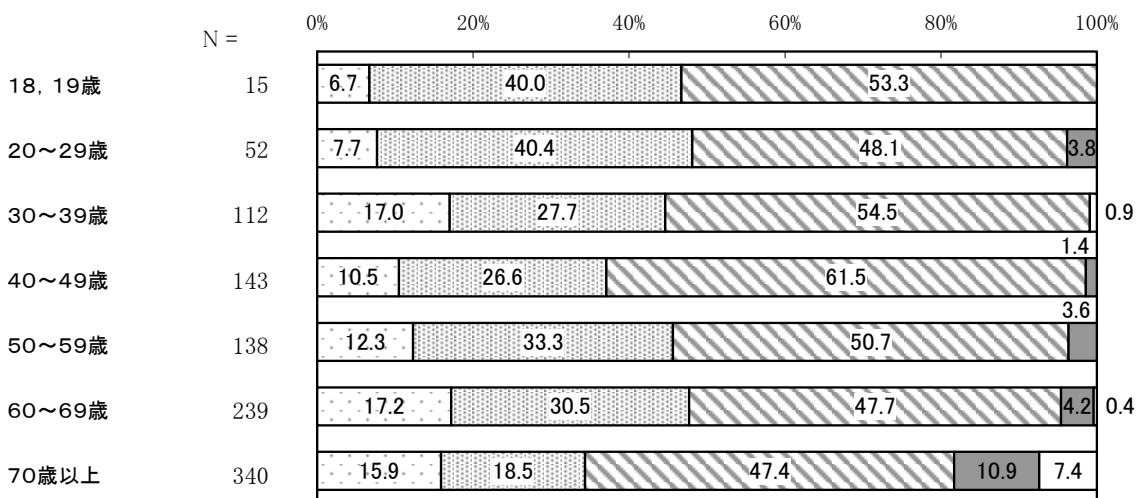
【性別】

性別でみると、女性に比べ男性で「当然だと思う」の割合が高く、2割近くとなっています。



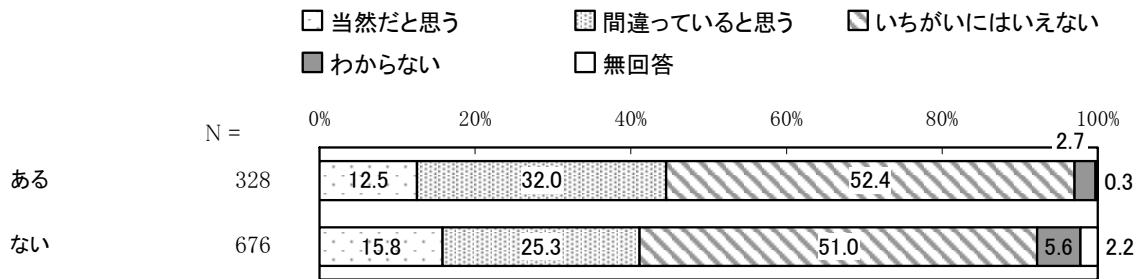
【年代別】

年代別でみると、18, 19歳、20～29歳で「間違っていると思う」の割合が高く、約4割となっています。一方、40～49歳で「いちがいにはいけない」の割合が高く、6割を超えています。



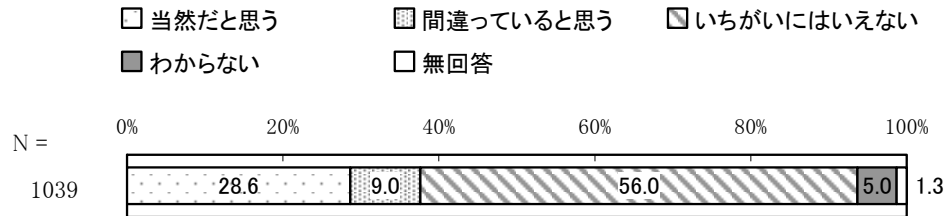
【人権に関する学習会への参加の有無別】

人権に関する学習会への参加の有無別でみると、参加経験のある人で「間違っていると思う」の割合が高く、3割を超えています。



(ウ) 認知症が進んで町中を徘徊することがあるBさんを介護している家族は、介護する人がいないときに、Bさんが家から出られないように鍵をかけています。このことについて、あなたはどのように思いますか。

「いちがいにはいけない」の割合が56.0%と最も高く、次いで「当然だと思う」の割合が28.6%となっています。



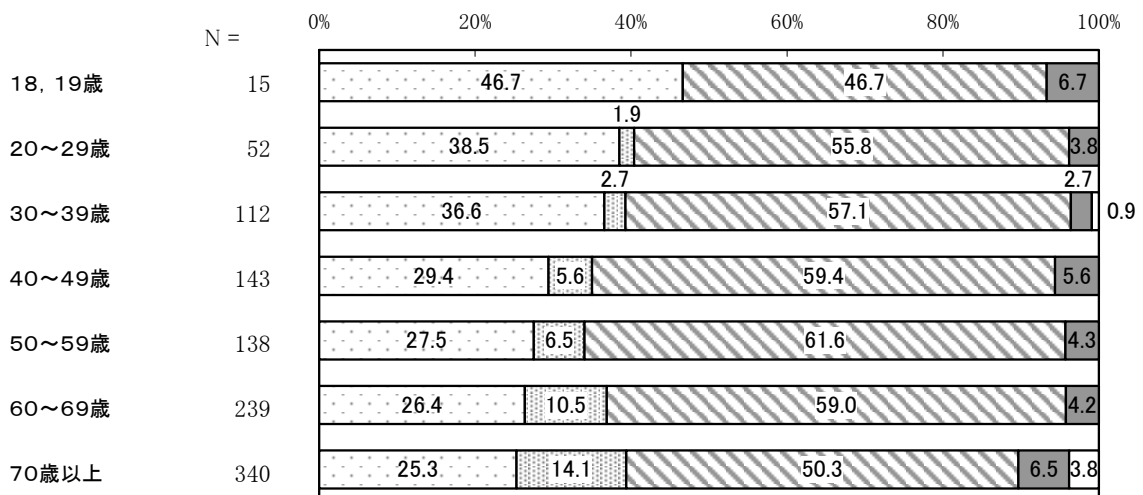
【性別】

性別でみると、男性に比べ女性で「いちがいにはいけない」の割合が高く、約6割となっています。



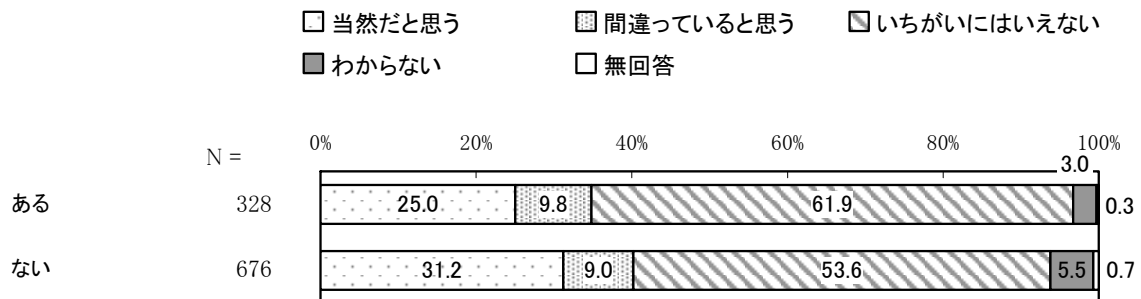
【年代別】

年代別でみると、年代が高くなるにつれ「間違っていると思う」の割合が高くなる傾向にあります。



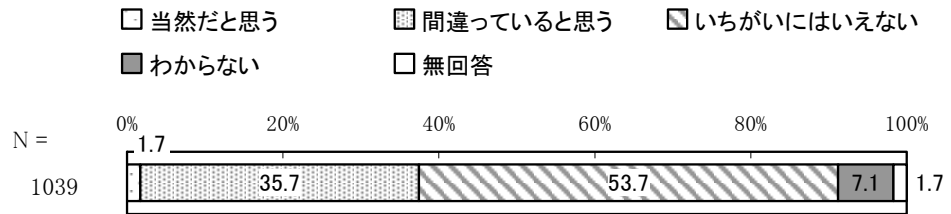
【人権に関する学習会への参加の有無別】

人権に関する学習会への参加の有無別でみると、参加経験のある人で「いちがいにはいけない」の割合が高く、約6割となっています。また、参加経験のない人で「当然だと思う」の割合が高く、約3割となっています。



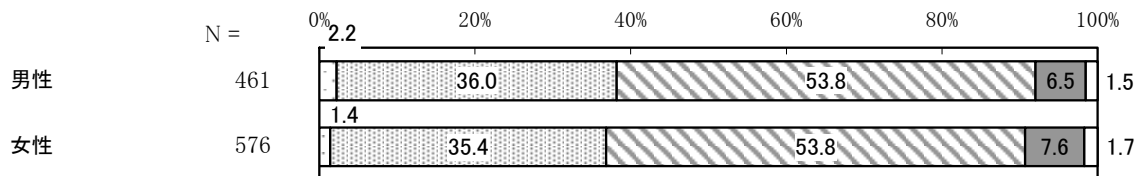
(エ) 借家を探していた外国人が適当なアパートを見つけたので申し込んだところ、外国人であることを理由に、家主は貸すことを断りました。このような家主の態度について、あなたはどのように思いますか。

「いちがいいにはいけない」の割合が53.7%と最も高く、次いで「間違っていると思う」の割合が35.7%となっています。



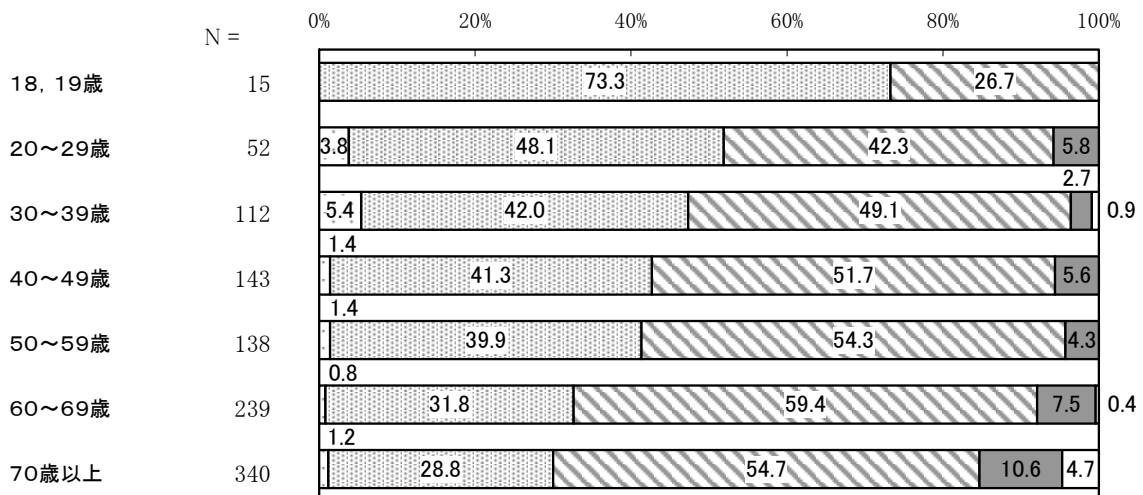
【性別】

性別でみると、大きな差異はみられません。



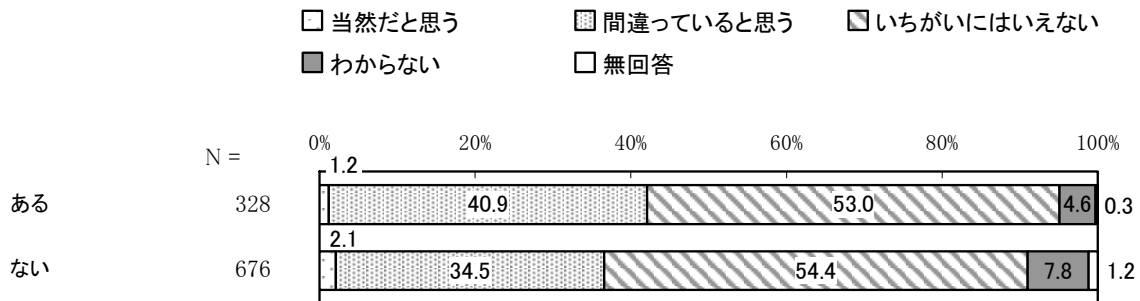
【年代別】

年代別でみると、年齢が高くなるに連れ「間違っていると思う」の割合が低くなる傾向にあります。



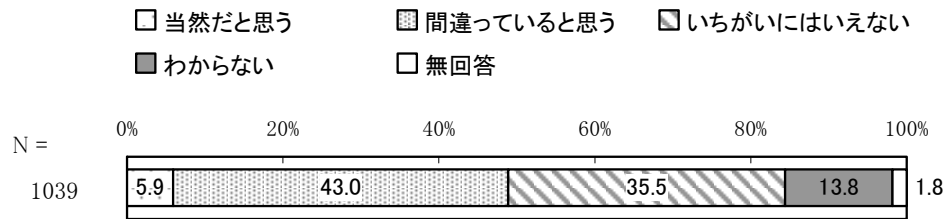
【人権に関する学習会への参加の有無別】

人権に関する学習会への参加の有無別でみると、参加経験のある人で「間違っていると思う」の割合が高く、約4割となっています。



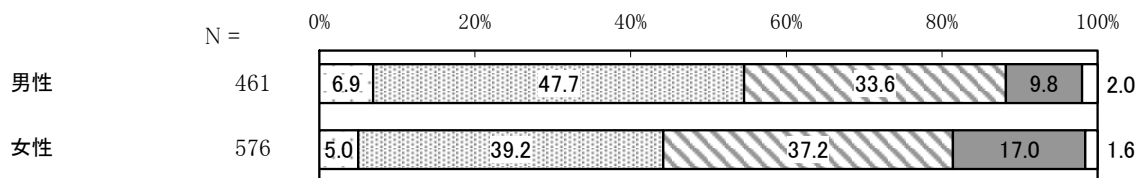
(オ) Cさんは、手頃な家を見つけたので買おうとしましたが、その場所が同和地区かどうか、市役所に問い合わせました。Cさんの行動について、あなたはどのように思いますか。

「間違っていると思う」の割合が43.0%と最も高く、次いで「いちがいいにはいけない」の割合が35.5%、「わからない」の割合が13.8%となっています。



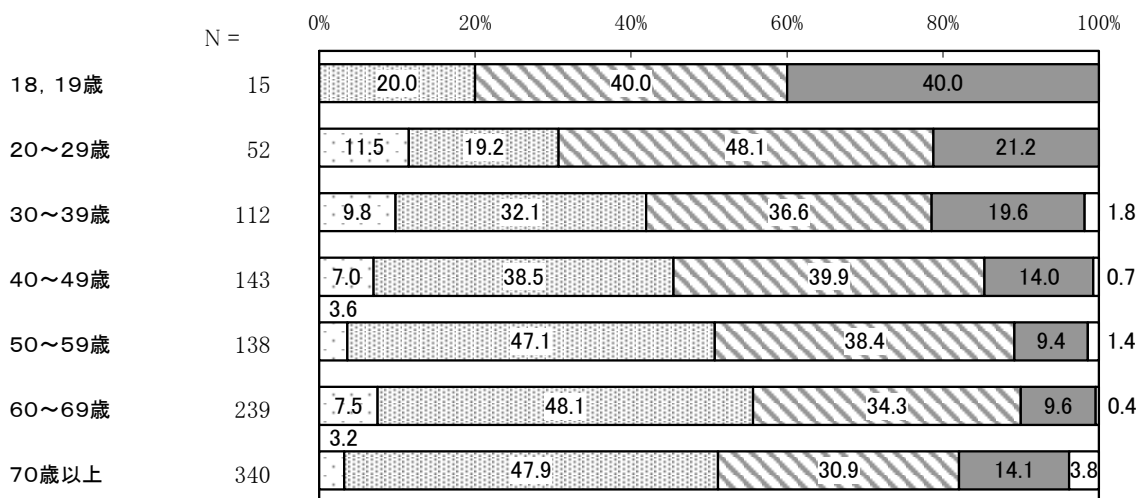
【性別】

性別でみると、女性に比べ男性で「間違っていると思う」の割合が高く、5割近くとなっています。



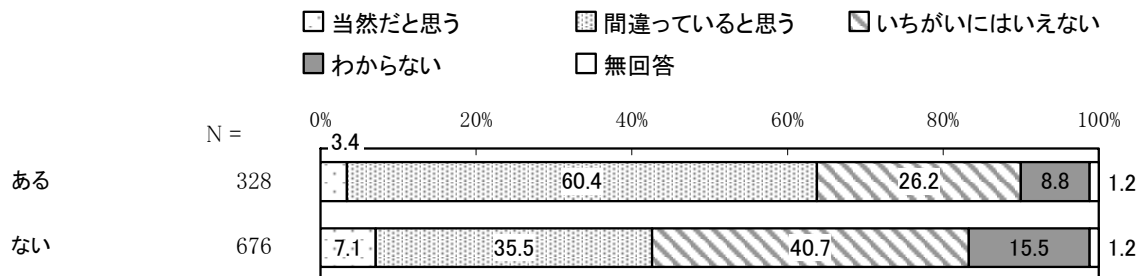
【年代別】

年代別でみると、年代が高くなるにつれ「間違っていると思う」の割合が高くなる傾向にあります。



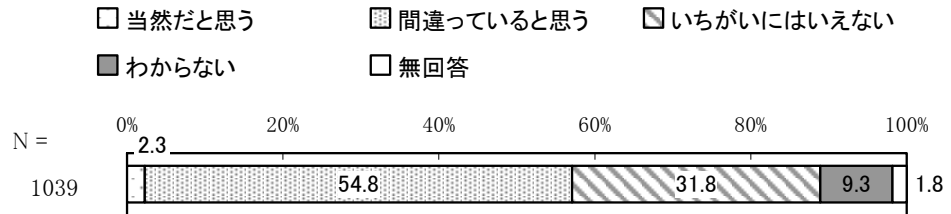
【人権に関する学習会への参加の有無別】

人権に関する学習会への参加の有無別でみると、参加経験のある人で「間違っていると思う」の割合が高く、約6割となっています。また、参加経験のない人で「いちがいいにはいけない」の割合が高く、約4割となっています。



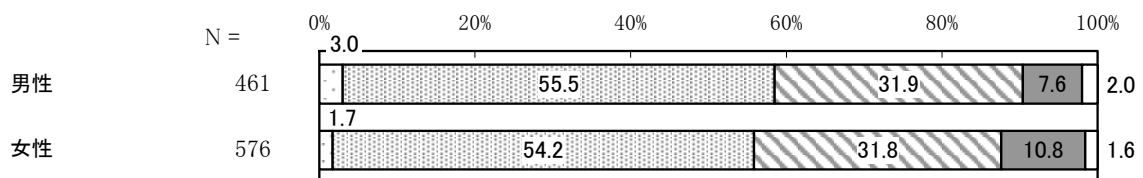
(カ) 障がいのある人のための施設が住宅街に建設されることになり、地元の住民が建設に反対しました。

「間違っていると思う」の割合が54.8%と最も高く、次いで「いちがいにはいけない」の割合が31.8%となっています。



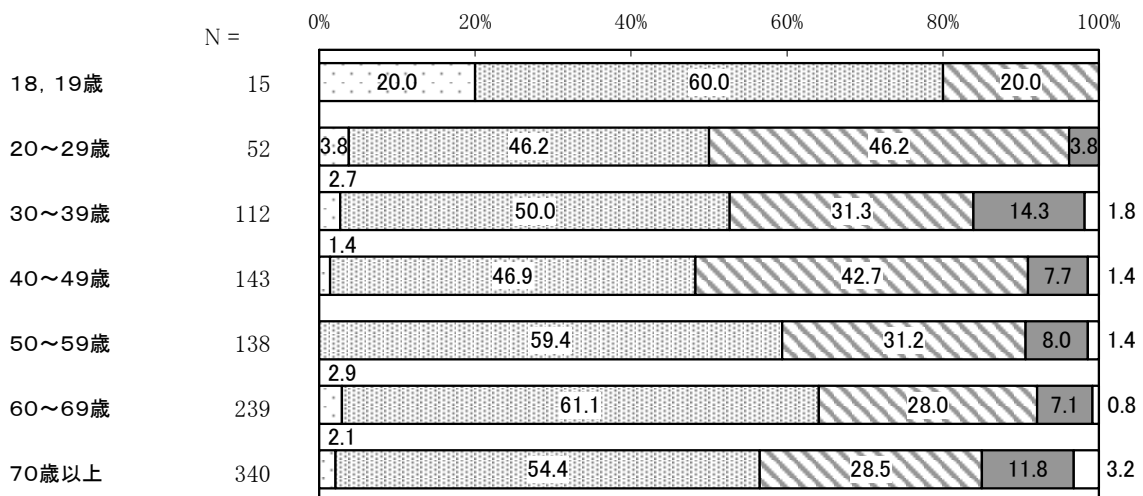
【性別】

性別で見ると、大きな差異はみられません。



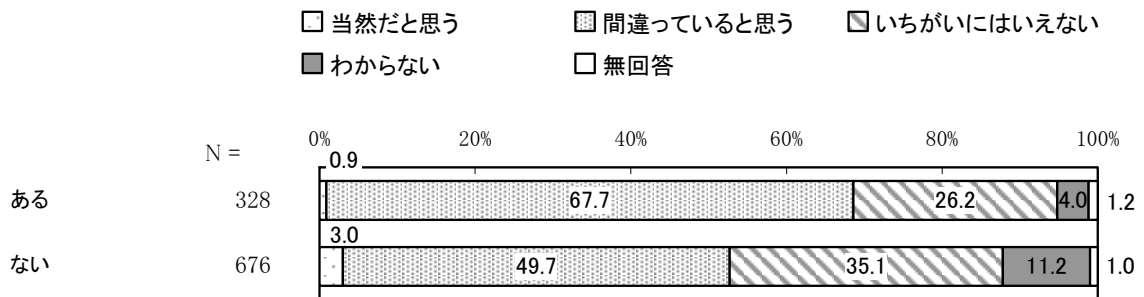
【年代別】

年代別で見ると、18, 19歳で「当然だと思う」の割合が高く、2割となっています。一方、20～29歳、40～49歳で「いちがいにはいけない」の割合が高くなっています。



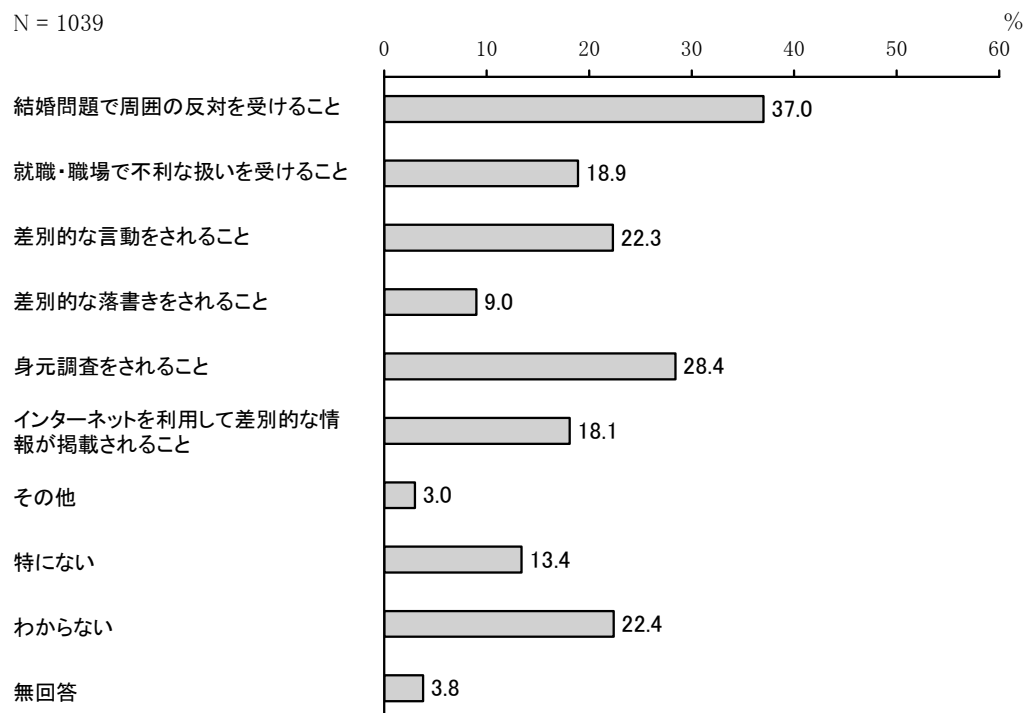
【人権に関する学習会への参加の有無別】

人権に関する学習会への参加の有無別でみると、参加経験のある人で「間違っていると思う」の割合が高く、6割半ばとなっています。また、参加経験のない人で「いちがいいにはいけない」の割合が高く、3割半ばとなっています。



【問12】同和問題について、現在、どのような課題があると思いますか。
(あてはまるものに○)

「結婚問題で周囲の反対を受けること」の割合が37.0%と最も高く、次いで「身元調査をされること」の割合が28.4%、「わからない」の割合が22.4%となっています。



【性別】

性別でみると、大きな差異はみられません。

単位：%

区分	有効回答数(件)	結婚問題で周囲の反対を受けること	就職・職場で不利な扱いを受けること	差別的な言動をされること	差別的な落書きをされること	身元調査をされること	インターネットを利用して差別的な情報が掲載されること	その他	特になし	わからない	無回答
男性	461	36.9	20.0	23.2	11.1	27.8	20.0	4.1	16.1	19.5	3.0
女性	576	37.0	18.1	21.7	7.5	29.0	16.7	2.1	11.3	24.8	4.2

【年代別】

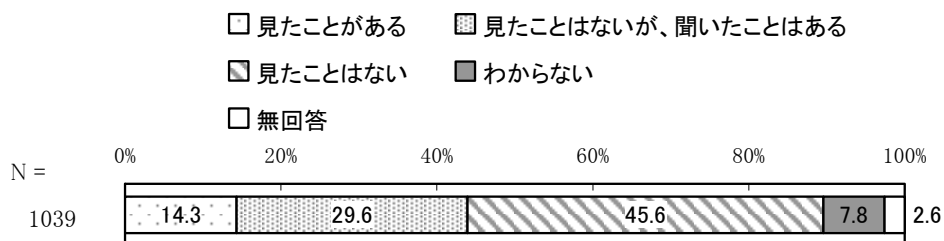
年代別でみると、50～59歳で「身元調査をされること」の割合が高く、約4割となっています。

単位：%

区分	有効回答数(件)	結婚問題で周囲の反対を受けること	就職・職場で不利な扱いを受けること	差別的な言動をされること	差別的な落書きをされること	身元調査をされること	インターネットを利用して差別的な情報が掲載されること	その他	特になし	わからない	無回答
18, 19歳	15	40.0	26.7	26.7	6.7	26.7	26.7	—	—	33.3	—
20～29歳	52	34.6	34.6	34.6	13.5	28.8	13.5	3.8	5.8	28.8	—
30～39歳	112	33.9	27.7	33.9	10.7	24.1	17.9	7.1	2.7	22.3	2.7
40～49歳	143	39.2	20.3	27.3	11.2	23.8	22.4	2.8	9.8	28.0	2.8
50～59歳	138	42.0	22.5	29.0	13.8	40.6	30.4	2.9	6.5	18.8	1.4
60～69歳	239	35.6	16.3	19.7	6.7	29.3	18.4	1.3	18.4	23.0	2.5
70歳以上	340	36.2	12.9	13.5	6.8	26.2	11.5	2.9	19.4	19.7	7.1

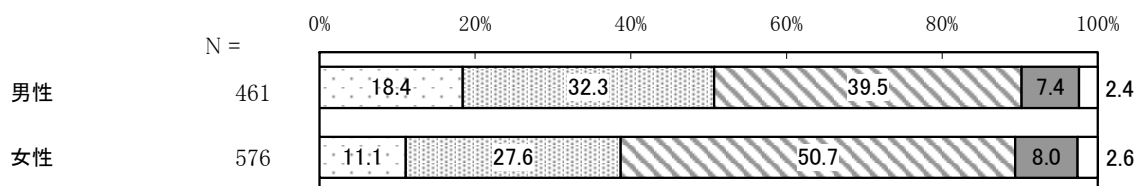
【問13】最近インターネットによる差別的な書き込みが問題となっています。あなたは、そのようなものを見たことがありますか。(〇は1つ)

「見たことはない」の割合が45.6%と最も高く、次いで「見たことはないが、聞いたことはある」の割合が29.6%、「見たことがある」の割合が14.3%となっています。



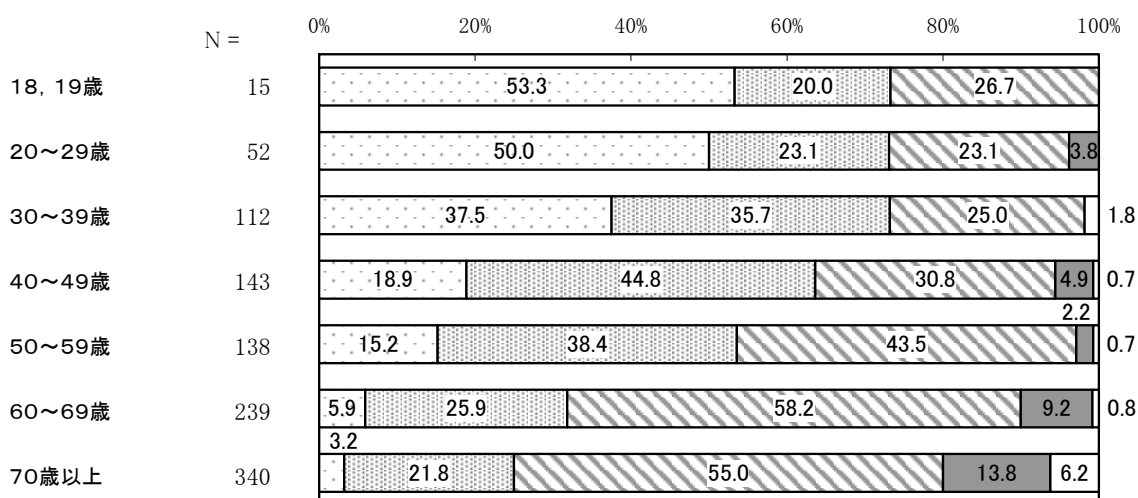
【性別】

性別でみると、女性に比べ男性で「見たことがある」の割合が高く、2割近くとなっています。一方、男性に比べ女性で「見たことはない」の割合が高く、約5割となっています。



【年代別】

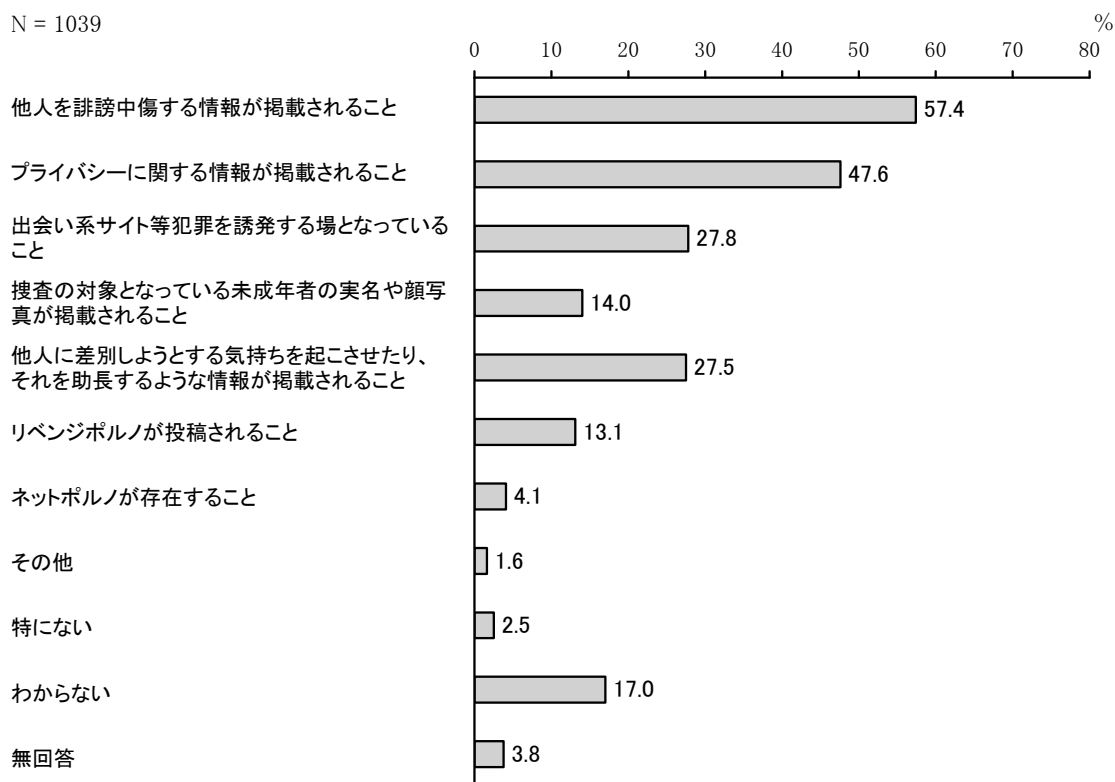
年代別でみると、18, 19歳、20～29歳で「見たことがある」の割合が高くなっています。また、40～49歳で「見たことはないが、聞いたことはある」の割合が高く、4割半ばとなっています。



【問14】インターネットによる人権侵害について、どのような問題が起きていると思いますか。(〇は3つまで)

「他人を誹謗中傷する情報が掲載されること」の割合が57.4%と最も高く、次いで「プライバシーに関する情報が掲載されること」の割合が47.6%、「出会い系サイト等犯罪を誘発する場となっていること」の割合が27.8%となっています。

N = 1039



【性別】

性別でみると、女性に比べ男性で「他人を誹謗中傷する情報が掲載されること」「プライバシーに関する情報が掲載されること」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	有効回答数（件）	他人を誹謗中傷する情報が掲載されること	プライバシーに関する情報が掲載されること	出会い系サイト等犯罪を誘発する場となっていること	捜査の対象となっている未成年者の実名や顔写真が掲載されること	他人に差別しようとする気持ちを起こさせたり、それを助長するような情報が掲載されること	リベンジポルノが投稿されること	ネットポルノが存在すること	その他	特になし	わからない	無回答
男性	461	60.5	50.8	28.9	14.3	29.9	13.7	5.0	2.2	2.6	13.4	3.3
女性	576	55.0	45.3	27.1	13.7	25.7	12.7	3.5	1.2	2.4	19.8	4.0

【年代別】

年代別でみると、18、19歳で「プライバシーに関する情報が掲載されること」の割合が高く、9割を超えています。20～29歳、40～49歳、60～69歳で「出会い系サイト等犯罪を誘発する場となっていること」の割合が高くなっています。また、30～39歳、50～59歳で「他人に差別しようとする気持ちを起こさせたり、それを助長するような情報が掲載されること」の割合が高くなっています。

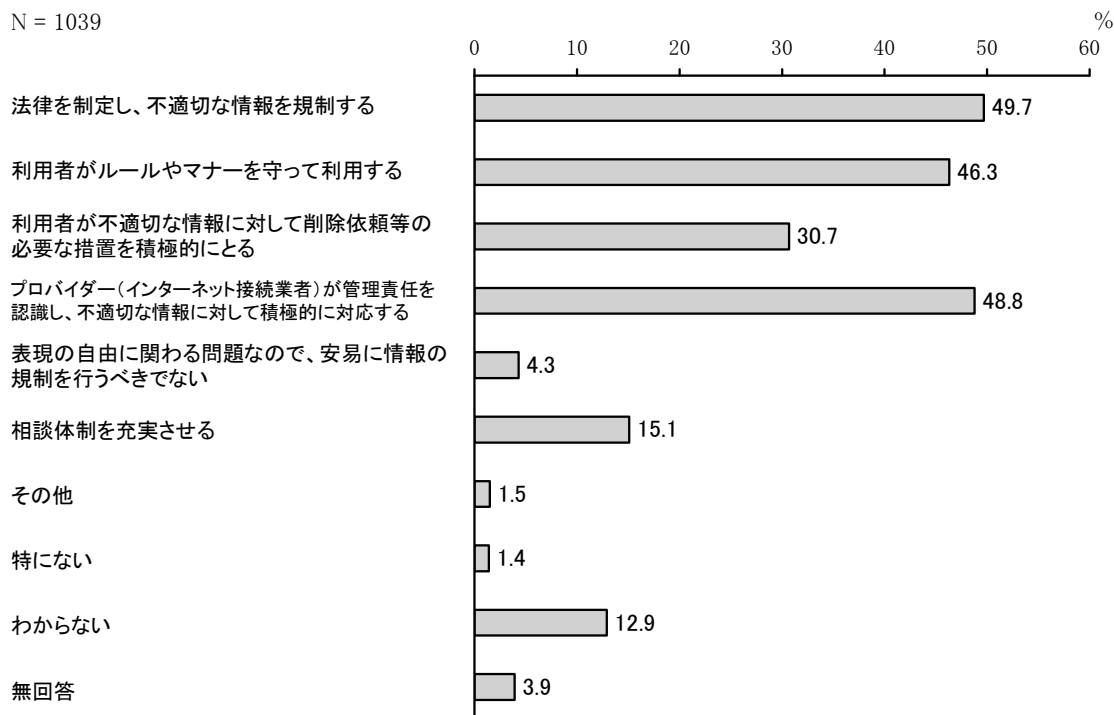
単位：％

区分	有効回答数（件）	他人を誹謗中傷する情報が掲載されること	プライバシーに関する情報が掲載されること	出会い系サイト等犯罪を誘発する場となっていること	捜査の対象となっている未成年者の実名や顔写真が掲載されること	他人に差別しようとする気持ちを起こさせたり、それを助長するような情報が掲載されること	リベンジポルノが投稿されること	ネットポルノが存在すること	その他	特になし	わからない	無回答
18, 19歳	15	80.0	93.3	26.7	13.3	46.7	—	—	—	—	—	—
20～29歳	52	73.1	65.4	32.7	19.2	25.0	21.2	1.9	1.9	—	—	1.9
30～39歳	112	82.1	67.0	21.4	18.8	37.5	20.5	3.6	3.6	—	1.8	0.9
40～49歳	143	75.5	68.5	32.2	11.2	30.1	15.4	2.8	0.7	0.7	6.3	0.7
50～59歳	138	69.6	60.9	26.1	21.0	38.4	18.8	2.9	1.4	0.7	7.2	1.4
60～69歳	239	55.2	39.7	32.6	12.1	26.4	11.3	7.1	1.7	2.5	20.5	0.8
70歳以上	340	34.7	27.9	24.7	11.2	19.1	7.9	3.8	1.5	5.3	31.5	9.4

【問15】インターネット掲示板等に不当な情報が掲載されていることへの対応として、どのようなことが重要だと思いますか。(〇は3つまで)

「法律を制定し、不適切な情報を規制する」の割合が49.7%と最も高く、次いで「プロバイダー（インターネット接続業者）が管理責任を認識し、不適切な情報に対して積極的に対応する」の割合が48.8%、「利用者がルールやマナーを守って利用する」の割合が46.3%となっています。

N = 1039



【性別】

性別でみると、女性に比べ男性で「プロバイダー（インターネット接続業者）が管理責任を認識し、不適切な情報に対して積極的に対応する」「表現の自由に関わる問題なので、安易に情報の規制を行うべきでない」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	有効回答数（件）	法律を制定し、不適切な情報を規制する	利用者がルールやマナーを守って利用する	利用者が不適切な情報に対して削除依頼等の必要な措置を積極的にとる	プロバイダー（インターネット接続業者）が管理責任を認識し、不適切な情報に対して積極的に対応する	表現の自由に関わる問題なので、安易に情報の規制を行うべきでない	相談体制を充実させる	その他	特になし	わからない	無回答
男性	461	50.5	44.9	32.1	53.1	7.6	16.5	2.6	2.0	9.1	3.0
女性	576	49.1	47.6	29.7	45.5	1.7	14.1	0.7	1.0	16.0	4.3

【年代別】

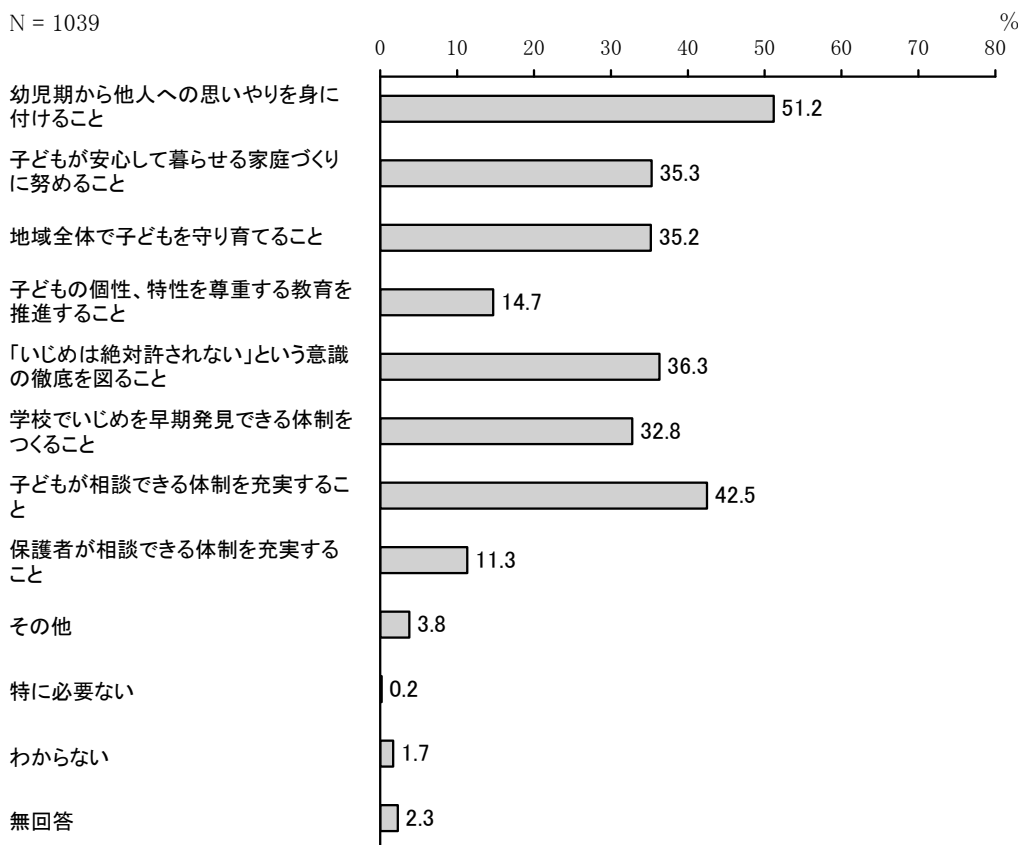
年代別でみると、20～29歳で「利用者がルールやマナーを守って利用する」の割合が高く、6割半ばとなっています。また、40～49歳で「法律を制定し、不適切な情報を規制する」「利用者が不適切な情報に対して削除依頼等の必要な措置を積極的にとる」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	有効回答数(件)	法律を制定し、不適切な情報を規制する	利用者がルールやマナーを守って利用する	利用者が不適切な情報に対して削除依頼等の必要な措置を積極的にとる	プロバイダー(インターネット接続業者)が管理責任を認識し、不適切な情報に対して積極的に対応する	表現の自由に関わる問題なので、安易に情報の規制を行うべきでない	相談体制を充実させる	その他	特にない	わからない	無回答
18, 19歳	15	33.3	53.3	46.7	60.0	6.7	26.7	—	—	—	—
20～29歳	52	42.3	65.4	26.9	57.7	5.8	19.2	3.8	—	1.9	3.8
30～39歳	112	54.5	58.9	37.5	60.7	8.9	12.5	5.4	—	—	0.9
40～49歳	143	62.2	55.9	41.3	64.3	4.9	16.8	0.7	—	3.5	0.7
50～59歳	138	55.8	50.0	36.2	61.6	5.1	17.4	1.4	0.7	5.1	1.4
60～69歳	239	51.5	43.9	28.5	50.6	3.8	17.6	0.8	1.7	15.1	1.3
70歳以上	340	40.9	35.0	23.2	30.0	2.4	11.5	0.9	2.9	25.0	9.4

【問16】子どものいじめをなくすためには、何が必要だと思いますか。(〇は3つまで)

「幼児期から他人への思いやりを身に付けること」の割合が51.2%と最も高く、次いで「子どもが相談できる体制を充実すること」の割合が42.5%、「いじめは絶対許されない」という意識の徹底を図ること」の割合が36.3%となっています。



【性別】

性別でみると、男性に比べ女性で「幼児期から他人への思いやりを身に付けること」「子どもが安心して暮らせる家庭づくりに努めること」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	有効回答数(件)	幼児期から他人への思いやりを身に付けること	子どもが安心して暮らせる家庭づくりに努めること	地域全体で子どもを守り育てること	子どもの個性、特性を尊重する教育を推進すること	「いじめは絶対許されない」という意識の徹底を図ること	学校でいじめを早期発見できる体制をつくること	子どもが相談できる体制を充実すること	保護者が相談できる体制を充実すること	その他	特に必要ない	わからない	無回答
男性	461	48.4	29.9	33.6	16.1	36.0	35.1	41.2	11.9	5.0	0.4	2.2	2.2
女性	576	53.5	39.8	36.5	13.7	36.5	31.1	43.8	10.8	2.8	—	1.4	2.3

【年代別】

年代別で見ると、20～29歳で「学校でいじめを早期発見できる体制をつくること」の割合が高くなっています。また、40～49歳で「子どもの個性、特性を尊重する教育を推進すること」「子どもが相談できる体制を充実すること」の割合が高くなっています。

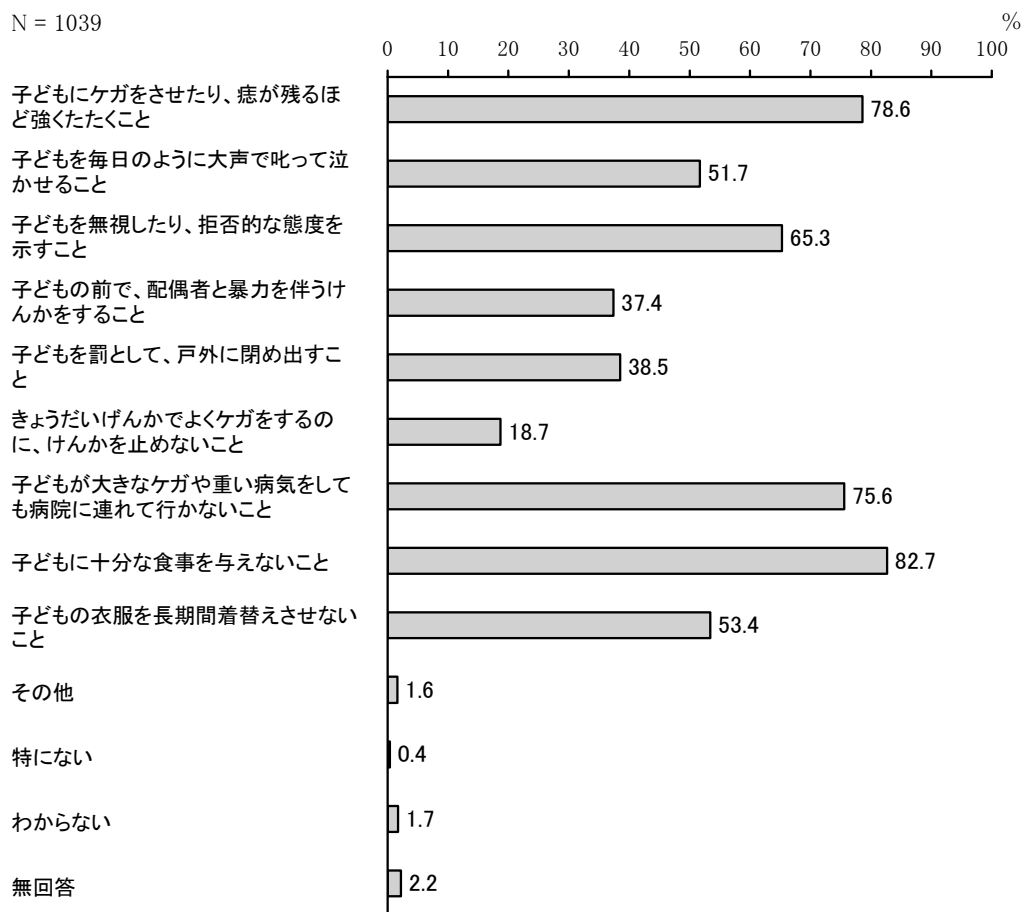
単位：%

区分	有効回答数(件)	幼児期から他人への思いやりを身に付けること	子どもが安心して暮らせる家庭づくりに努めること	地域全体で子どもを守り育てること	子どもの個性、特性を尊重する教育を推進すること	「いじめは絶対許されない」という意識の徹底を図ること	学校でいじめを早期発見できる体制をつくること	子どもが相談できる体制を充実すること	保護者が相談できる体制を充実すること	その他	特に必要ない	わからない	無回答
18, 19歳	15	33.3	26.7	13.3	26.7	40.0	6.7	46.7	6.7	13.3	—	—	6.7
20～29歳	52	48.1	36.5	28.8	13.5	32.7	46.2	50.0	1.9	5.8	—	3.8	—
30～39歳	112	49.1	33.9	35.7	17.0	35.7	33.9	48.2	8.0	6.3	0.9	0.9	0.9
40～49歳	143	46.9	28.7	32.9	23.1	39.2	32.2	56.6	11.9	6.3	—	—	—
50～59歳	138	52.9	30.4	36.2	17.4	37.7	21.0	50.7	8.0	2.9	—	2.9	1.4
60～69歳	239	55.2	39.7	33.5	13.4	34.7	35.1	40.6	12.1	4.2	—	1.7	2.1
70歳以上	340	51.5	37.6	38.8	10.0	36.2	35.0	31.5	14.4	1.2	0.3	2.1	4.4

【問 17】次の中で、児童虐待だと思ふことはどれですか。(あてはまるものに○)

「子どもに十分な食事を与えないこと」の割合が 82.7%と最も高く、次いで「子どもにケガをさせたり、痣が残るほど強くたたくこと」の割合が 78.6%、「子どもが大きなケガや重い病気をしても病院に連れて行かないこと」の割合が 75.6%となっています。

N = 1039



【性別】

性別でみると、男性に比べ女性で「子どもの衣服を長期間着替えさせないこと」の割合が高く、6割近くとなっています。

単位：%

区分	有効回答数(件)	子どもにケガをさせたり、痣が残るほど強くたたくこと	子どもを毎日のように大声で叱って泣かせること	子どもを無視したり、拒否的な態度を示すこと	子どもの前で、配偶者と暴力を伴うけんかをする事	子どもを罰として、戸外に閉め出すこと	きょうだいげんかによくケガをするのに、けんかを止めないこと
男性	461	79.4	54.2	63.3	35.8	38.0	18.0
女性	576	78.1	49.8	67.0	38.7	39.1	19.3

区分	子どもが大きなケガや重い病気をしても病院に連れて行かないこと	子どもに十分な食事を与えないこと	子どもの衣服を長期間着替えさせないこと	その他	特になし	わからない	無回答
男性	76.8	82.2	47.9	2.0	0.4	2.0	2.0
女性	74.8	83.2	58.0	1.4	0.3	1.6	2.3

【年代別】

年代別でみると、18, 19歳で「子どもを無視したり、拒否的な態度を示すこと」「子どもの衣服を長期間着替えさせないこと」の割合が高くなっています。40～49歳、50～59歳で「子どもにケガをさせたり、痣が残るほど強くたたくこと」「子どもを毎日のように大声で叱って泣かせること」の割合が高くなっています。また、50～59歳で「きょうだいげんかでよくケガをするのに、けんかを止めないこと」の割合が高く、3割近くとなっています。

単位：%

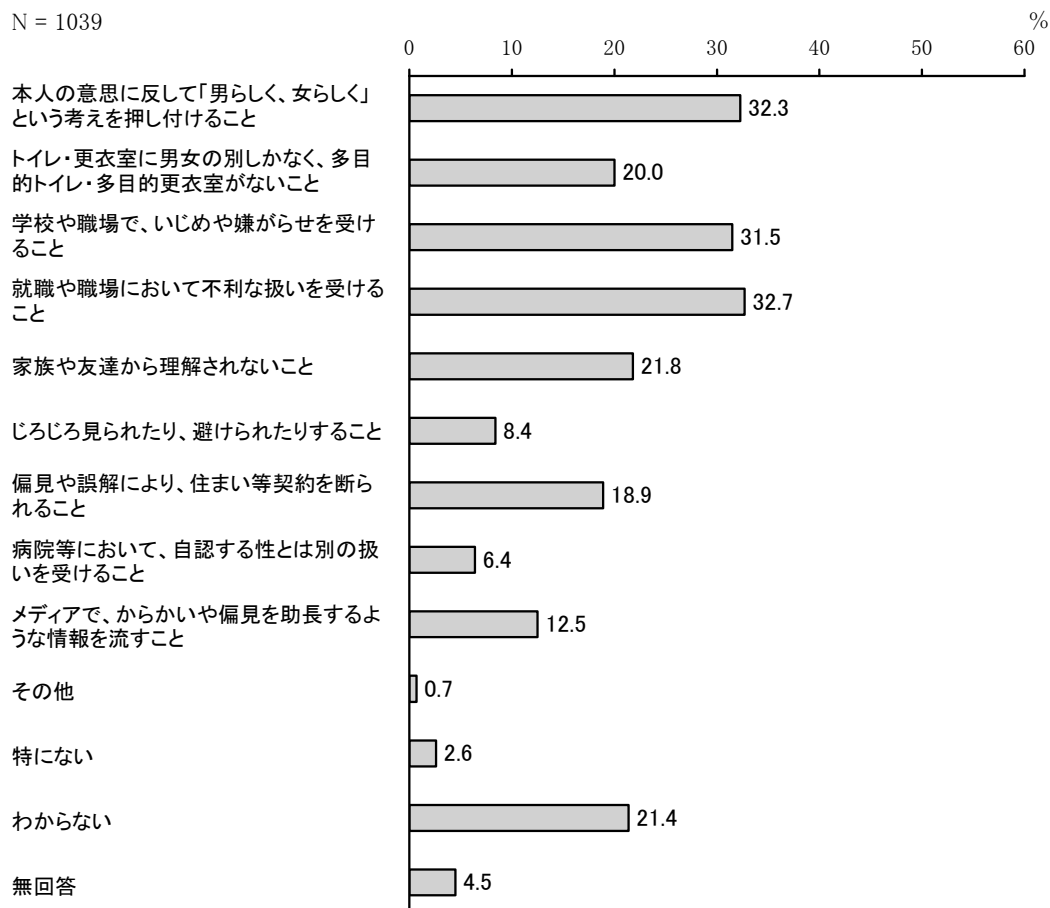
区分	有効回答数 (件)	子どもにケガをさせたり、痣が残るほど強くたたくこと	子どもを毎日のように大声で叱って泣かせること	子どもを無視したり、拒否的な態度を示すこと	子どもの前で、配偶者と暴力を伴うけんかをする事	子どもを罰として、戸外に閉め出すこと	きょうだいげんかでよくケガをするのに、けんかを止めないこと
18, 19歳	15	80.0	53.3	93.3	53.3	53.3	33.3
20～29歳	52	75.0	40.4	71.2	40.4	28.8	11.5
30～39歳	112	79.5	49.1	78.6	47.3	37.5	18.8
40～49歳	143	88.1	67.1	78.3	37.8	37.8	19.6
50～59歳	138	85.5	68.1	76.8	43.5	42.0	28.3
60～69歳	239	76.2	54.0	64.9	31.0	34.7	17.6
70歳以上	340	73.8	39.4	48.8	35.0	41.2	15.6

区分	子どもが大きなケガや重い病気をしても病院に連れて行かないこと	子どもに十分な食事を与えないこと	子どもの衣服を長期間着替えさせないこと	その他	特にな	わからない	無回答
18, 19歳	86.7	100.0	86.7	—	—	—	—
20～29歳	88.5	90.4	73.1	1.9	—	—	—
30～39歳	83.0	94.6	73.2	2.7	—	—	0.9
40～49歳	82.5	90.2	69.2	3.5	0.7	0.7	—
50～59歳	83.3	90.6	65.9	2.9	—	—	1.4
60～69歳	75.7	81.2	47.7	0.4	0.4	2.1	1.3
70歳以上	64.4	71.5	34.7	0.9	0.6	3.5	5.0

【問18】性同一性障がいに関する人権について、どのような課題があると思いますか。
(〇は3つまで)

「就職や職場において不利な扱いを受けること」の割合が32.7%と最も高く、次いで「本人の意思に反して「男らしく、女らしく」という考えを押し付けること」の割合が32.3%、「学校や職場で、いじめや嫌がらせを受けること」の割合が31.5%となっています。

N = 1039



【性別】

性別でみると、女性に比べ男性で「学校や職場で、いじめや嫌がらせを受けること」の割合が高く、3割半ばとなっています。

単位：%

区分	有効回答数(件)	押し付けること	本人の意思に反して「男らしく、女らしく」という考えを押し付けること	トイレ・更衣室に男女の別がなく、多目的トイレ・多目的更衣室がないこと	学校や職場で、いじめや嫌がらせを受けること	就職や職場において不利な扱いを受けること	家族や友達から理解されないこと	じろじろ見られたり、避けられたりする
男性	461	31.9	18.0	34.5	33.0	22.8	6.5	
女性	576	32.8	21.7	29.2	32.6	21.2	9.9	

区分	偏見や誤解により、住まい等契約を断られること	病院等において、自認する性とは別の扱いを受けること	メディアで、からかいや偏見を助長するような情報を流すこと	その他	特になし	わからない	無回答
男性	17.4	4.8	11.3	0.7	3.9	21.3	3.9
女性	20.1	7.8	13.5	0.7	1.6	21.4	4.9

【年代別】

年代別でみると、18、19歳で「トイレ・更衣室に男女の別がなく、多目的トイレ・多目的更衣室がないこと」「学校や職場で、いじめや嫌がらせを受けること」「偏見や誤解により、住まい等契約を断られること」の割合が高くなっています。20～29歳で「じろじろ見られたり、避けられたりすること」の割合が高く、1割半ばとなっています。また、40～49歳で「就職や職場において不利な扱いを受けること」の割合が高く、4割を超えています。

単位：%

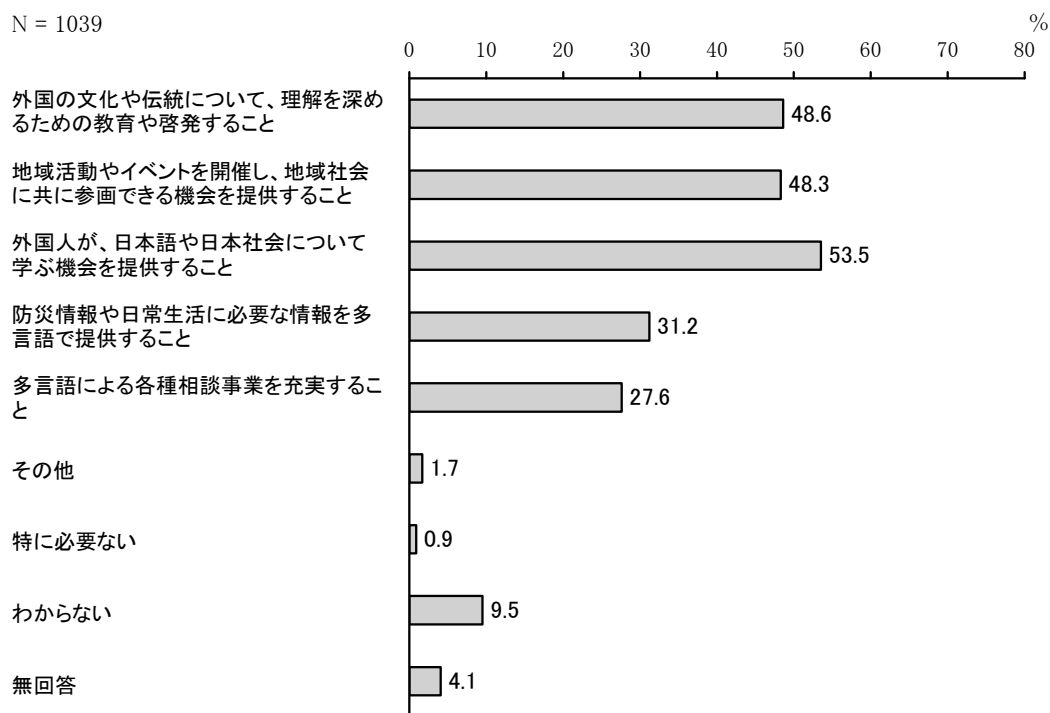
区分	有効回答数(件)	「男らしく、女らしく」という考えを押し付けること	本人の意思に反して「男らしく、女らしく」がないこと	トイレ・更衣室に男女の別がなく、多目的トイレ・多目的更衣室がないこと	学校や職場で、いじめや嫌がらせを受けること	就職や職場において不利な扱いを受けること	家族や友達から理解されないこと	じろじろ見られたり、避けられたりすること
18, 19歳	15	46.7	40.0	46.7	33.3	13.3	6.7	
20～29歳	52	44.2	28.8	38.5	28.8	21.2	15.4	
30～39歳	112	39.3	18.8	38.4	32.1	22.3	9.8	
40～49歳	143	43.4	24.5	39.2	42.7	29.4	7.7	
50～59歳	138	34.8	26.1	34.1	32.6	22.5	9.4	
60～69歳	239	31.0	18.8	29.3	35.6	25.1	8.8	
70歳以上	340	22.9	14.7	24.7	27.4	16.5	6.5	

区分	偏見や誤解により、住まい等契約を断られること	病院等において、自認する性とは別の扱いを受けること	メディアで、からかいや偏見を助長するような情報を流すこと	その他	特になし	わからない	無回答
18, 19歳	53.3	6.7	13.3	—	—	—	—
20～29歳	26.9	9.6	13.5	3.8	3.8	7.7	—
30～39歳	26.8	9.8	17.9	2.7	1.8	9.8	0.9
40～49歳	17.5	4.2	11.9	0.7	0.7	14.7	0.7
50～59歳	17.4	13.8	15.2	—	2.2	17.4	2.2
60～69歳	17.6	5.0	11.3	0.4	2.1	23.8	4.2
70歳以上	15.6	3.8	10.6	—	4.1	30.9	9.4

【問19】外国人と日本人がお互いに理解を深め、多文化共生の地域社会づくりを進めるためにどのようなことが必要だと思いますか。(〇は3つまで)

「外国人が、日本語や日本社会について学ぶ機会を提供すること」の割合が53.5%と最も高く、次いで「外国の文化や伝統について、理解を深めるための教育や啓発すること」の割合が48.6%、「地域活動やイベントを開催し、地域社会に共に参画できる機会を提供すること」の割合が48.3%となっています。

N = 1039



【性別】

性別でみると、女性に比べ男性で「外国人が、日本語や日本社会について学ぶ機会を提供すること」の割合が高く、約6割となっています。一方、男性に比べ女性で「防災情報や日常生活に必要な情報を多言語で提供すること」の割合が高く、3割半ばとなっています。

単位：％

区分	有効回答数(件)	外国の文化や伝統について、理解を深めるための教育や啓発すること	地域活動やイベントを開催し、地域社会に共に参画できる機会を提供すること	外国人が、日本語や日本社会について学ぶ機会を提供すること	防災情報や日常生活に必要な情報を多言語で提供すること	多言語による各種相談事業を充実すること	その他	特に必要ない	わからない	無回答
男性	461	52.1	49.0	59.2	27.1	27.3	1.7	1.3	8.7	2.2
女性	576	46.0	47.7	49.0	34.4	28.0	1.7	0.5	10.2	5.6

【年代別】

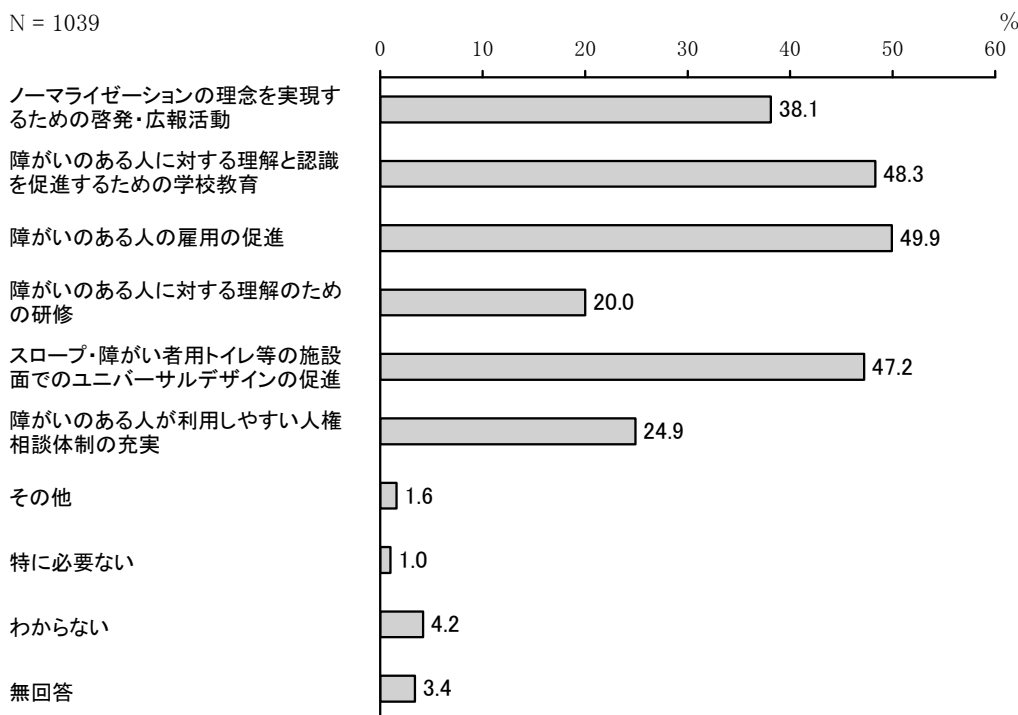
年代別でみると、20～29歳で「多言語による各種相談事業を充実すること」の割合が高く、4割半ばとなっています。60～69歳で「地域活動やイベントを開催し、地域社会に共に参画できる機会を提供すること」の割合が高く、5割半ばとなっています。

単位：％

区分	有効回答数(件)	外国の文化や伝統について、理解を深めるための教育や啓発すること	地域活動やイベントを開催し、地域社会に共に参画できる機会を提供すること	外国人が、日本語や日本社会について学ぶ機会を提供すること	防災情報や日常生活に必要な情報を多言語で提供すること	多言語による各種相談事業を充実すること	その他	特に必要ない	わからない	無回答
18, 19歳	15	60.0	33.3	40.0	26.7	33.3	—	—	—	—
20～29歳	52	46.2	44.2	53.8	32.7	44.2	3.8	—	9.6	—
30～39歳	112	50.0	39.3	55.4	39.3	34.8	2.7	1.8	5.4	—
40～49歳	143	56.6	51.0	51.0	34.3	28.0	2.1	—	5.6	0.7
50～59歳	138	50.0	47.1	59.4	36.2	36.2	3.6	0.7	5.8	1.4
60～69歳	239	51.9	55.2	57.3	33.9	21.8	0.8	0.4	10.0	2.1
70歳以上	340	41.8	47.1	49.4	23.2	22.9	0.9	1.5	14.1	10.3

【問20】障がいのある人が暮らしやすい社会にするためには、どのようなことが必要だと思いますか。(〇は3つまで)

「障がいのある人の雇用の促進」の割合が49.9%と最も高く、次いで「障がいのある人に対する理解と認識を促進するための学校教育」の割合が48.3%、「スロープ・障がい者用トイレ等の施設面でのユニバーサルデザインの促進」の割合が47.2%となっています。



【性別】

性別でみると、女性に比べ男性で「ノーマライゼーションの理念を実現するための啓発・広報活動」の割合が高く、4割を超えています。

単位：%

区分	有効回答数(件)	ノーマライゼーションの理念を実現するための啓発・広報活動	障がいのある人に対する理解と認識を促進するための学校教育	障がいのある人の雇用の促進	障がいのある人に対する理解のための研修	スロープ・障がい者用トイレ等の施設面でのユニバーサルデザインの促進	障がいのある人が利用しやすい人権相談体制の充実	その他	特に必要ない	わからない	無回答
男性	461	41.9	47.9	47.7	21.9	47.3	25.8	1.3	0.9	3.9	3.0
女性	576	35.2	48.8	51.7	18.6	47.2	24.3	1.9	1.0	4.5	3.3

【年代別】

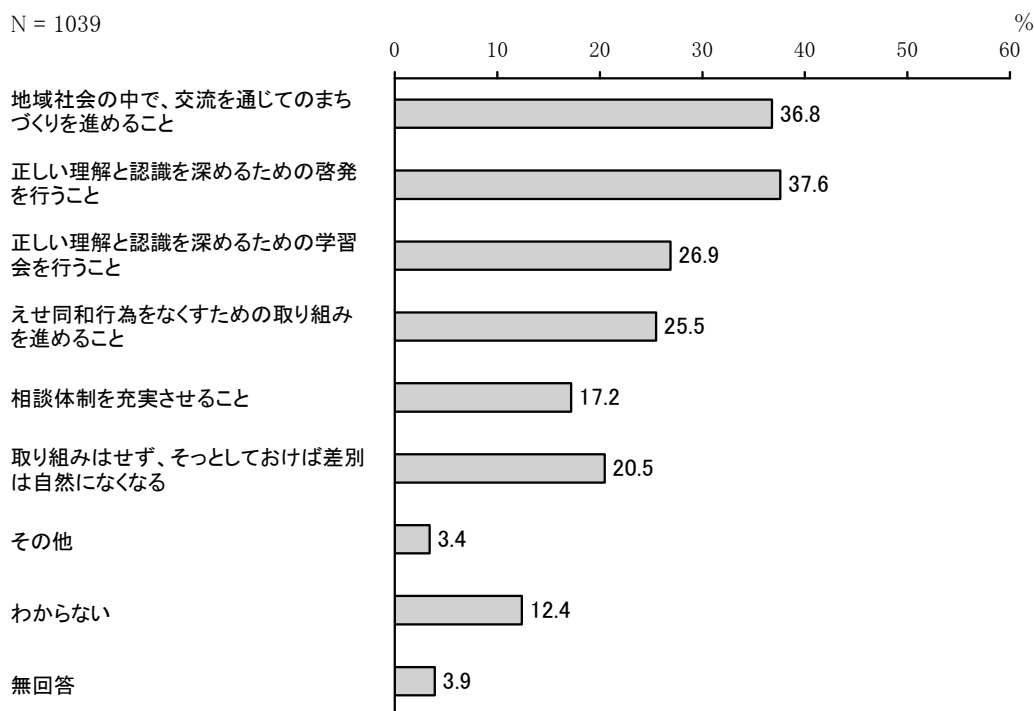
年代別でみると、18、19歳、30～39歳で「障がいのある人に対する理解と認識を促進するための学校教育」の割合が高くなっています。また、50～59歳、60～69歳で「ノーマライゼーションの理念を実現するための啓発・広報活動」の割合が高く、5割近くとなっています。

単位：％

区分	有効回答数 (件)	ノーマライゼーションの理念を実現するための啓発・広報活動	障がいのある人に対する理解と認識を促進するための学校教育	障がいのある人の雇用の促進	障がいのある人に対する理解のための研修	インの促進	スロープ・障がい者用トイレ等の施設面でのユニバーサルデザインの促進	障がいのある人が利用しやすい人権相談体制の充実	その他	特に必要ない	わからない	無回答
18、19歳	15	40.0	60.0	33.3	33.3	46.7	26.7	6.7	—	—	—	—
20～29歳	52	38.5	42.3	53.8	17.3	59.6	19.2	1.9	1.9	1.9	—	—
30～39歳	112	25.9	63.4	47.3	16.1	61.6	15.2	1.8	1.8	2.7	0.9	—
40～49歳	143	37.8	54.5	53.8	19.6	53.8	18.2	1.4	—	2.1	—	—
50～59歳	138	47.1	47.1	56.5	19.6	52.9	21.7	2.2	—	2.2	1.4	—
60～69歳	239	47.7	43.5	50.2	20.5	52.7	25.1	1.7	0.4	2.5	4.6	—
70歳以上	340	31.8	45.0	46.2	21.2	31.5	32.9	1.2	1.8	8.2	6.2	—

【問 2 1】同和問題の解決のためには、どのような取り組みが必要だと思いますか。
(〇は3つまで)

「正しい理解と認識を深めるための啓発を行うこと」の割合が 37.6%と最も高く、次いで「地域社会の中で、交流を通じてのまちづくりを進めること」の割合が 36.8%、「正しい理解と認識を深めるための学習会を行うこと」の割合が 26.9%となっています。



【性別】

性別でみると、女性に比べ男性で「えせ同和行為をなくすための取り組みを進めること」の割合が高く、約3割となっています。

単位：%

区分	有効回答数(件)	地域社会の中で、交流を通じてのまちづくりを進めること	正しい理解と認識を深めるための啓発を行うこと	正しい理解と認識を深めるための学習会を行うこと	えせ同和行為をなくすための取り組みを進めること	相談体制を充実させること	取り組みはせず、そっとしておけば差別は自然になくなる	その他	わからない	無回答
男性	461	39.3	40.1	29.7	30.6	16.9	17.8	3.9	10.2	3.5
女性	576	34.9	35.8	24.8	21.5	17.5	22.7	3.0	14.1	4.2

【年代別】

年代別でみると、70歳以上で「取り組みはせず、そっとしておけば差別は自然になくなる」の割合が高く、3割近くとなっています。

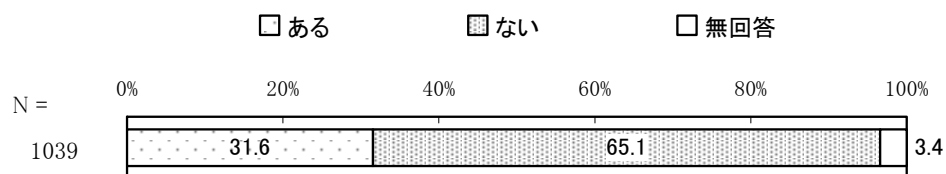
単位：%

区分	有効回答数(件)	地域社会の中で、交流を通じてのまちづくりを進めること	正しい理解と認識を深めるための啓発を行うこと	正しい理解と認識を深めるための学習会を行うこと	えせ同和行為をなくすための取り組みを進めること	相談体制を充実させること	取り組みはせず、そっとしておけば差別は自然になくなる	その他	わからない	無回答
18, 19歳	15	33.3	46.7	13.3	20.0	13.3	—	—	26.7	—
20～29歳	52	34.6	46.2	34.6	32.7	17.3	11.5	3.8	19.2	—
30～39歳	112	29.5	43.8	25.9	33.0	18.8	21.4	5.4	11.6	0.9
40～49歳	143	32.9	37.8	31.5	32.9	18.2	13.3	4.2	12.6	2.1
50～59歳	138	38.4	41.3	23.9	26.1	22.5	15.2	5.8	13.0	2.2
60～69歳	239	37.2	36.8	30.5	25.1	20.9	21.3	2.5	9.6	4.6
70歳以上	340	40.3	32.9	23.5	19.1	11.8	27.1	2.1	12.6	6.8

(3) 人権啓発の取り組みについて

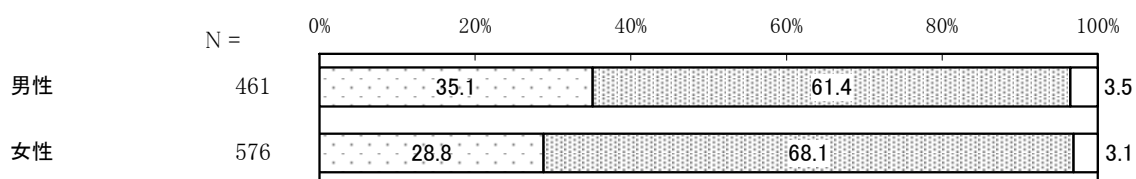
【問22】あなたはここ3年以内で、人権に関する学習会に参加したことがありますか。

「ある」の割合が31.6%、「ない」の割合が65.1%となっています。



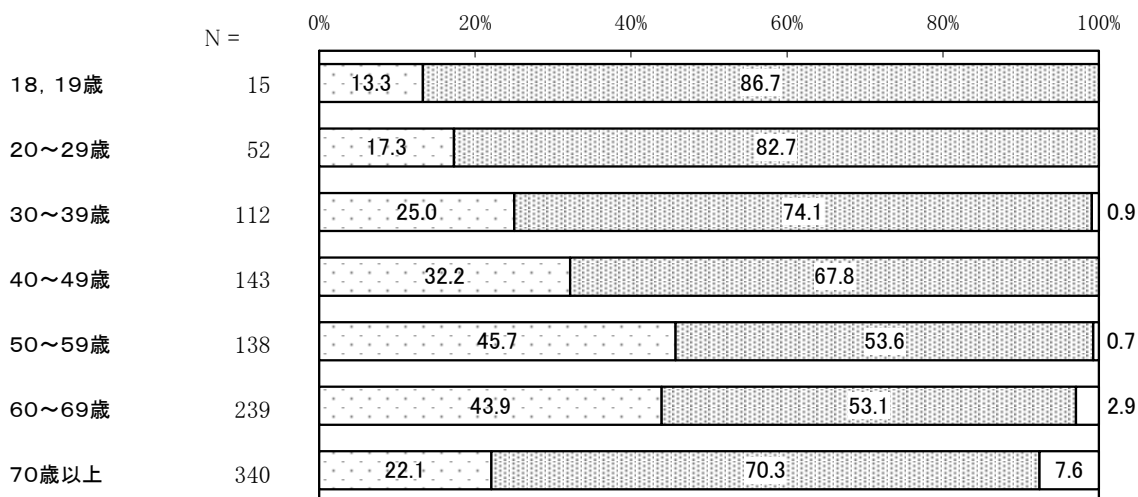
【性別】

性別でみると、女性に比べ男性で「ある」の割合が高く、3割半ばとなっています。



【年代別】

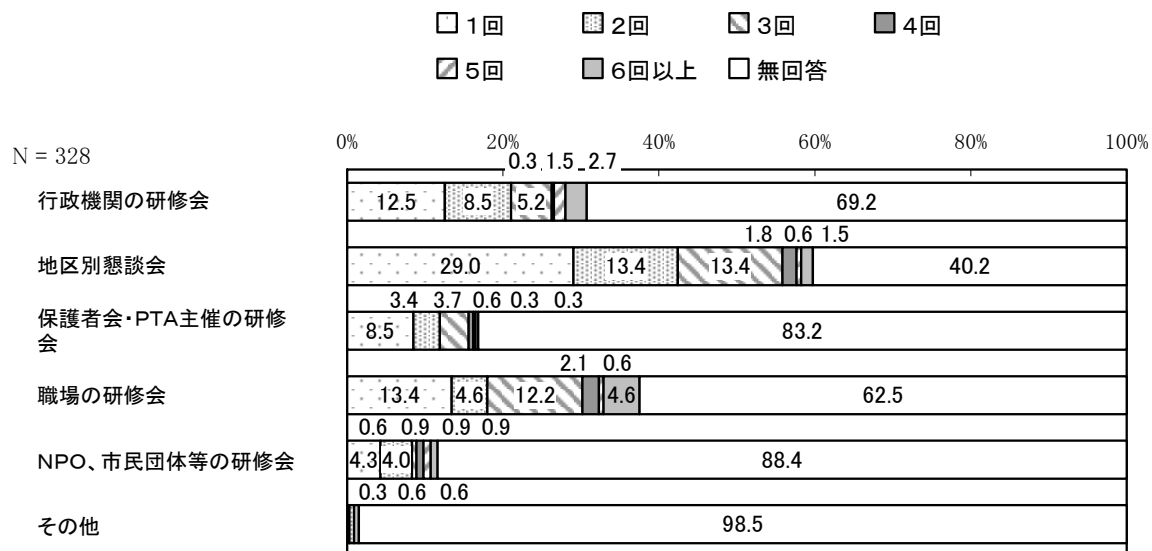
年代別でみると、50～59歳、60～69歳で「ある」の割合が高くなっています。



【問23】問22で「1. ある」を選択された方のみお答えください。
 3年以内に参加された人権に関する学習会の参加回数を記入してください。また、啓発として効果的だと思うものはどれですか。(あてはまるものに○)

① 参加回数

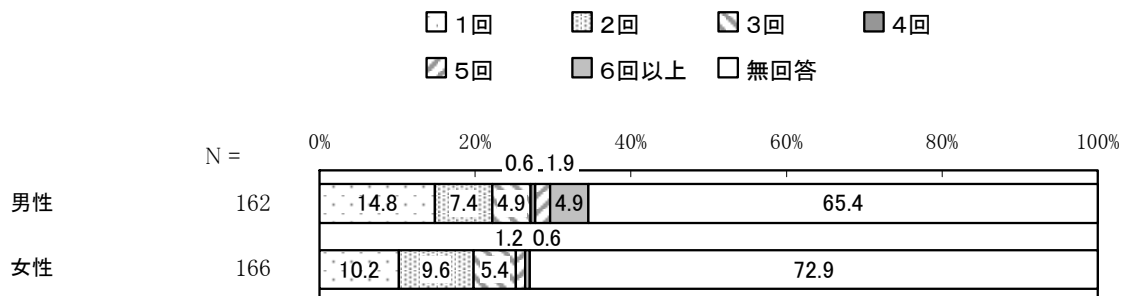
地区懇談会で「参加したことがある人」の割合が最も高くなっています。



ア 行政機関の研修会

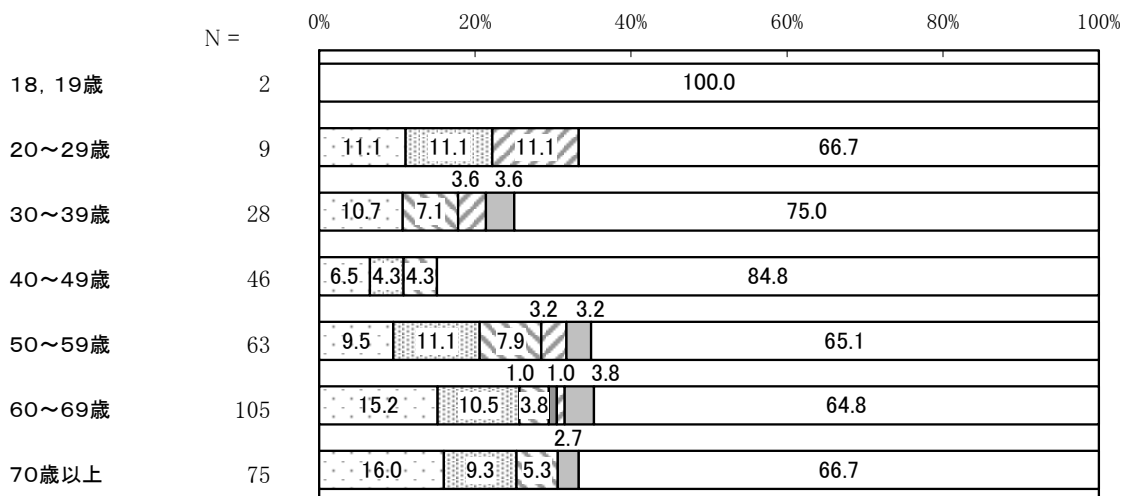
【性別】

性別でみると、女性に比べ男性で「参加したことがある人」の割合が高くなっています。



【年代別】

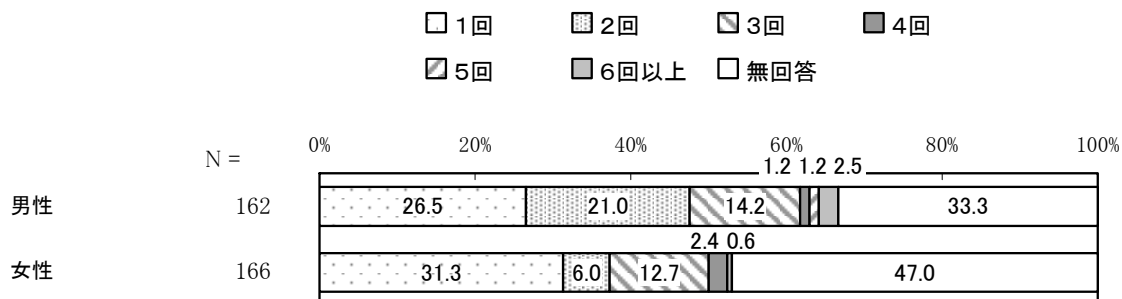
年代別でみると、40～49歳で「参加したことがある人」の割合が低くなっています。



イ 地区別懇談会

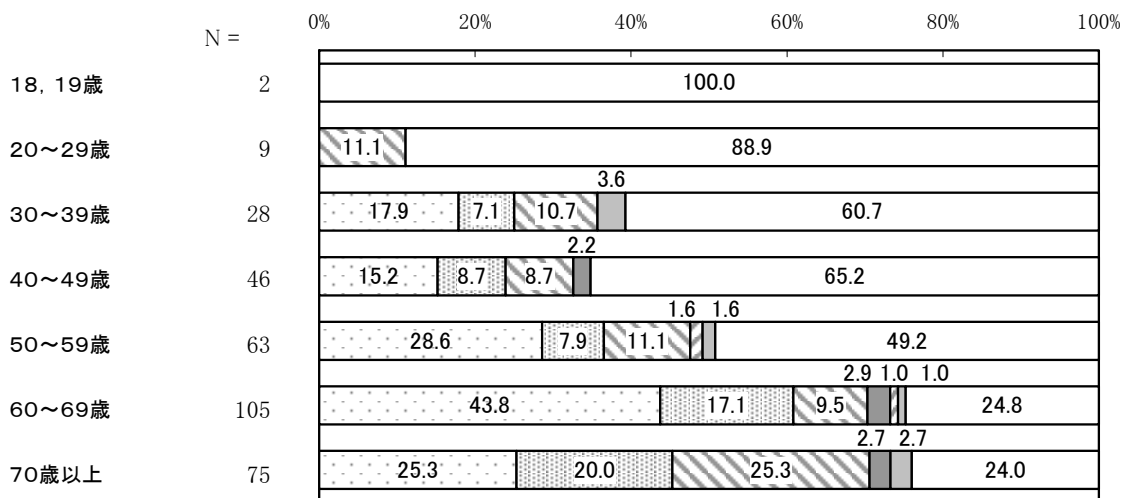
【性別】

性別でみると、女性に比べ男性で「参加したことがある人」の割合が高くなっています。



【年代別】

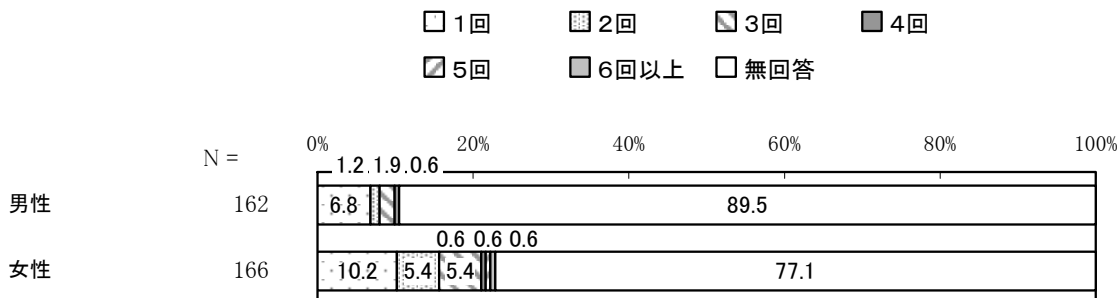
年代別でみると、60～69歳、70歳以上で「参加したことがある人」の割合が高くなっています。



ウ 保護者会・PTA主催の研修会

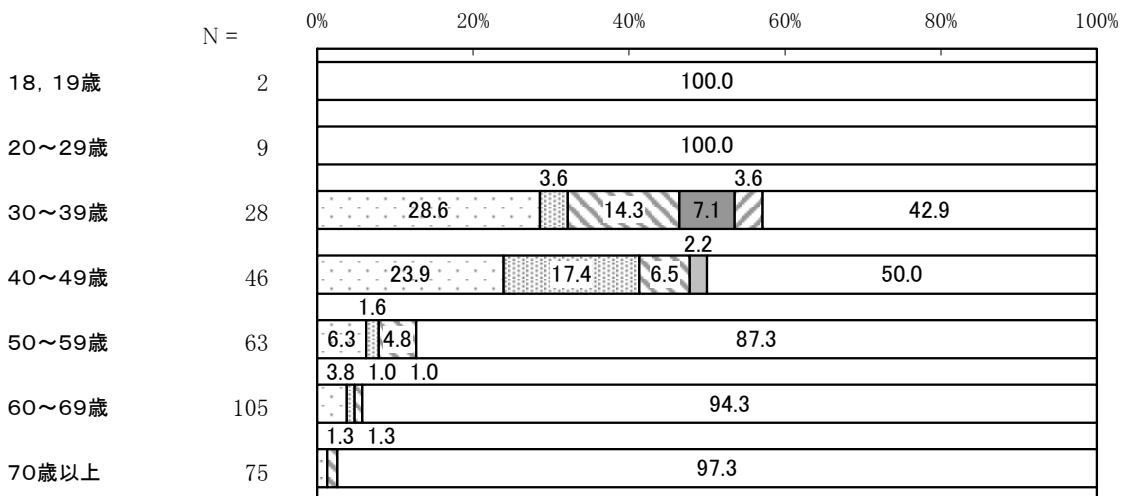
【性別】

性別でみると、男性に比べ女性で「参加したことがある人」の割合が高くなっています。



【年代別】

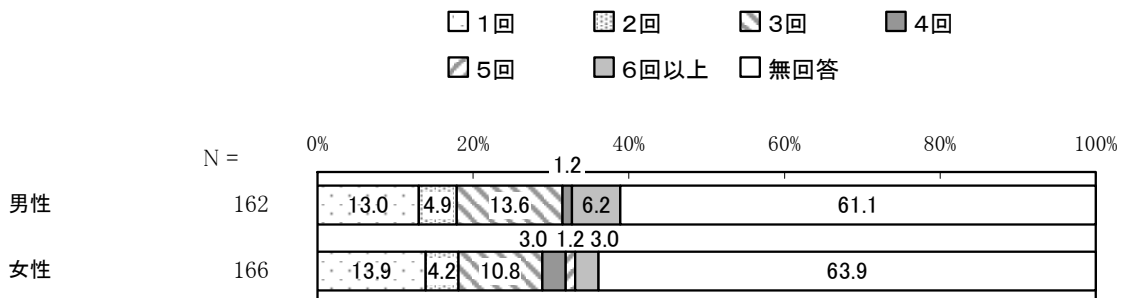
年代別でみると、30～39歳、40～49歳で「参加したことがある人」の割合が高くなっています。



エ 職場の研修会

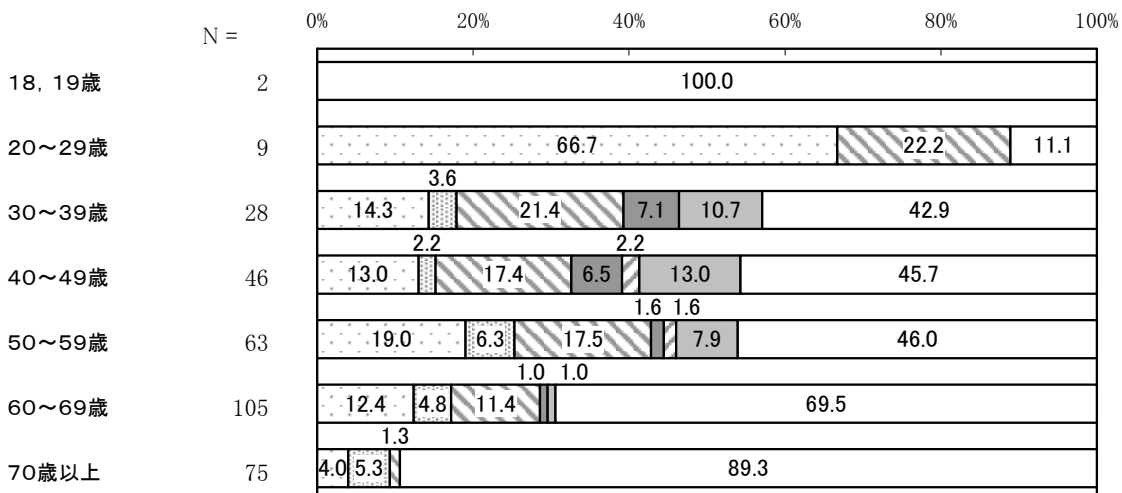
【性別】

性別でみると、女性に比べ男性で「参加したことがある人」の割合が高くなっています。



【年代別】

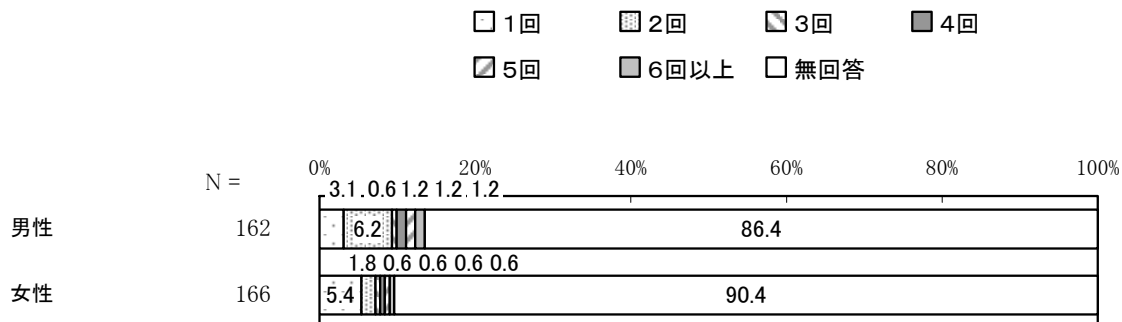
年代別でみると、70歳以上で「参加したことがある人」の割合が低くなっています。



オ NPO、市民団体等の研修会

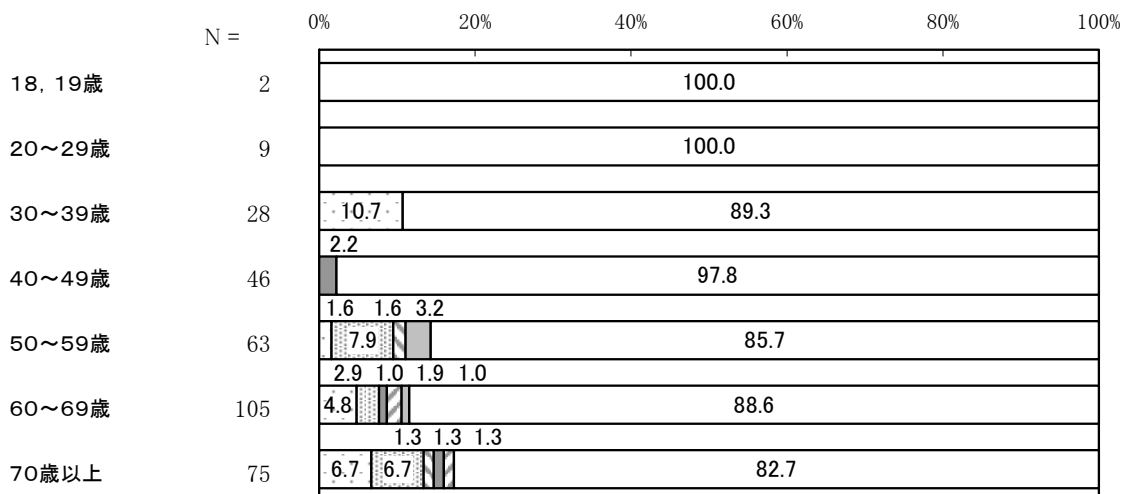
【性別】

性別でみると、女性に比べ男性で「参加したことがある人」の割合が高くなっています。



【年代別】

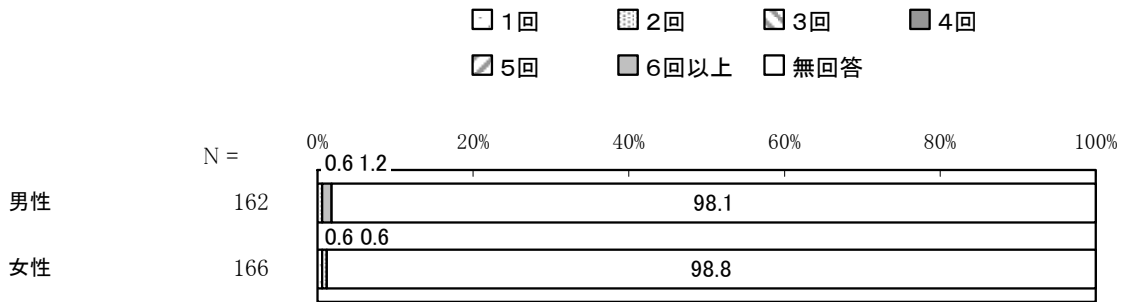
年代別でみると、40～49歳で「参加したことがある人」の割合が低くなっています。



カ その他

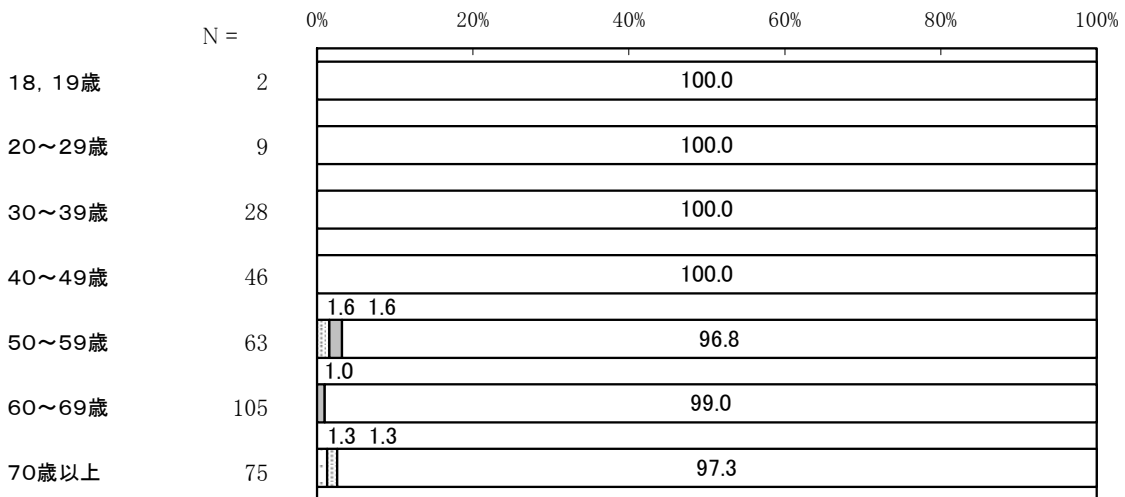
【性別】

性別でみると、大きな差異はみられません。



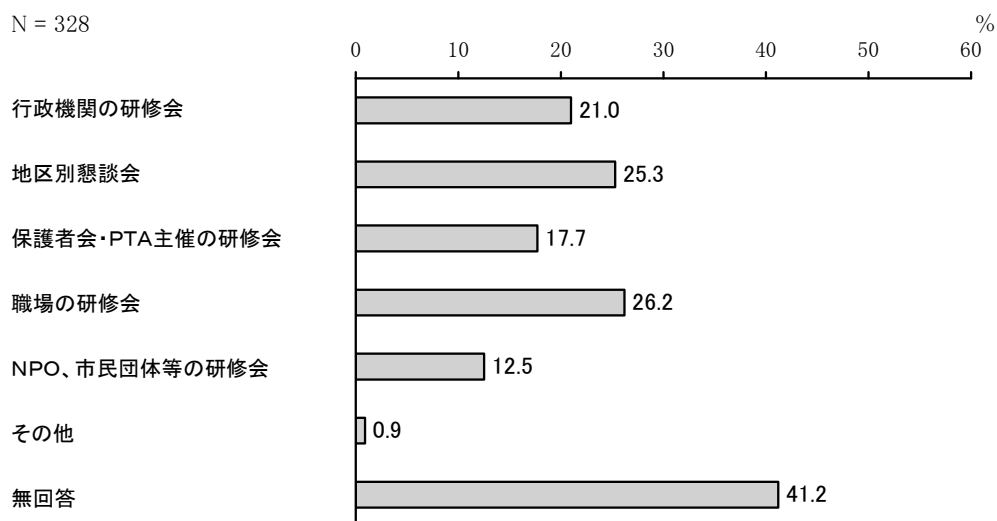
【年代別】

年代別でみると、大きな差異はみられません。



② 啓発として効果的なもの

「職場の研修会」の割合が26.2%と最も高く、次いで「地区別懇談会」の割合が25.3%、「行政機関の研修会」の割合が21.0%となっています。



【性別】

性別でみると、女性に比べ男性で「地区別懇談会」の割合が高く、約3割となっています。一方、男性に比べ女性で「保護者会・PTA主催の研修会」の割合が高く、2割半ばとなっています。

単位：%

区分	有効回答数(件)	行政機関の研修会	地区別懇談会	保護者会・PTA主催の研修会	職場の研修会	NPO、市民団体等の研修会	その他	無回答
男性	162	22.2	29.0	9.9	27.2	13.0	1.2	37.7
女性	166	19.9	21.7	25.3	25.3	12.0	0.6	44.6

【年代別】

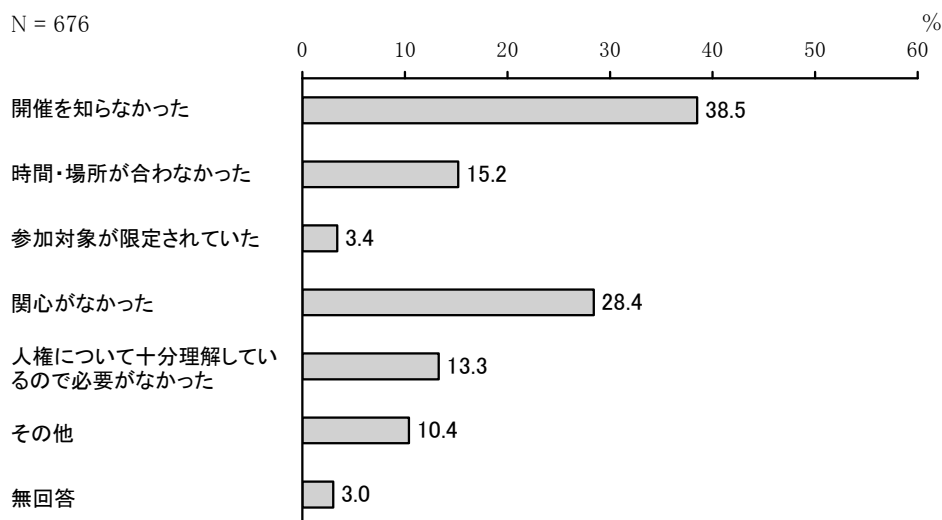
年代別でみると、30～39歳で「保護者会・PTA主催の研修会」「職場の研修会」の割合が高くなっています。また、60～69歳、70歳以上で「地区別懇談会」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	有効回答数(件)	行政機関の研修会	地区別懇談会	保護者会・PTA主催の研修会	職場の研修会	NPO、市民団体等の研修会	その他	無回答
18, 19歳	2	—	—	—	—	—	—	100.0
20～29歳	9	11.1	—	11.1	33.3	—	—	55.6
30～39歳	28	25.0	14.3	42.9	50.0	17.9	—	14.3
40～49歳	46	21.7	23.9	28.3	34.8	8.7	2.2	32.6
50～59歳	63	20.6	19.0	22.2	27.0	12.7	1.6	47.6
60～69歳	105	19.0	30.5	14.3	22.9	10.5	1.0	42.9
70歳以上	75	24.0	32.0	4.0	16.0	17.3	—	45.3

【問24】問22で「2. ない」を選択された方のみお答えください。
参加しなかったのはなぜですか。(あてはまるものに○)

「開催を知らなかった」の割合が38.5%と最も高く、次いで「関心がなかった」の割合が28.4%、「時間・場所が合わなかった」の割合が15.2%となっています。



【性別】

性別でみると、女性に比べ男性で「関心がなかった」の割合が高く、3割を超えています。

単位：%

区分	有効回答数(件)	開催を知らなかった	時間・場所が合わなかった	参加対象が限定されていた	関心がなかった	人権について十分理解しているのだから必要がなかった	その他	無回答
男性	283	41.0	14.5	3.2	31.8	12.4	8.8	2.5
女性	392	36.7	15.8	3.6	26.0	14.0	11.5	3.1

【年代別】

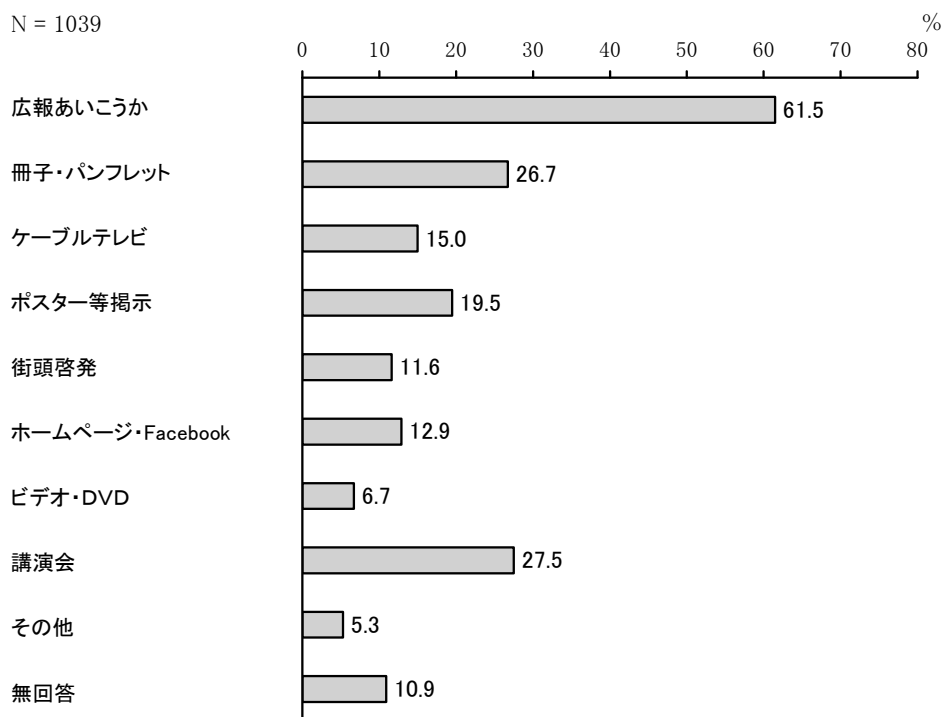
年代別でみると、18, 19歳で「開催を知らなかった」の割合が高く、7割半ばとなっています。20～29歳、30～39歳、50～59歳で「関心がなかった」の割合が高くなっています。60～69歳で「時間・場所が合わなかった」の割合が高く、2割半ばとなっています。70歳以上で「人権について十分理解しているのに必要がなかった」の割合が高く、2割を超えています。

単位：%

区分	有効回答数(件)	開催を知らなかった	時間・場所が合わなかった	参加対象が限定されていた	関心がなかった	人権について十分理解しているのに必要がなかった	その他	無回答
18, 19歳	13	76.9	15.4	—	7.7	—	7.7	—
20～29歳	43	53.5	11.6	—	44.2	2.3	2.3	—
30～39歳	83	57.8	9.6	—	41.0	3.6	3.6	—
40～49歳	97	49.5	16.5	1.0	32.0	9.3	5.2	—
50～59歳	74	31.1	17.6	—	41.9	8.1	12.2	2.7
60～69歳	127	33.1	25.2	7.9	25.2	14.2	5.5	1.6
70歳以上	239	27.6	11.3	5.0	18.4	22.2	18.4	6.7

【問25】人権問題解決のために、甲賀市で、今後もどのような方法で啓発活動を行って
いけば効果的だと思いますか。(〇は3つまで)

「広報あいこうか」の割合が61.5%と最も高く、次いで「講演会」の割合が27.5%、「冊子・パンフレット」の割合が26.7%となっています。



【性別】

性別でみると、女性に比べ男性で「冊子・パンフレット」の割合が高く、3割を超えています。一方、男性に比べ女性で「広報あいこうか」の割合が高く、6割半ばとなっています。

単位：%

区分	有効回答数 (件)	広報あいこうか	冊子・パンフレット	ケーブルテレビ	ポスター等掲示	街頭啓発	ホームページ・Facebook	ビデオ・DVD	講演会	その他	無回答
男性	461	57.5	32.8	16.9	16.9	12.4	13.7	8.5	26.9	6.5	9.1
女性	576	64.9	21.9	13.5	21.7	11.1	12.3	5.4	28.1	4.3	12.0

【年代別】

年代別でみると、18, 19歳、20～29歳で「ホームページ・Facebook」の割合が高くなっています。また、18, 19歳で「講演会」の割合が高く、4割となっています。30～39歳で「ポスター等掲示」の割合が高く、3割半ばとなっています。

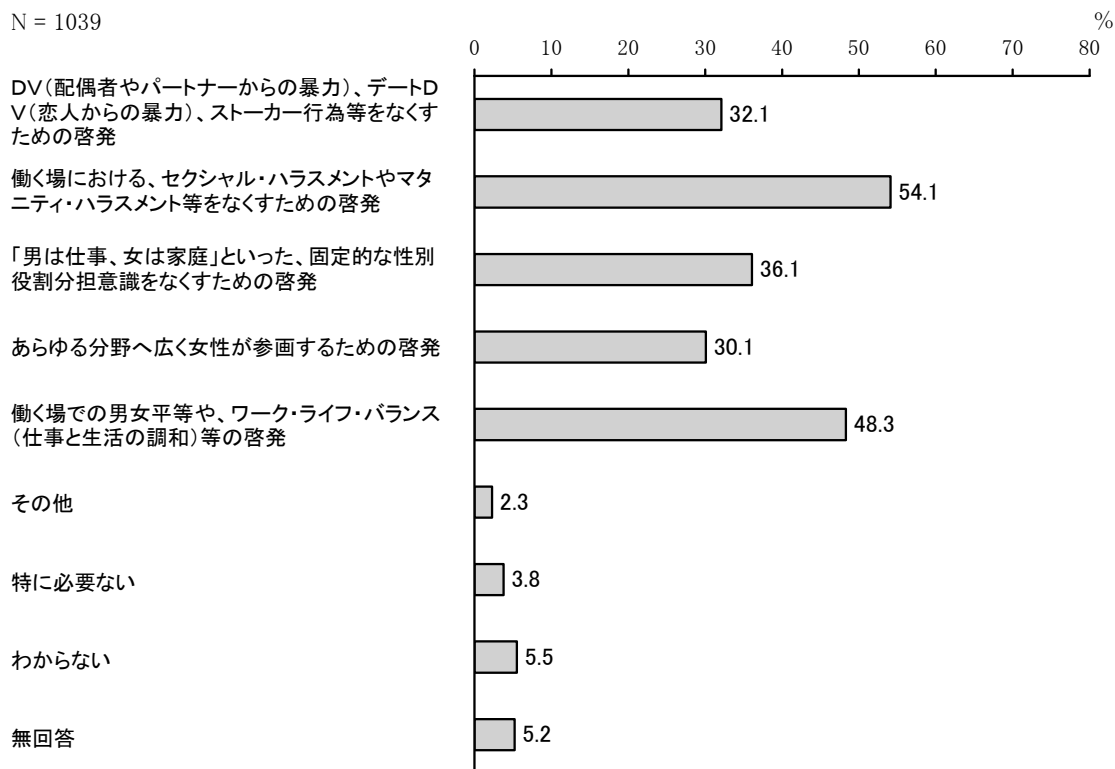
単位：%

区分	有効回答数(件)	広報あいこうか	冊子・パンフレット	ケーブルテレビ	ポスター等掲示	街頭啓発	ホームページ・Facebook	ビデオ・DVD	講演会	その他	無回答
18, 19歳	15	40.0	6.7	20.0	26.7	13.3	53.3	6.7	40.0	—	—
20～29歳	52	61.5	25.0	5.8	28.8	25.0	44.2	—	15.4	1.9	1.9
30～39歳	112	57.1	23.2	15.2	36.6	21.4	22.3	1.8	21.4	8.0	5.4
40～49歳	143	64.3	28.0	12.6	25.2	12.6	18.9	6.3	25.9	5.6	6.3
50～59歳	138	58.7	23.9	18.1	19.6	8.0	15.2	8.0	34.8	9.4	5.1
60～69歳	239	65.3	30.5	15.9	17.2	10.9	8.8	7.9	31.0	4.6	9.6
70歳以上	340	61.2	26.8	15.3	11.5	7.9	2.6	8.2	26.2	3.8	19.7

【問26】女性の人権が尊重されるまちづくりのため、どのような啓発が必要だと思いますか。(〇は3つまで)

「働く場における、セクシャル・ハラスメントやマタニティ・ハラスメント等をなくすための啓発」の割合が54.1%と最も高く、次いで「働く場での男女平等や、ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）等の啓発」の割合が48.3%、「男は仕事、女は家庭」といった、固定的な性別役割分担意識をなくすための啓発」の割合が36.1%となっています。

N = 1039



【性別】

性別でみると、男性に比べ女性で「働く場での男女平等や、ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）等の啓発」の割合が高く、5割を超えています。

単位：％

区分	有効回答数（件）	DV（配偶者やパートナーからの暴力）、デートDV（恋人からの暴力）、ストーカー行為等をなくすための啓発	働く場における、セクシャル・ハラスメントやマタニティ・ハラスメント等をなくすための啓発	「男は仕事、女は家庭」といった、固定的な性別役割分担意識をなくすための啓発	あらゆる分野へ広く女性が参画するための啓発	働く場での男女平等や、ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）等の啓発	その他	特に必要ない	わからない	無回答
男性	461	31.7	52.9	34.7	31.7	44.9	2.6	4.3	6.9	5.0
女性	576	32.6	55.2	37.3	29.0	51.2	2.1	3.3	4.3	5.0

【年代別】

年代別でみると、18、19歳で「DV（配偶者やパートナーからの暴力）、デートDV（恋人からの暴力）、ストーカー行為等をなくすための啓発」の割合が高く、6割半ばとなっています。20～29歳、40～49歳で「働く場における、セクシャル・ハラスメントやマタニティ・ハラスメント等をなくすための啓発」の割合が高くなっています。また、60～69歳で「あらゆる分野へ広く女性が参画するための啓発」の割合が高く、4割近くとなっています。

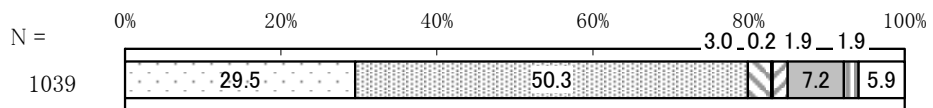
単位：％

区分	有効回答数（件）	DV（配偶者やパートナーからの暴力）、デートDV（恋人からの暴力）、ストーカー行為等をなくすための啓発	働く場における、セクシャル・ハラスメントやマタニティ・ハラスメント等をなくすための啓発	「男は仕事、女は家庭」といった、固定的な性別役割分担意識をなくすための啓発	あらゆる分野へ広く女性が参画するための啓発	働く場での男女平等や、ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）等の啓発	その他	特に必要ない	わからない	無回答
18、19歳	15	66.7	60.0	53.3	20.0	40.0	—	—	—	—
20～29歳	52	34.6	67.3	28.8	23.1	50.0	3.8	3.8	3.8	1.9
30～39歳	112	38.4	60.7	41.1	22.3	57.1	3.6	4.5	2.7	—
40～49歳	143	40.6	65.7	35.7	25.2	51.0	1.4	2.8	4.2	0.7
50～59歳	138	34.8	57.2	39.1	25.4	51.4	2.9	3.6	2.2	2.2
60～69歳	239	31.0	59.4	34.7	38.9	56.5	1.7	2.9	3.3	1.7
70歳以上	340	24.4	39.7	34.7	32.1	37.4	2.4	4.7	10.3	13.2

**【問27】人権の尊重されるまちの実現に向けて、あなたの考えに近いものはどれですか。
(〇は1つ)**

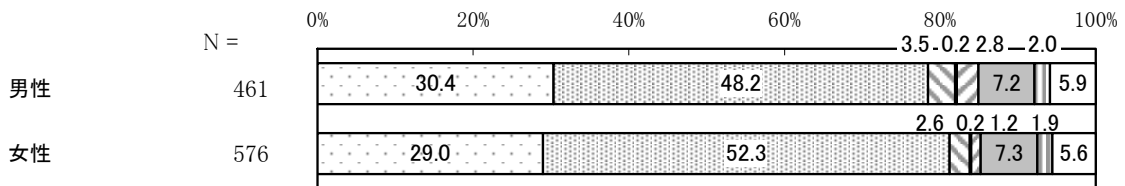
「特に努力したいとは考えていないが、差別しないようにしたい」の割合が50.3%と最も高く、次いで「実現にむけて、自分のできる限りの努力をしたい」の割合が29.5%となっています。

- 実現にむけて、自分のできる限りの努力をしたい
- 特に努力したいとは考えていないが、差別しないようにしたい
- 自分ではどうにもならないので、なりゆきにまかせる
- できるだけ避けて通りたい
- 差別はないので、人権問題は存在しない
- 特に考えていない
- その他
- 無回答



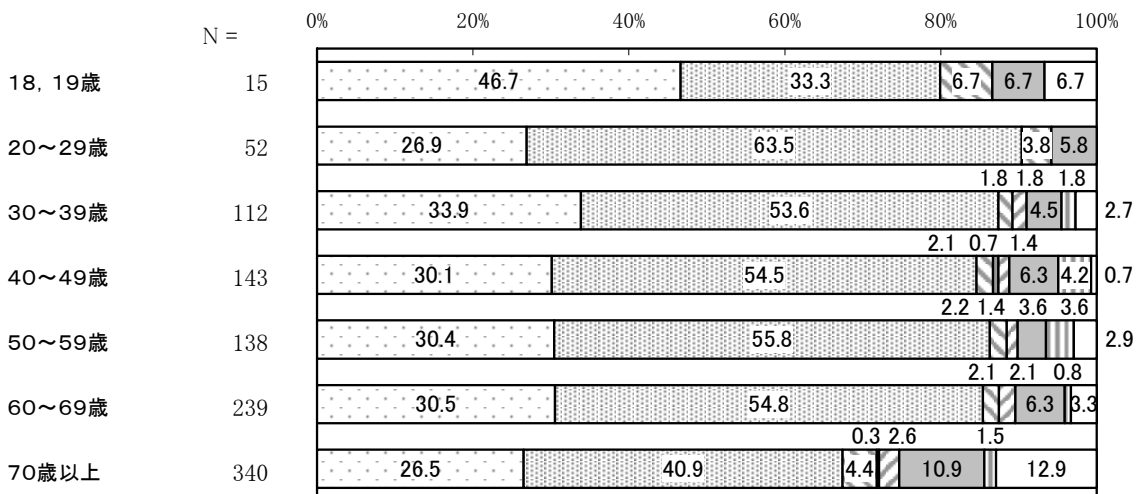
【性別】

性別でみると、大きな差異はみられません。



【年代別】

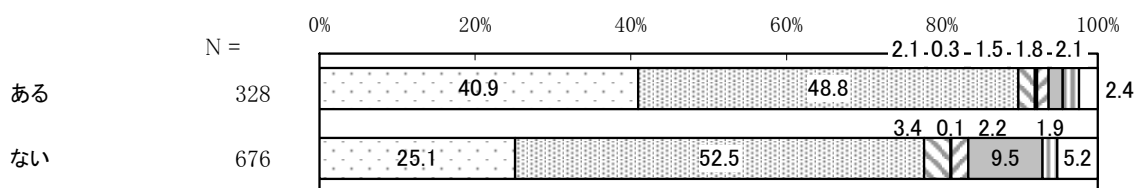
年代別でみると、18、19歳で「実現にむけて、自分のできる限りの努力をしたい」の割合が高く、4割半ばとなっています。また、20～29歳で「特に努力したいとは考えていないが、差別しないようにしたい」の割合が高く、6割を超えています。



【人権に関する学習会への参加の有無別】

人権に関する学習会への参加の有無別でみると、参加経験のある人で「実現にむけて、自分のできる限りの努力をしたい」の割合が高く、約4割となっています。また、参加経験のない人で「特に考えていない」の割合が高く、約1割となっています。

- 実現にむけて、自分のできる限りの努力をしたい
- 特に努力したいとは考えていないが、差別しないようにしたい
- 自分ではどうにもならないので、なりゆきにまかせる
- できるだけ避けて通りたい
- 差別はないので、人権問題は存在しない
- 特に考えていない
- その他
- 無回答



III 調査票

人権に関する市民意識調査

人权问题的市民意识调查

Public Awareness Survey on Human Rights

Pesquisa sobre o conhecimento dos "direitos humanos"

～調査の趣旨とご協力のお願～

市民の皆さまには、日ごろから市政にご理解とご協力をいただき、厚くお礼申しあげます。甲賀市では、すべての人の人権が尊重されるまちをめざし、取り組みを進めています。今回の調査は、皆さまの人権についてのお考えやご意見をお聞きし、人権に関する計画の見直しと今後の取り組みの参考とさせていただきます。実施するものです。お答えいただいた内容は、すべて統計的に処理しますので、個人の名前が出たり、ご迷惑をおかけしたりすることはありません。

お忙しいところ誠に恐縮ですが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願い申しあげます。

平成27年(2015年)11月

甲賀市長 中嶋 武嗣

【調査票記入にあたってのお願い】

- この調査は、平成27年10月1日現在で甲賀市にお住いの18歳以上の男女2,500人を無作為に選んでご協力をお願いしています。
- この調査票は、封筒のあて名のご本人が回答してください。(ご本人による記入が困難な場合は、ご家族等が聞き取って代筆をお願いします。)
- 答えたくない質問については、答えていただく必要はありません。
- 回答は、設問の指示にしたがって、該当する番号に○をおつけください。ただし、設問によっては具体的な内容を記述していただく場合があります。

記入いただきました調査票は、**11月30日(月)**までに同封の返信用封筒で無記名にて投函してください。切手は不要です。

この調査票についてのお問い合わせは、下記までお願いします。

有关本项调查的不明点，请咨询以下电话号。

If you don't understand, please call the following.

Peça maiores informações sobre esta pesquisa, pelo contato descrito abaixo.

甲賀市 市民環境部 人権推進課 〒528-8502 甲賀市水口町水口6053番地

電話 (TEL) : 65-0694 (直通) ファックス (FAX) : 63-4582

I おたずねした結果を統計的に分析するため、あなたご自身のことについておたずねします

【問1】あなたの性別は。(○は1つ)

- | | |
|-------|-------|
| 1. 男性 | 2. 女性 |
|-------|-------|

【問2】あなたの年齢は。(○は1つ)

- | | | |
|------------|-----------|-----------|
| 1. 18, 19歳 | 2. 20～29歳 | 3. 30～39歳 |
| 4. 40～49歳 | 5. 50～59歳 | 6. 60～69歳 |
| 7. 70歳以上 | | |

II 人権全般についておたずねします

【問3】「人権が尊重される」とはどういうことだと思いますか。(あてはまるものに○)

1. 他人から干渉されず、自由に生活できる
2. 差別されない、平等である
3. 個人として尊重される
4. 個人の持つ可能性を発揮する機会が認められる
5. 多様な価値観が認められる
6. 健康で文化的な最低限度の生活を送ることができる
7. その他 ()
8. わからない

【問4】甲賀市は「人権が尊重されるまち」になっていると思いますか。(○は1つ)

1. そう思う
2. どちらかといえばそう思う
3. いちがいにはいえない
4. どちらかといえばそう思わない
5. そうは思わない
6. わからない

【問5】あなたは、ここ5年以内に、人権に関して、人から嫌なことを言われたり、されたりしたことはありますか。(〇は1つ)

- | |
|-------------------|
| 1. ある → 【問6】【問7】へ |
| 2. ない → 【問10】へ |

【問6】問5で「1. ある」を選択された方のみお答えください。
それはどのような生活の場面で、どのような内容でしたか。(あてはまるものに〇)

どのような内容でしたか どのような生活の 場面でしたか	1 あらぬうわさ、悪口を言われた	2 暴力をふるわれた	3 脅迫・無理強いされた	4 差別待遇を受けた	5 仲間外れ、いじめを受けた	6 プライバシーを侵害された	7 ハラスメント※を受けた	8 1〜7以外のことを受けた	9 受けていない
ア 家庭生活で	1	2	3	4	5	6	7	8	9
イ 地域社会や公共の場で	1	2	3	4	5	6	7	8	9
ウ 学校で	1	2	3	4	5	6	7	8	9
エ 職場で	1	2	3	4	5	6	7	8	9
オ 行政手続きや行政の 対応で	1	2	3	4	5	6	7	8	9
カ 福祉・医療サービスで	1	2	3	4	5	6	7	8	9
キ インターネット上で	1	2	3	4	5	6	7	8	9
ク その他 ()	1	2	3	4	5	6	7	8	9

※ハラスメント…嫌がらせのこと。例えば、セクシャル・ハラスメント、パワー・ハラスメント、マタニティ・ハラスメント(P13に説明あり)などのことをいう。

【問7】問5で「1. ある」を選択された方のみお答えください。

そのとき、どこかに相談しましたか。(〇は1つ)

1. 相談した → 【問8】へ
2. 相談しなかった → 【問9】へ

【問8】問7で「1. 相談した」を選択された方のみお答えください。

どこに相談しましたか。(あてはまるものに〇)

1. 身近な人
2. 所属する会社や学校の相談室など
3. 市役所
4. 県の機関
5. 民生委員児童委員
6. 法務局、人権擁護委員
7. 弁護士
8. 警察
9. NPOなどの民間の相談機関
10. その他 ()

【問9】問7で「2. 相談しなかった」を選択された方のみお答えください。

相談しなかった理由は何ですか。(あてはまるものに〇)

1. 相手に抗議した
2. 相談場所を知らなかった
3. 他人に知られたくなかった
4. 事を大きくしたくなかった
5. 自分が我慢すれば良いと思った
6. その他 ()

【問10】人権課題について、あなたの関心があるものはどれですか。(あてはまるものに○)
 また、今後の啓発はどうすべきだと思いますか。(それぞれ○を1つずつ)

人権課題	関心があるものに○	これまで以上に啓発すべき	現状の取組でよい	特に啓発しなくてよい
		1. 2. 3の内、○を1つ		
ア 女性の権利		1	2	3
イ 子どもの権利		1	2	3
ウ 高齢者の権利		1	2	3
エ 障がいのある人の権利		1	2	3
オ 同和問題		1	2	3
カ アイヌの人々の権利		1	2	3
キ 外国人の権利		1	2	3
ク HIV感染者・ハンセン病患者等の権利		1	2	3
ケ 刑を終えて出所した人の権利		1	2	3
コ 犯罪被害者とその家族の権利		1	2	3
サ インターネットによる権利侵害		1	2	3
シ 性的指向を理由とした権利侵害		1	2	3
ス 性同一性障がいに関する権利侵害		1	2	3
セ 北朝鮮当局によって拉致された被害者等の権利		1	2	3
ソ ホームレスの人の権利		1	2	3
タ 人身取引		1	2	3
チ 東日本大震災に起因する権利		1	2	3

【問11】人権の尊重や侵害については、人によってそれぞれ考え方に違いがあると言われています。次の場面で、あなたはどのように思いますか。

(ア) 会社の管理職への選考で、女性であるAさんの方が管理能力があるのに、女性であることを理由に、別の男性を昇進させました。このことについて、あなたはどのように思いますか。(○は1つ)

- | | |
|---------------|--------------|
| 1. 当然だと思う | 2. 間違っていると思う |
| 3. いちがいにはいけない | 4. わからない |

(イ) 高校生の子どもにスマートフォンを持たせている親が、子どものことを心配して、無断でメールを見ました。このことについて、あなたはどのように思いますか。(○は1つ)

- | | |
|---------------|--------------|
| 1. 当然だと思う | 2. 間違っていると思う |
| 3. いちがいにはいけない | 4. わからない |

(ウ) 認知症が進んで町中を徘徊することがあるBさんを介護している家族は、介護する人がいないときに、Bさんが家から出られないように鍵をかけています。このことについて、あなたはどのように思いますか。(○は1つ)

- | | |
|---------------|--------------|
| 1. 当然だと思う | 2. 間違っていると思う |
| 3. いちがいにはいけない | 4. わからない |

(エ) 借家を探していた外国人が適当なアパートを見つけたので申し込んだところ、外国人であることを理由に、家主は貸すことを断りました。このような家主の態度について、あなたはどのように思いますか。(○は1つ)

- | | |
|---------------|--------------|
| 1. 当然だと思う | 2. 間違っていると思う |
| 3. いちがいにはいけない | 4. わからない |

(オ) Cさんは、手頃な家を見つけたので買おうとしましたが、その場所が同和地区かどうか、市役所に問い合わせました。Cさんの行動について、あなたはどのように思いますか。

(○は1つ)

- | | |
|---------------|---------------|
| 1. 当然だと思おう | 2. 間違っていると思おう |
| 3. いちがいにはいえない | 4. わからない |

(カ) 障がいのある人のための施設が住宅街に建設されることになり、地元の住民が建設に反対しました。このような行動について、あなたはどのように思いますか。(○は1つ)

- | | |
|---------------|---------------|
| 1. 当然だと思おう | 2. 間違っていると思おう |
| 3. いちがいにはいえない | 4. わからない |

【問12】 同和問題について、現在、どのような課題があると思いますか。

(あてはまるものに○)

- | |
|-------------------------------|
| 1. 結婚問題で周囲の反対を受けること |
| 2. 就職・職場で不利な扱いを受けること |
| 3. 差別的な言動をされること |
| 4. 差別的な落書きをされること |
| 5. 身元調査をされること |
| 6. インターネットを利用して差別的な情報が掲載されること |
| 7. その他（ |
| 8. 特にない |
| 9. わからない |

【問13】 最近インターネットによる差別的な書き込みが問題となっています。あなたは、そのようなものを見たことがありますか。(○は1つ)

- | | |
|------------|----------------------|
| 1. 見たことがある | 2. 見たことはないが、聞いたことはある |
| 3. 見たことはない | 4. わからない |

【問14】インターネットによる人権侵害について、どのような問題が起きていると思いますか。(〇は3つまで)

1. 他人を誹謗中傷する情報が掲載されること
2. プライバシーに関する情報が掲載されること
3. 出会い系サイト等犯罪を誘発する場となっていること
4. 捜査の対象となっている未成年者の実名や顔写真が掲載されること
5. 他人に差別しようとする気持ちを起こさせたり、それを助長するような情報が掲載されること
6. リベンジポルノ※が投稿されること
7. ネットポルノが存在すること
8. その他 ()
9. 特にない
10. わからない

※リベンジポルノ…別れた恋人や配偶者に対して、交際時に撮影した相手方のわいせつな写真や映像を、インターネットなどで不特定多数に配布・公開する嫌がらせ行為等をいう。

【問15】インターネット掲示板等に不当な情報が掲載されていることへの対応として、どのようなことが重要だと思いますか。(〇は3つまで)

1. 法律を制定し、不適切な情報を規制する
2. 利用者がルールやマナーを守って利用する
3. 利用者が不適切な情報に対して削除依頼等の必要な措置を積極的にとる
4. プロバイダー(インターネット接続業者)が管理責任を認識し、不適切な情報に対して積極的に対応する
5. 表現の自由に関わる問題なので、安易に情報の規制を行うべきでない
6. 相談体制を充実させる
7. その他 ()
8. 特にない
9. わからない

【問16】子どものいじめをなくすためには、何が必要だと思えますか。(〇は3つまで)

1. 幼児期から他人への思いやりを身に付けること
2. 子どもが安心して暮らせる家庭づくりに努めること
3. 地域全体で子どもを守り育てること
4. 子どもの個性、特性を尊重する教育を推進すること
5. 「いじめは絶対許されない」という意識の徹底を図ること
6. 学校でいじめを早期発見できる体制をつくること
7. 子どもが相談できる体制を充実すること
8. 保護者が相談できる体制を充実すること
9. その他 ()
10. 特に必要ない
11. わからない

【問17】次の中で、児童虐待だと思うことはどれですか。(あてはまるものに〇)

1. 子どもにケガをさせたり、痣が残るほど強くたたくこと
2. 子どもを毎日のように大声で叱って泣かせること
3. 子どもを無視したり、拒否的な態度を示すこと
4. 子どもの前で、配偶者と暴力を伴うけんかをする事
5. 子どもを罰として、戸外に閉め出すこと
6. きょうだいげんかでもよくケガをするのに、けんかを止めないこと
7. 子どもが大きなケガや重い病気をしても病院に連れて行かないこと
8. 子どもに十分な食事を与えないこと
9. 子どもの衣服を長期間着替えさせないこと
10. その他 ()
11. 特にない
12. わからない

【問18】性同一性障がい*に関する人権について、どのような課題があると思いますか。
(○は3つまで)

1. 本人の意思に反して「男らしく、女らしく」という考えを押し付けること
2. トイレ・更衣室に男女の別がなく、多目的トイレ・多目的更衣室がないこと
3. 学校や職場で、いじめや嫌がらせを受けること
4. 就職や職場において不利な扱いを受けること
5. 家族や友達から理解されないこと
6. じろじろ見られたり、避けられたりすること
7. 偏見や誤解により、住まい等契約を断られること
8. 病院等において、自認する性*とは別の扱いを受けること
9. メディアで、からかいや偏見を助長するような情報を流すこと
10. その他 ()
11. 特にない
12. わからない

*性同一性障がい…生物学的な性(からだの性)と性に対する自己意識(こころの性)が一致しないため、社会生活に支障がある状態

*自認する性…性に対する自己意識(こころの性)のことを指す

【問19】外国人と日本人がお互いに理解を深め、多文化共生*の地域社会づくりを進めるためにどのようなことが必要だと思いますか。(○は3つまで)

1. 外国の文化や伝統について、理解を深めるための教育や啓発すること
2. 地域活動やイベントを開催し、地域社会に共に参画できる機会を提供すること
3. 外国人が、日本語や日本社会について学ぶ機会を提供すること
4. 防災情報や日常生活に必要な情報を多言語で提供すること
5. 多言語による各種相談事業を充実すること
6. その他 ()
7. 特に必要ない
8. わからない

*多文化共生…国籍や民族などの異なる人々が、互いの文化的な違いを認め、対等な関係を築こうとしながら、共に生きて行くこと

【問20】障がいのある人が暮らしやすい社会にするためには、どのようなことが必要だと思いますか。(〇は3つまで)

1. ノーマライゼーション※の理念を実現するための啓発・広報活動
2. 障がいのある人に対する理解と認識を促進するための学校教育
3. 障がいのある人の雇用の促進
4. 障がいのある人に対する理解のための研修
5. スロープ・障がい者用トイレ等の施設面でのユニバーサルデザイン※の促進
6. 障がいのある人が利用しやすい人権相談体制の充実
7. その他 ()
8. 特に必要ない
9. わからない

※ノーマライゼーション…高齢者や障がいのある人をはじめ、すべての人が平等に社会の一員として自立した生活を営むことができる社会を目指すという考え方

※ユニバーサルデザイン…年齢や性別、障がいなどにかかわらず、誰もが使いやすいようにデザイン・設計などの配慮を行うこと

【問21】同和問題の解決のためには、どのような取り組みが必要だと思いますか。

(〇は3つまで)

1. 地域社会の中で、交流を通じてのまちづくりを進めること
2. 正しい理解と認識を深めるための啓発を行うこと
3. 正しい理解と認識を深めるための学習会を行うこと
4. えせ同和行為※をなくすための取り組みを進めること
5. 相談体制を充実させること
6. 取り組みはせず、そっとしておけば差別は自然になくなる
7. その他 ()
8. わからない

※えせ同和行為…同和問題を口実にして、企業や官公署などに不当な利益や義務のないことを求める行為。

Ⅲ 人権啓発の取り組みについておたずねします

【問22】あなたはここ3年以内で、人権に関する学習会に参加したことがありますか。

1. ある → 【問23】へ
2. ない → 【問24】へ

【問23】問22で「1. ある」を選択された方のみお答えください。

3年以内に参加された人権に関する学習会の参加回数を記入してください。また、啓発として効果的だと思うものはどれですか。(あてはまるものに○)

	参加回数 (回数)	効果的な学習会に ○を記入
行政機関の研修会 (例：人権教育連続セミナー)	回	
地区別懇談会	回	
保護者会・PTA主催の研修会	回	
職場の研修会	回	
NPO、市民団体等の研修会 (例：人権教育推進協議会)	回	
その他 ()	回	

【問24】問22で「2. ない」を選択された方のみお答えください。

参加しなかったのはなぜですか。(あてはまるものに○)

<ol style="list-style-type: none"> 開催を知らなかった 時間・場所が合わなかった 参加対象が限定されていた 関心がなかった 人権について十分理解しているので必要がなかった その他 ()

【問25】人権問題解決のために、甲賀市で、今後もどのような方法で啓発活動を行っていますか。(〇は3つまで)

- | | |
|------------|--------------------|
| 1. 広報あいこうか | 2. 冊子・パンフレット |
| 3. ケーブルテレビ | 4. ポスター等掲示 |
| 5. 街頭啓発 | 6. ホームページ・Facebook |
| 7. ビデオ・DVD | 8. 講演会 |
| 9. その他 () | |

【問26】女性の人権が尊重されるまちづくりのため、どのような啓発が必要だと思いますか。(〇は3つまで)

- | |
|----------------------------------------------------------|
| 1. DV (配偶者やパートナーからの暴力)、デートDV (恋人からの暴力)、ストーカー行為等をなくすための啓発 |
| 2. 働く場における、セクシャル・ハラスメントやマタニティ・ハラスメント※等をなくすための啓発 |
| 3. 「男は仕事、女は家庭」といった、固定的な性別役割分担意識をなくすための啓発 |
| 4. あらゆる分野へ広く女性が参画するための啓発 |
| 5. 働く場での男女平等や、ワーク・ライフ・バランス (仕事と生活の調和) 等の啓発 |
| 6. その他 () |
| 7. 特に必要ない |
| 8. わからない |

※マタニティ・ハラスメント…働く女性が、妊娠・出産を理由とした解雇・雇止めをされることや、妊娠・出産にあたって、職場で受ける精神的・肉体的な嫌がらせをいう。

【問27】人権の尊重されるまの實現に向けて、あなたの考えに近いものはどれですか。
(○は1つ)

- | |
|---------------------------------|
| 1. 実現にむけて、自分のできる限りの努力をしたい |
| 2. 特に努力したいとは考えていないが、差別しないようにしたい |
| 3. 自分ではどうにもならないので、なりゆきにまかせる |
| 4. できるだけ避けて通りたい |
| 5. 差別はないので、人権問題は存在しない |
| 6. 特に考えていない |
| 7. その他 () |

【問28】人権に関してご意見、ご要望がありましたら、ご自由にお書きください。

アンケートはこれで終わりです。ご協力ありがとうございました。
この調査票を同封の返信用封筒に入れ、切手を貼らずに郵便ポストに投函してください。

